

令和5年度 市民意識調査 結果報告書

～「個性きらめき 魅力あふれる ホットなまち 岸和田」の実現をめざして～



2023（令和5年）年12月

岸和田市

目 次

第1 調査の概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査方法と回収結果	2
3. 利用上の注意	3
4. 本調査における施策体系と設問の関係	4
第2 回答者の属性	
1. 母集団と回答者の比較	7
2. 回答者の内訳	9
第3 住みやすさ意識調査結果	
1. 「住みやすさ」の全体の結果	13
2. 「住みやすさ」の経年比較	14
3. 「住みやすさ」の属性分析	15
4. 「住み続けたい」の全体の結果	22
5. 「住み続けたい」の属性分析	23
6. 「住み続けたいと思う理由」の全体の結果	30
7. 「住み続けたいと思う理由(上位3項目)」の属性分析	30
8. 「住み続けたくないと思う理由」の全体の結果	34
9. 「住み続けたくないと思う理由(上位3項目)」の属性分析	34
10. 「住み続けたい」と全体の調査結果との相関関係	38
11. 「岸和田市への誇り」の全体の結果	40
第4 施策指標調査結果	
1. 施策指標	41
2. 施策指標値調査結果	41
第5 重要度×満足度調査結果	
1. 「重要度」の全体の結果	45
2. 基本目標別の「重要度」の結果	47
3. 重要度(上位5項目)の属性分析	51
4. 「満足度」の全体の結果	61
第6 重点化施策候補の分析	
1. 重要度・満足度からみた施策の分析	65
第7 子育て世代の意向状況	
1. 子育て世代の調査結果の傾向	77
2. 調査結果からみる子育て世代の意向状況	78
第8 自由意見	
1. 総合計画「将来ビジョン・岸和田」の体系	83
2. いただいた様々なご意見	86
巻末資料	
1. その他集計結果	95
2. アンケート調査票	99

第1 調査の概要

第1 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市内に在住している15歳以上75歳未満の市民を対象に、地域の課題や市が取り組んでいる施策に対する市民意識を調査・分析し、今後の岸和田市のまちづくりの参考資料とするためのものです。平成17年から平成19年にかけては、「第3次岸和田市総合計画」の施策体系の下に実施され、平成22年から令和3年にかけては、「第4次岸和田市総合計画（岸和田市まちづくりビジョン）」の施策体系下を実施しました。令和4年以降は令和5年4月にスタートした総合計画「将来ビジョン・岸和田」の施策体系下を実施しているものです。

本調査は、限られた財源の中、効果的・効率的に資源配分をしていくための参考資料とするためのもので、調査の結果は、行政サービスの検討・向上につなげるとともに、様々な計画や予算に反映させることを目的としています。

具体的には、市民の声を積極的に市政に反映させ、市民との協働によるまちづくりをさらに推進するため、市民自身の思いや居住地域についてどう感じているか、市民がこれまで取り組んできた施策に満足しているか（満足度）、今後、市がどのような施策に力を注いでいくべきであると感じているか（重要度）、また、その取組の成果を図る『物差し』としての指標（成果指標）の進行管理のための調査です。

2. 調査方法と回収結果

(1) 調査地区

大阪府岸和田市全域

(2) 調査対象

市内在住の15歳以上75歳未満の男女約4,000人

(3) 抽出方法

岸和田市住民基本台帳（令和5年4月30日現在）から無作為に抽出

(4) 調査方法

アンケート用紙と返信用封筒を同封して郵送

郵送回収、または、インターネット回答

(5) 調査期間

令和5年5月17日～6月2日

(6) 回収結果

抽出数	実送付数	有効回答数	有効回答率
4,014 人	4,002 人	1,206 人	30.1%
有効回答数の内訳		郵送回収 913 人	構成比 75.7%
		ネット回答 293 人	構成比 24.3%

※郵送返戻等の理由により、抽出数と実送付数との間に差が生じます。

(7) 調査主体

岸和田市総合政策部企画課

(8) 集計・分析

株式会社中央クリエイト 関西支店

3. 利用上の注意

(1) 調査結果

- (1) 結果は百分率で示しています。百分率は小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- (2) 一部の人を対象とする質問では、質問該当者を分母にして算出しています。
- (3) 複数回答の百分率の合計は、100%を超えます。
- (4) 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。
- (5) 標本数(サンプル数)の表記として「N」を使用しています。

(2) 標本誤差の信頼区間

本調査は標本調査のため、統計上の誤差(標本誤差)が生じます。標本誤差は、母集団と得られた標本数(サンプル数)の結果によって異なります。信頼度95%における誤差は、下記の表のとおりです。

例えば、1,206人の回答者がいる中で、Aという選択肢を選んだ回答者が50%だったとすると、標本誤差は $\pm 2.8\%$ であるため、誤差を考慮した場合、同種の調査を100回実施すれば95回までは、この回答率は47.2%~52.8%の間に入るだろう、と推定できるということになります。

■主要な回答者の比率における信頼区分

		総数	都市 中核	岸和田 北部	葛城 の谷	岸和田 中部	久米田	牛滝 の谷	男性	女性	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
母集団(N)		136,549	34,551	25,312	24,127	14,900	20,030	17,629	67,452	69,097	9,361	20,403	18,881	24,154	28,574	21,754	2,559
サンプル数(N)		1,206	266	209	207	131	182	147	567	577	60	145	139	247	260	222	109
回答者の 比率	50%		2.8	6.0	6.8	8.5	7.2	8.0	4.1	4.1	12.6	8.1	8.3	6.2	6.1	6.5	9.2
	55%	45	2.8	6.0	6.7	8.5	7.2	8.0	4.1	4.0	12.5	8.1	8.2	6.2	6.0	6.5	9.1
	60	40	2.8	5.9	6.6	8.4	7.1	7.9	4.0	4.0	12.4	7.9	8.1	6.1	5.9	6.4	9.0
	65	35	2.7	5.7	6.4	8.1	6.9	7.7	3.9	3.9	12.0	7.7	7.9	5.9	5.8	6.2	8.8
	70	30	2.6	5.5	6.2	7.8	6.6	7.4	3.8	3.7	11.6	7.4	7.6	5.7	5.5	6.0	8.4
	75	25	2.4	5.2	5.8	7.4	6.3	7.0	3.5	3.5	10.9	7.0	7.2	5.4	5.2	5.7	8.0
	80	20	2.2	4.8	5.4	6.8	5.8	6.4	3.3	3.3	10.1	6.5	6.6	5.0	4.8	5.2	7.3
	85	15	2.0	4.3	4.8	6.1	5.2	5.7	2.9	2.9	9.0	5.8	5.9	4.4	4.3	4.7	6.6
	90	10	1.7	3.6	4.1	5.1	4.3	4.8	2.5	2.4	7.6	4.9	5.0	3.7	3.6	3.9	5.5
	95	5	1.2	2.6	2.9	3.0	3.7	3.2	1.8	1.8	5.5	3.5	3.6	2.7	2.6	2.9	4.0

4. 本調査における施策体系と設問の関係

施策体系			関係設問	
基本目標	個別目標	個別目標の方向性	施策指標 (施策関連)	満足度
岸和田の次世代を 育むまち	安心して子どもを生 み、育てられている	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくりを進める	—	問 26-1
		妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	問 25-1 ウ 問 25-2 タ	問 26-2
	働きながら子育てがで きている	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	問 25-2 チ	問 26-3
	子どもの健康と安全が 保たれている	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくりを進める	—	問 26-4
		食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める	—	問 26-5
		登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	問 25-2 ツ	問 26-6
		障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める	—	問 26-7
		育てにくさを感じる親への支援や、児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める	—	問 26-8
	子どもの個性や能力が 豊かに育まれている	適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する	—	問 26-9
		子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う	問 25-2 テ	問 26-10
		学校園の適切な維持管理や魅力ある運営を行う	—	問 26-11
		地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	—	問 26-12
		地域の産業を担う人材育成を進める	—	問 26-13
	生涯にわたる能力づく りが進められ、活かさ れている	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	問 7	問 26-14
		スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める	問 4	問 26-15
		芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	問 5	問 26-16
	誰もが社会参加し、活 躍できる場がつけられ ている	働きたい人への就労機会の確保を進める	問 25-1 ク	問 26-17
		市内事業所の労働環境の向上を進める	問 17 問 25-1 イ 問 25-1 ケ	問 26-18
		障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	問 25-1 ア	問 26-19
		高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める	問 25-1 ア	問 26-20
	郷土の歴史や文化が引 き継がれている	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	問 6	問 26-21
		岸和田の歴史や文化財の保存・活用を進める	問 25-1 コ	問 26-22

施策体系			関係設問	
基本目標	個別目標	個別目標の方向性	施策指標 (施策関連)	満足度
健康で自分らしく 生きられるまち	健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している	健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める	問 14 問 22	問 26-23
	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	問 13	問 26-24
	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	問 25-1 ス	問 26-26
		男女共同参画の取組を進める	問 25-1 セ	問 26-27
		みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる	問 25-2 ナ	問 26-28
		平和への意識向上を進める	問 25-1 シ	問 26-25
	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める	問 25-2 ヒ	問 26-29
	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心できている	その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する	—	問 26-30
		医療保険制度を適切に運営する	—	問 26-31
		高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	問 25-2 ハ	問 26-32
		障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	—	問 26-33
		生活困窮者などに必要な支援を行う	—	問 26-35 問 26-36
		住宅困窮者に居住支援を行う	—	問 26-34
安全で安心して 暮らせるまち	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	問 25-2 ト	問 26-37
		空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める	—	問 26-38
		防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	—	問 26-39
		安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める	問 20	問 26-40
	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める	—	問 26-41
		発災時にみんなが迅速に柔軟に対応できる環境づくりを進める	問 18 問 19	問 26-42
		火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める	—	問 26-43

施策体系			関係設問	
基本目標	個別目標	個別目標の方向性	施策指標 (施策関連)	満足度
住みよいまち 人と自然が共生した	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	環境汚染などによる健康被害の発生を防ぐ	問 21	問 26-44
		安全安心な水を安定的に供給する	問 25-1 工	問 26-45
		まちの美化を進める	問 10	問 26-46
	人が緑と触れあっている	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める	—	問 26-47
		貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める	問 25-1 サ	問 26-48
	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつくられている	ごみの減量や資源の有効活用など 3 R + R を進める	問 11	問 26-49
		省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	問 12	問 26-50
創造するまち にぎわいと活力を	活発な経済活動が行われている	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める	問 15 問 16 問 25-1 キ	問 26-51
		新たに市内で活動する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める	—	問 26-52
		農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	問 25-1 オ	問 26-53
	観光資源が活かされている	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	問 25-1 カ	問 26-54
	岸和田の魅力が伝わっている	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める	—	問 26-55
	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	地域の活性化を導く拠点の形成を進める	問 25-2 二 問 25-2 ヌ	問 26-56
		拠点とのアクセス性の向上を図る	問 25-2 ノ	問 26-57
		適正な土地利用と景観形成を進める	問 25-2 ネ	問 26-58
持続可能なまち みんなでつくる	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	問 8 問 9 問 23 問 25-2 フ	—
		当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める	問 25-1 ソ	—
	持続可能で信頼される行政になっている	業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める	—	—
		適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める	—	—
		行政手続きが便利になる環境づくりを進める	問 24 問 25-2 ヘ	—
		安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める	—	—
		市独自の歳入確保を進める	—	—

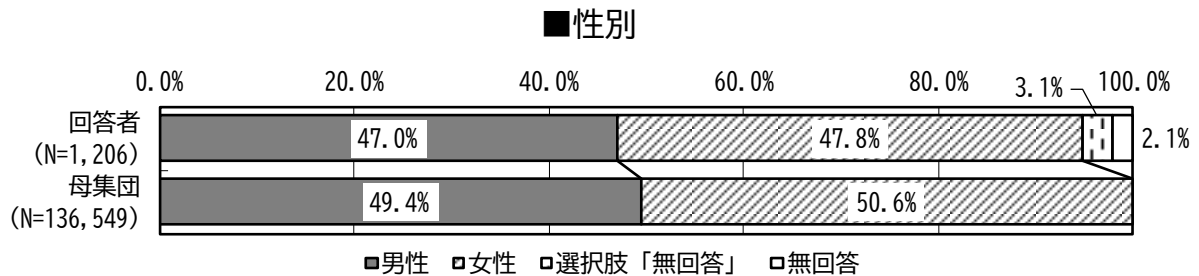
第2 回答者の属性

第2 回答者の属性

1. 母集団と回答者の比較

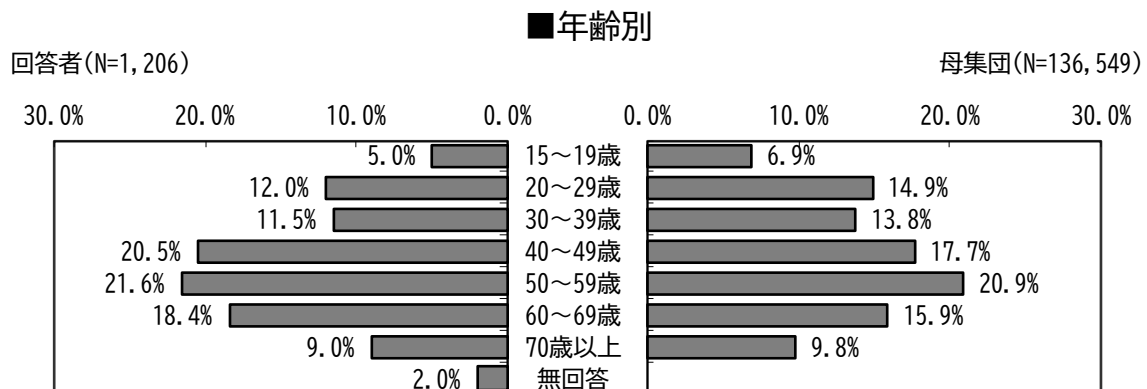
(1) 性別

性別にみると、回答者の割合は、「選択肢で『無回答』を選んだ人」と単なる「無回答」を除くと、母集団と同様に女性の割合が高くなっています。



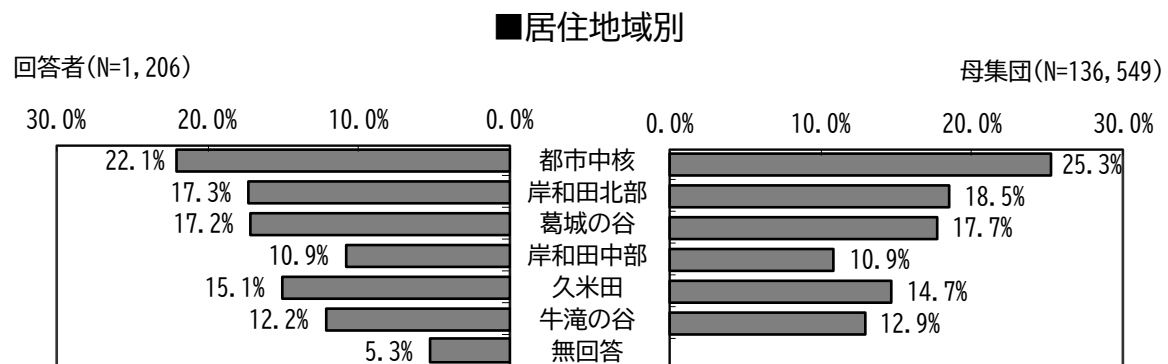
(2) 年齢

年齢別にみると、回答者の割合構成比率は、母集団に比べて、40歳未満の割合が低く、40歳以上の割合が高い傾向にあります。



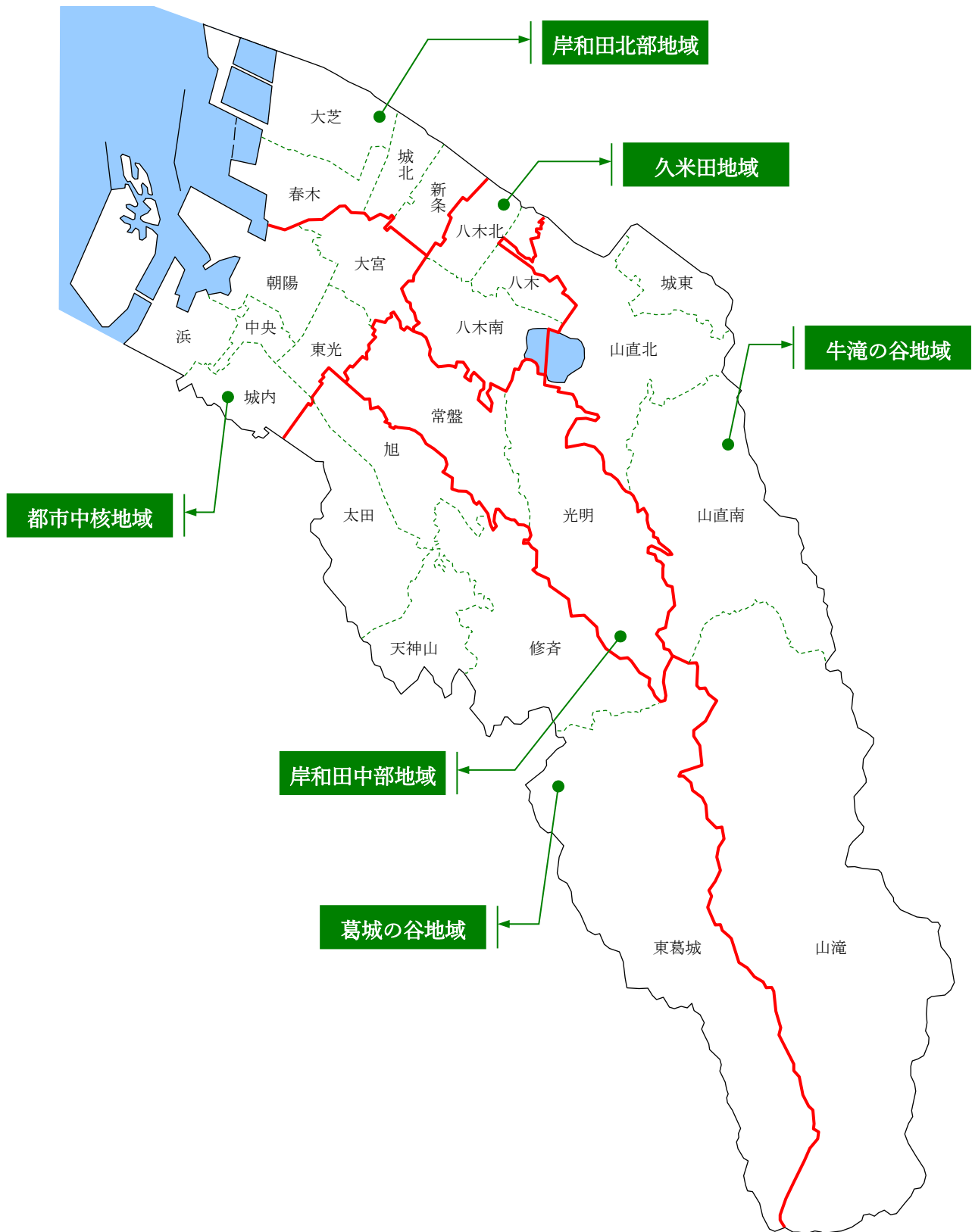
(3) 居住地域別

居住地域別にみると、回答者の割合は「岸和田市中部地域」、「久米田地域」以外の地域は母集団に比べ、低くなっていますが、大きく変動している地域はありません。



※母集団とは、アンケート対象者抽出の基準となった、令和5年4月30日現在の15歳以上75歳未満の岸和田市住民基本台帳に記載されている方の合計を言います。

■岸和田市内各町と圏域の関係

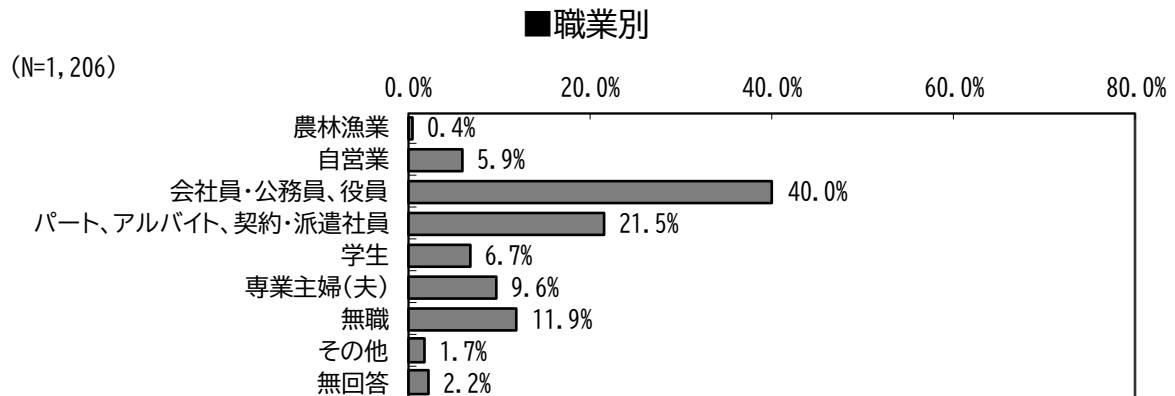


2. 回答者の内訳

(1) 職業別、および、勤務地・通学地別

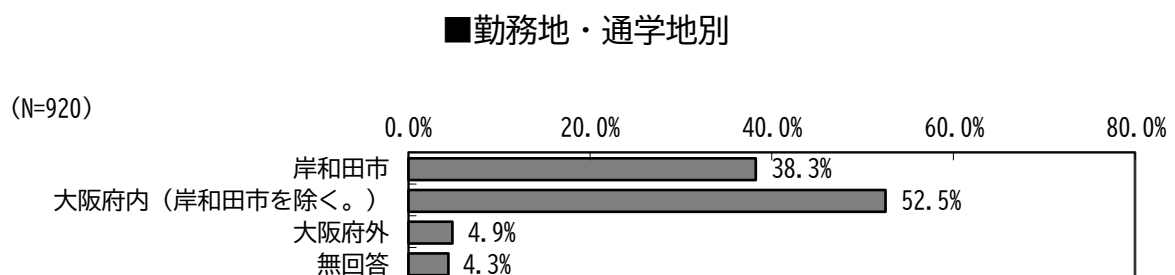
① 職業別

回答者の職業は、「会社員・公務員、役員」(40.0%)が最も多く、次いで「パート、アルバイト、契約、派遣社員」(21.5%)、「無職」(11.9%)となっています。



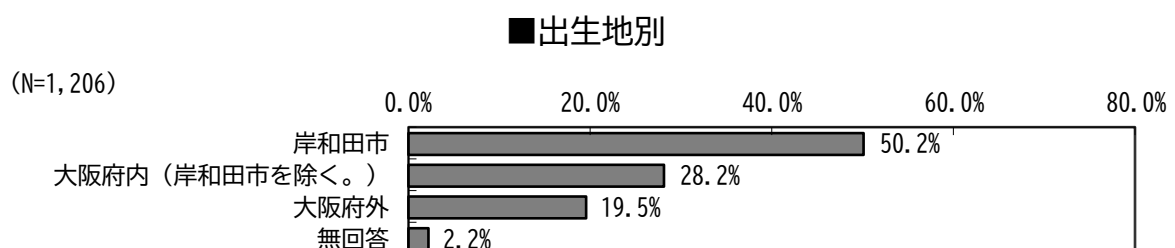
② 勤務地・通学地別

回答者の勤務地・通学地は、「大阪府（岸和田市を除く。）」(52.5%)が最も多く、次いで「岸和田市」(38.3%)、「大阪府外」(4.9%)となっています。



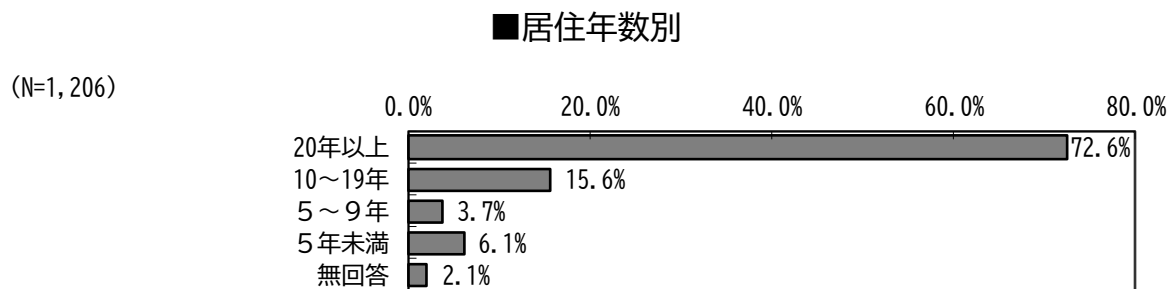
(2) 出生地別

回答者の出生地は、「岸和田市」(50.2%)が最も多く、次いで「大阪府内（岸和田市を除く。）」(28.2%)、「大阪府外」(19.5%)となっています。

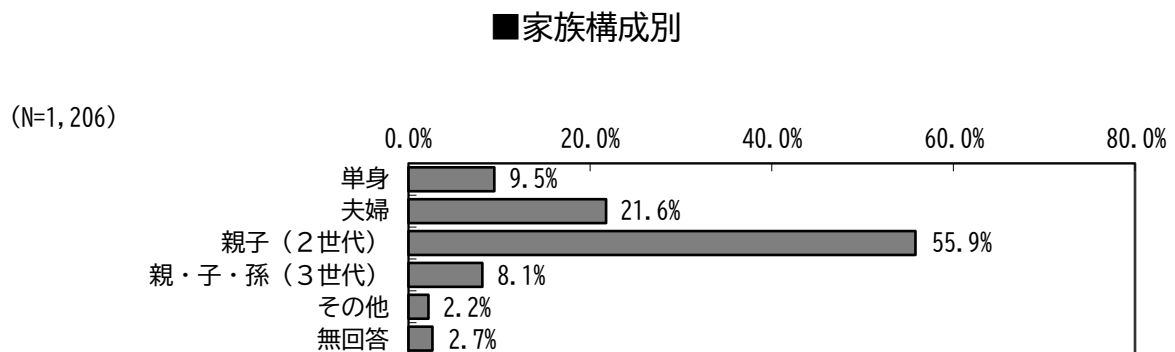


(3) 居住年数別

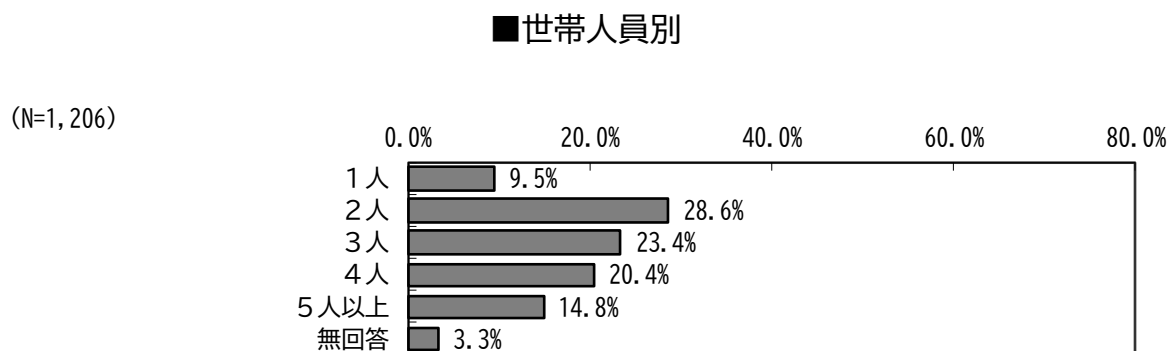
回答者の居住年数は、「20 年以上」(72.6%) が最も多く、次いで「10～19 年」(15.6%)、「5 年未満」(6.1%) となっています。

**(4) 家族構成別、および、世帯人員別****① 家族構成別**

回答者の家族構成は、「親子（2 世代）」世帯 (55.9%) が最も多く、次いで「夫婦」世帯 (21.6%)、「単身」世帯 (9.5%) となっています。

**② 世帯人員別**

回答者の世帯人員は、「2 人」世帯 (28.6%) が最も多く、次いで「3 人」世帯 (23.4%)、「4 人」世帯 (20.4%) となっています。



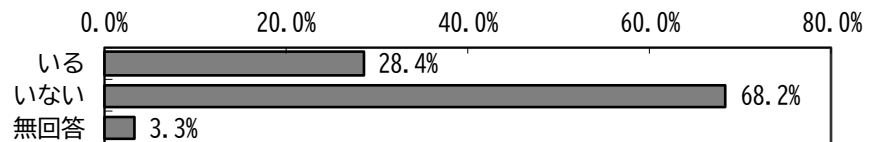
(5) 養育中の子どもの有無別、および、養育中の子どもの内訳別

① 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもが「いる」回答者は、28.4%となっています。

■養育中の子どもの有無別

(N=1,206)

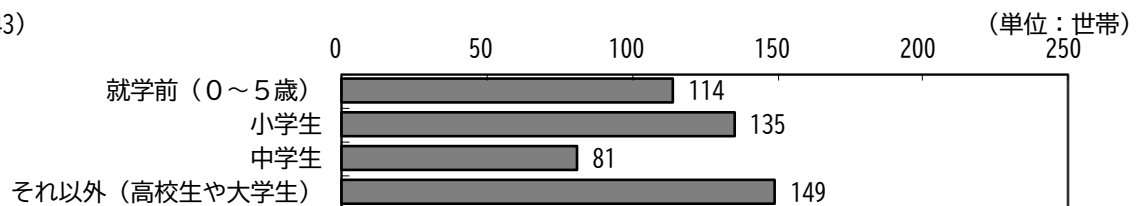


② 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳は、「それ以外（高校生や大学生）」（149 世帯）が最も多く、次いで「小学生」（135 世帯）、「就学前（0～5歳）」（114 世帯）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別

(N=343)

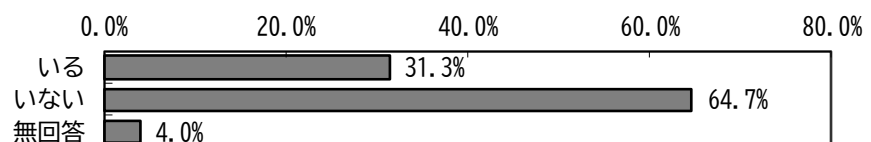


(6) 65歳以上の高齢者との同居の有無別

同居の65歳以上の高齢者が「いる」回答者は、31.3%となっています。

■65歳以上の高齢者との同居の有無別

(N=1,206)

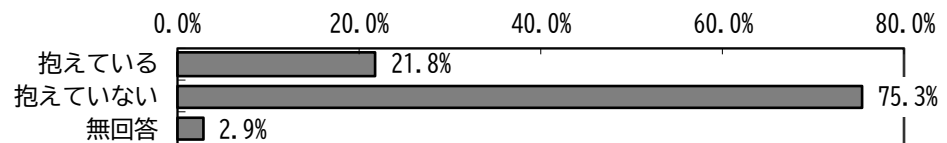


(7) 長期的な病気と障害の有無別、および、日常生活への支障の度合い別**① 長期的な病気や障害の有無別**

現在、長期的な病気や障害を「抱えている」回答者は、21.8%となっています。

■長期的な病気や障害の有無別

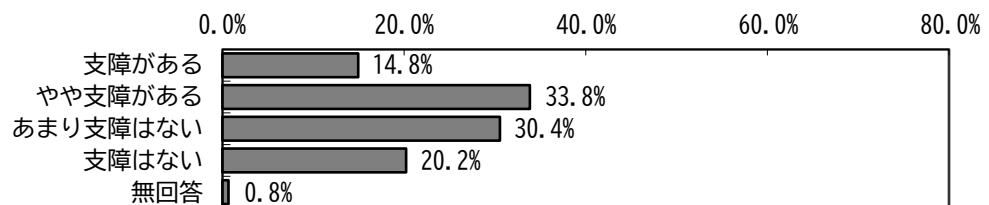
(N=1,206)

**② 日常生活への支障の度合い別**

長期的な病気や障害による日常生活への支障の度合いは、「やや支障がある」(33.8%)が最も多く、次いで「あまり支障はない」(30.4%)、「支障はない」(20.2%)となっています。

■日常生活への支障の度合い別

(N=263)



第3 住みやすさ意識調査結果

第3 住みやすさ意識調査結果

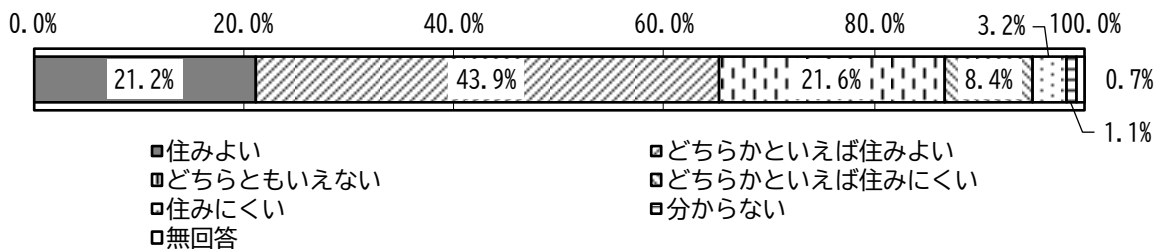
1. 「住みやすさ」の全体の結果

〔問1〕の住みやすさ意識調査の結果、「住みよい」(21.2%)と「どちらかといえば住みよい」(43.9%)をあわせた『住みよい』は65.1%となっており、全体の約3分の2の人が、岸和田市は『住みよい』と感じています。

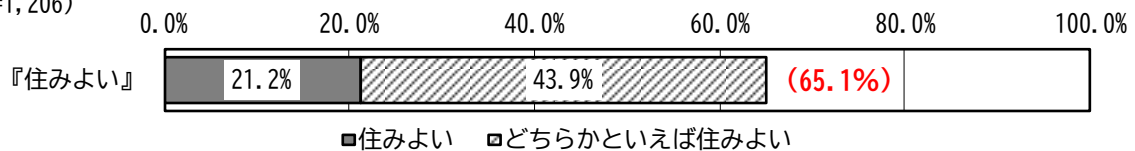
一方、「住みにくい」(3.2%)と「どちらかといえば住みにくい」(8.4%)をあわせた『住みにくい』は11.6%となっており、岸和田市を『住みにくい』と感じている人は、約1割いることがわかります。

■岸和田市の住みやすさ

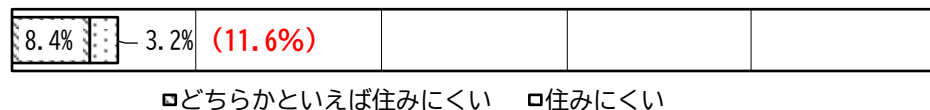
(N=1,206)



(N=1,206)



『住みにくい』

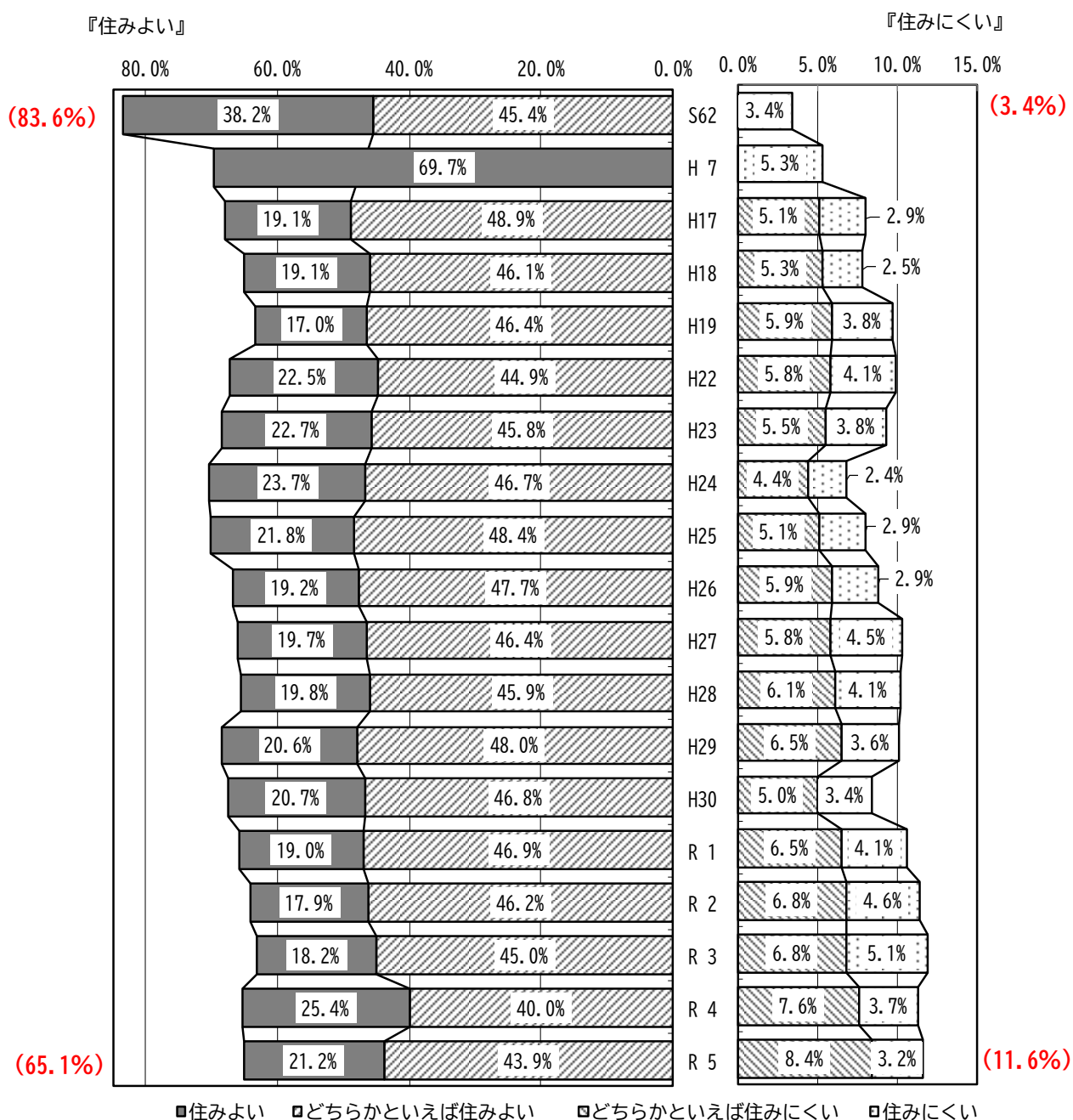


2. 「住みやすさ」の経年比較

昭和62年の調査時には83.6%と8割を超える人が、岸和田市を『住みよい』と感じていましたが、平成7年の調査時には、約7割に減少しました。その後は増減があるものの、令和5年は『住みよい』と感じている人が65.1%となっています。

一方、岸和田市を『住みにくい』と感じている人は、昭和62年の調査で3.4%であったものの、その後、増加を続け、平成22年の調査では1割に迫る数値となりました。その後、1割未満となった期間を経て、平成27～29年は約1割で推移していましたが、平成30年は1割を下回り、令和元年から令和5年の調査では、再び約1割となっています。

■経年比較：岸和田市の住みやすさ

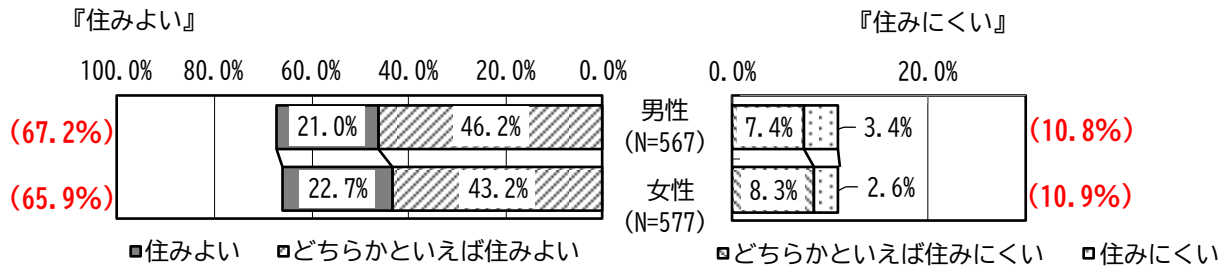


3. 「住みやすさ」の属性分析

(1) 性別

性別にみると、『住みよい』は「男性」が67.2%で、「女性」の65.9%より1.3ポイント上回っています。一方『住みにくい』は「男性」が10.8%で、「女性」の10.9%より0.1ポイント下回っています。

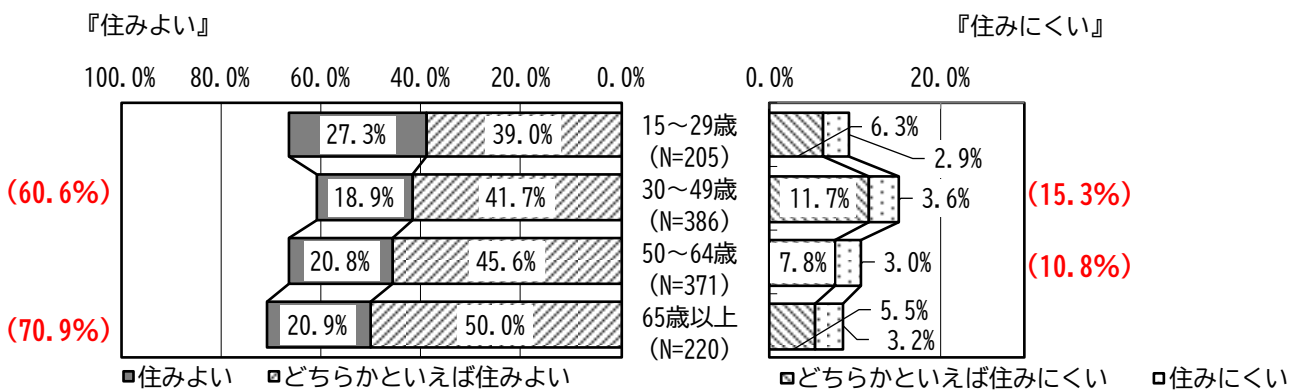
■性別：岸和田市の住みやすさ



(2) 年齢別

年齢別にみると、『住みよい』は、「65歳以上」の年齢層で70.9%と最も高く、「30～49歳」の年齢層で60.6%と最も低くなっています。一方『住みにくい』は、「30～49歳」の年齢層で15.3%と最も高く、次いで「50～64歳」の年齢層で10.8%となっています。

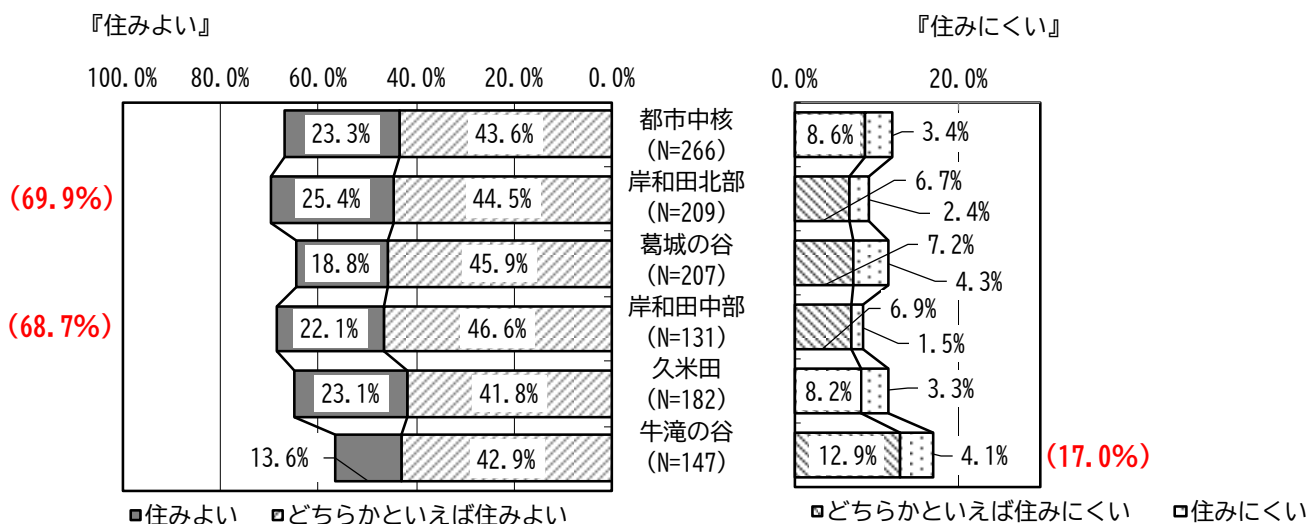
■年齢別：岸和田市の住みやすさ



(3) 居住地域別

居住地域別にみると、『住みよい』は「岸和田北部地域」(69.9%)が最も高く、次いで「岸和田中部地域」(68.7%)となっています。一方、『住みにくい』は「牛滝の谷地域」(17.0%)が最も高く、他地域に比べて高い割合となっています。

■居住地域別：岸和田市の住みやすさ

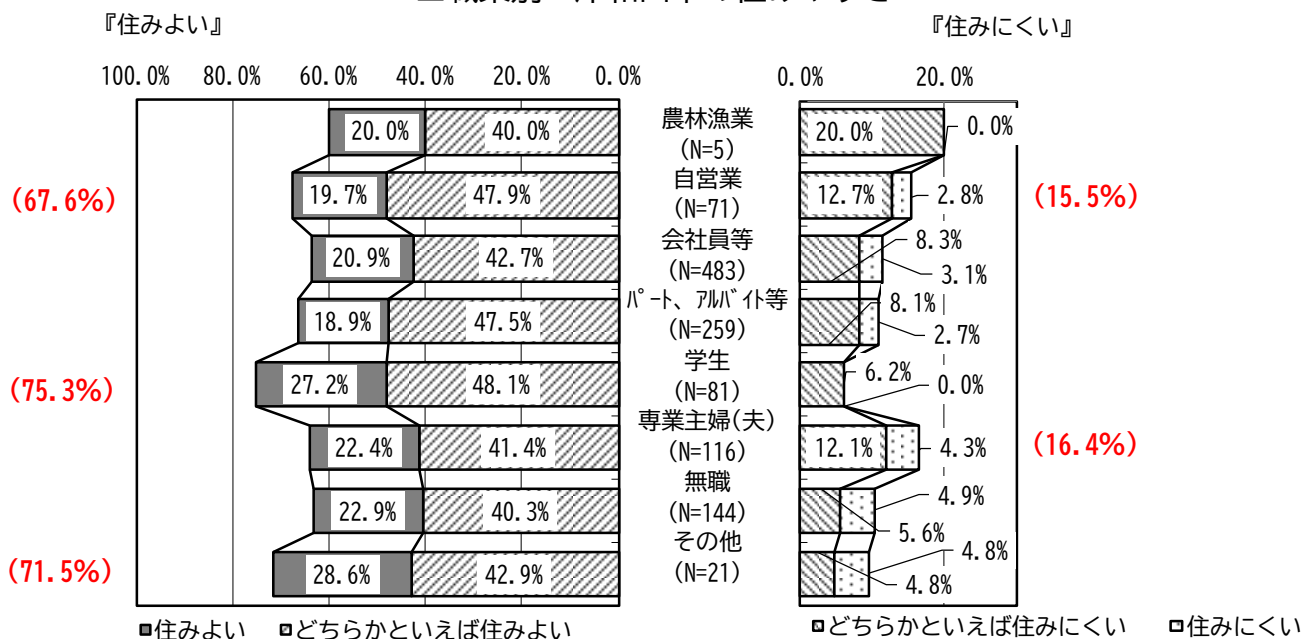


(4) 職業別、および、勤務地・通学地別

① 職業別

職業別にみると、『住みよい』は「学生」(75.3%)が最も高く、次いで「その他」(71.5%)、「自営業」(67.6%)となっています。一方、『住みにくい』は回答数が少ない「農林漁業」を除いて、「専業主婦(夫)」(16.4%)が最も高く、次いで「自営業」(15.5%)となっています。

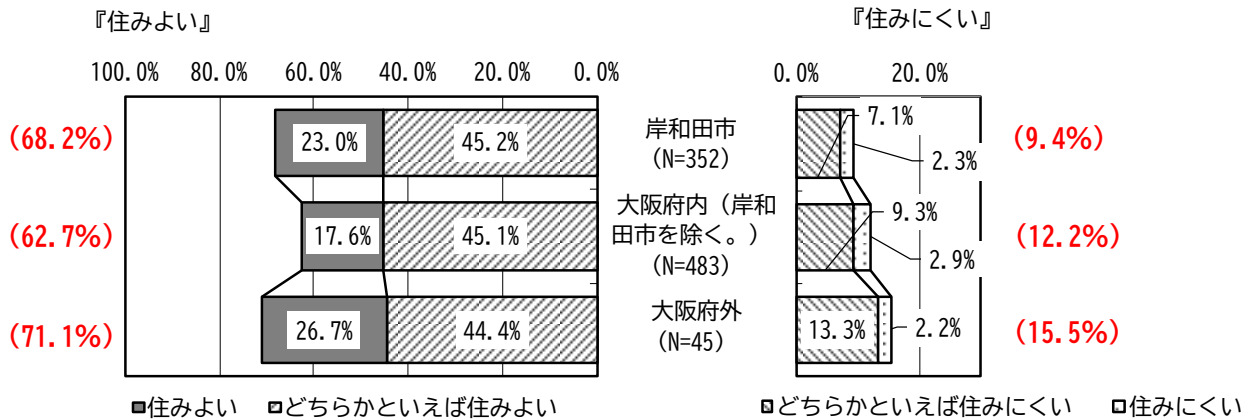
■職業別：岸和田市の住みやすさ



② 勤務地・通学地別

勤務地・通学地別にみると、『住みよい』は「大阪府外」(71.1%)が最も高く、次いで「岸和田市」(68.2%)、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(62.7%)となっています。一方、『住みにくい』は「大阪府外」(15.5%)が最も高く、次いで「大阪府内(岸和田市を除く。)」(12.2%)、「岸和田市」(9.4%)となっています。

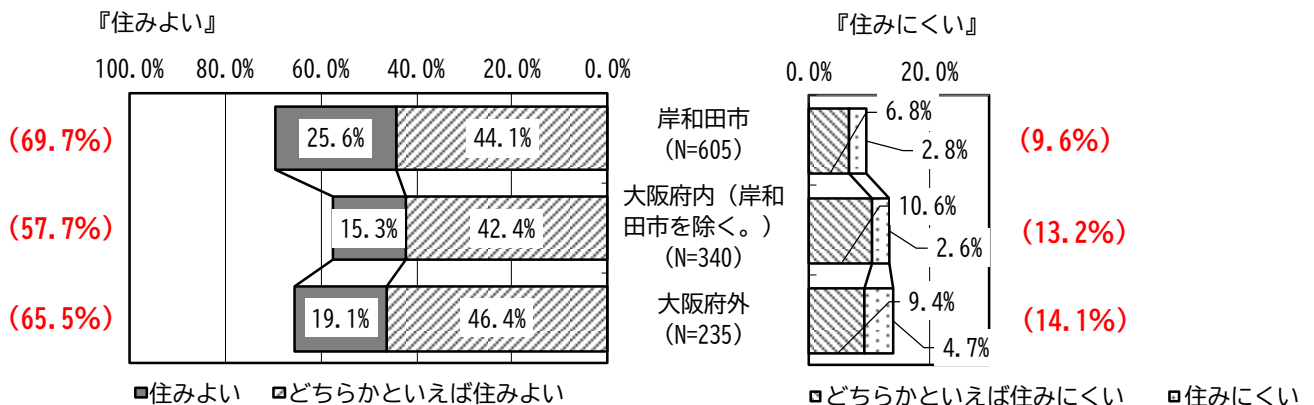
■勤務地・通学地別：岸和田市の住みやすさ



(5) 出生地別

出生地別にみると、『住みよい』は「岸和田市」(69.7%)が最も高く、次いで「大阪府外」(65.5%)、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(57.7%)となっています。一方、『住みにくい』は「大阪府外」(14.1%)が最も高く、次いで「大阪府内(岸和田市を除く。)」(13.2%)、「岸和田市」(9.6%)となっています。

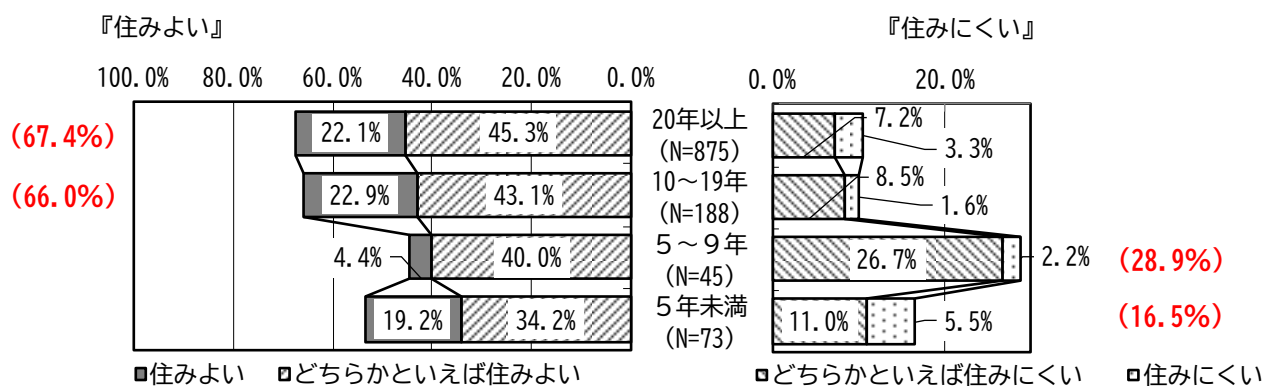
■出生地別：岸和田市の住みやすさ



(6) 居住年数別

居住年数別にみると、『住みよい』は「20年以上」(67.4%) が最も高く、次いで「10～19年」(66.0%) となっています。一方、『住みにくい』は「5～9年」(28.9%) が最も高く、次いで「5年未満」(16.5%) となっています。

■居住年数別：岸和田市の住みやすさ

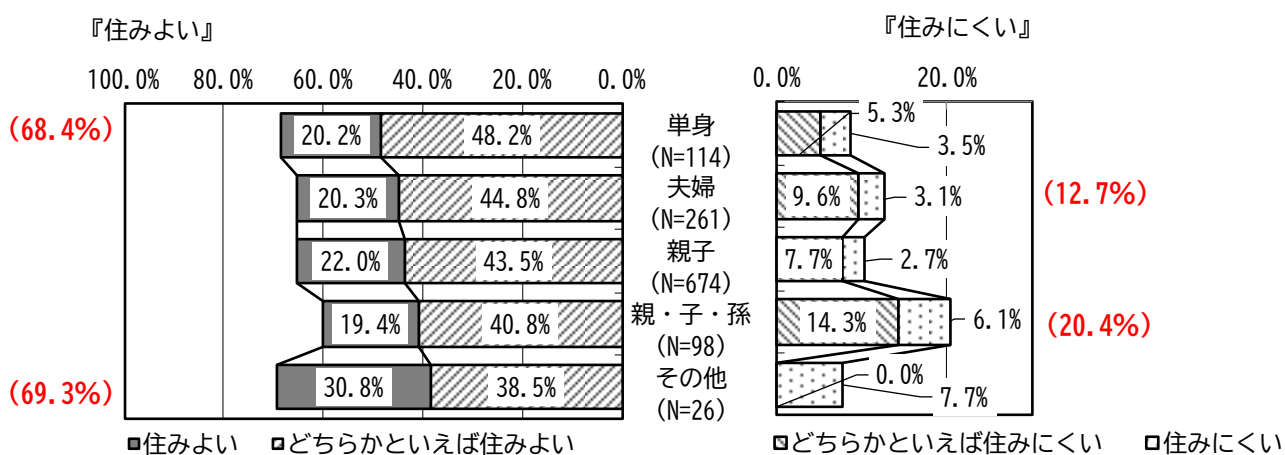


(7) 家族構成別、および、世帯人員別

① 家族構成別

家族構成別にみると、『住みよい』は「その他」世帯 (69.3%) が最も高く、次いで「単身」世帯 (68.4%) となっています。一方、『住みにくい』は「親・子・孫」世帯 (20.4%) が最も高く、次いで「夫婦」世帯 (12.7%) となっています。

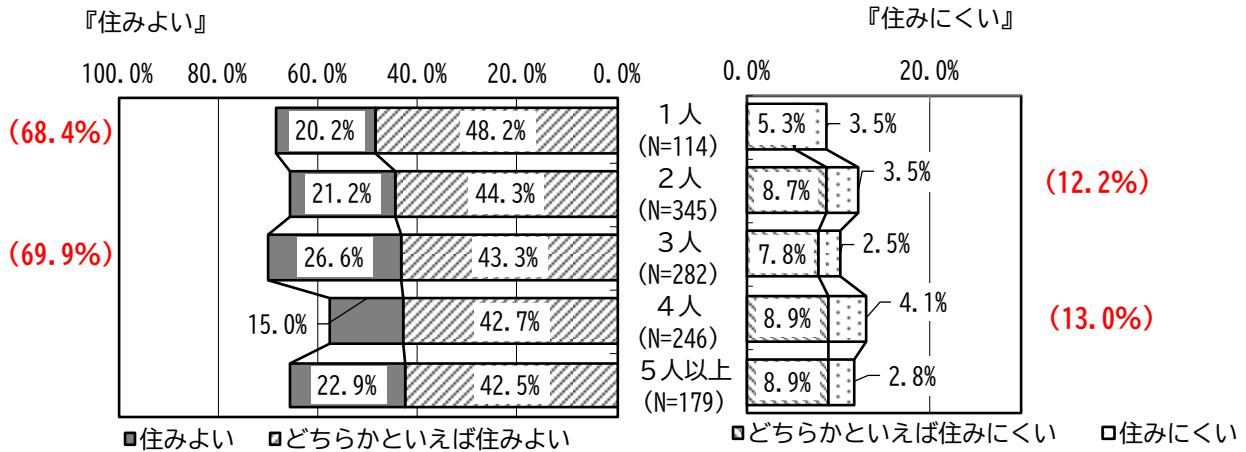
■家族構成別：岸和田市の住みやすさ



② 世帯人員別

世帯人員別にみると、『住みよい』は「3人」世帯（69.9%）が最も高く、次いで「1人」世帯（68.4%）、となっています。一方、『住みにくい』は「4人」世帯（13.0%）が最も高く、次いで「2人」世帯（12.2%）となっています。

■世帯人員別：岸和田市の住みやすさ

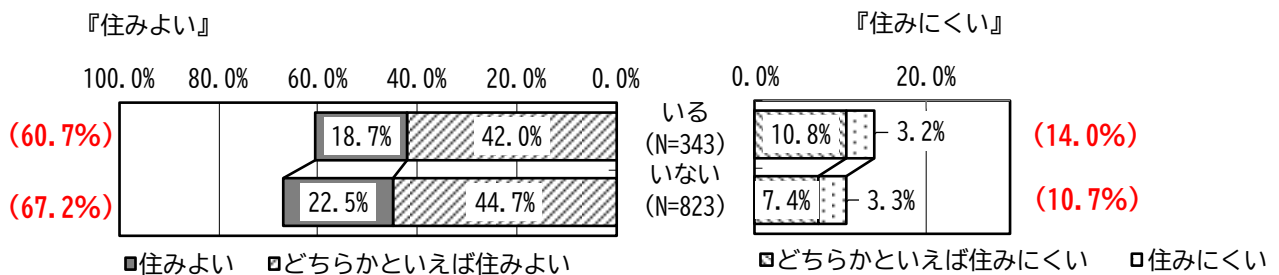


(8) 養育中の子どもの有無別、および、養育中の子どもの内訳別

① 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、「養育中の子どもがいる」世帯では、『住みよい』が60.7%、『住みにくい』が14.0%となっています。一方、「養育中の子どもがいない」世帯では、『住みよい』が67.2%、『住みにくい』が10.7%となっています。「養育中の子どもがいる」世帯のほうが『住みにくい』と感じています。

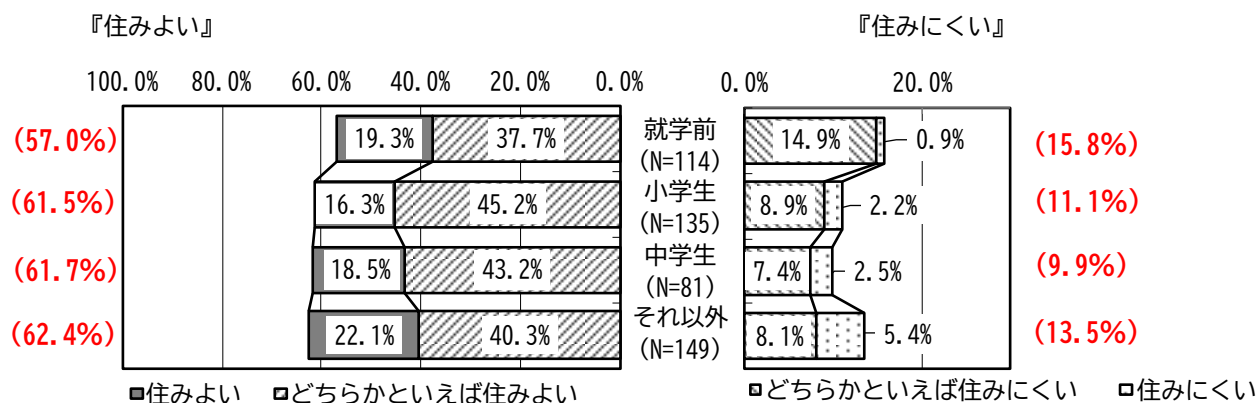
■養育中の子どもの有無別：岸和田市の住みやすさ



② 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、『住みよい』は「就学前」、「小学生」、「中学生」「それ以外」の子どもがいる世帯では、それぞれ57.0%～62.4%で、前述(P.13)の全体(65.1%)を下回っています。一方、『住みにくい』は、「就学前」、「それ以外」の子どもがいる世帯では、それぞれ13.5%～15.8%で、前述(P.13)の全体(11.6%)を上回っています。

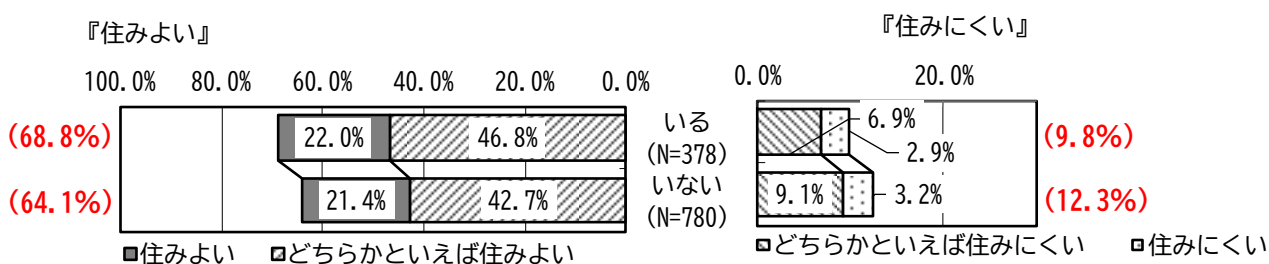
■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：岸和田市の住みやすさ



(9) 65歳以上の高齢者との同居の有無別

65歳以上の高齢者との同居の有無別にみると、「65歳以上の高齢者がいる」世帯では、『住みよい』が68.8%、『住みにくい』が9.8%となっています。一方、「65歳以上の高齢者がいない」世帯では、『住みよい』が64.1%、『住みにくい』が12.3%となっています。

■65歳以上の高齢者との同居の有無別：岸和田市の住みやすさ

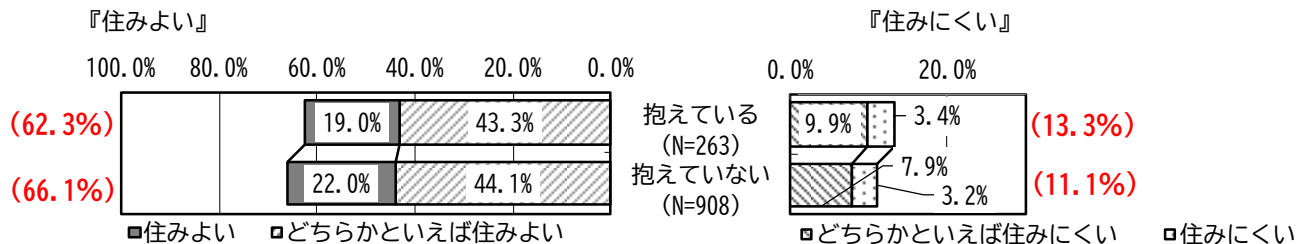


(10) 長期的な病気や障害の有無別、および、日常生活への支障の度合い別

① 長期的な病気や障害の有無別

長期的な病気や障害の有無別にみると、病気や障害を「抱えている」人は、『住みよい』が62.3%、『住みにくい』が13.3%となっています。一方、「抱えていない」人は、『住みよい』が66.1%、『住みにくい』が11.1%となっています。

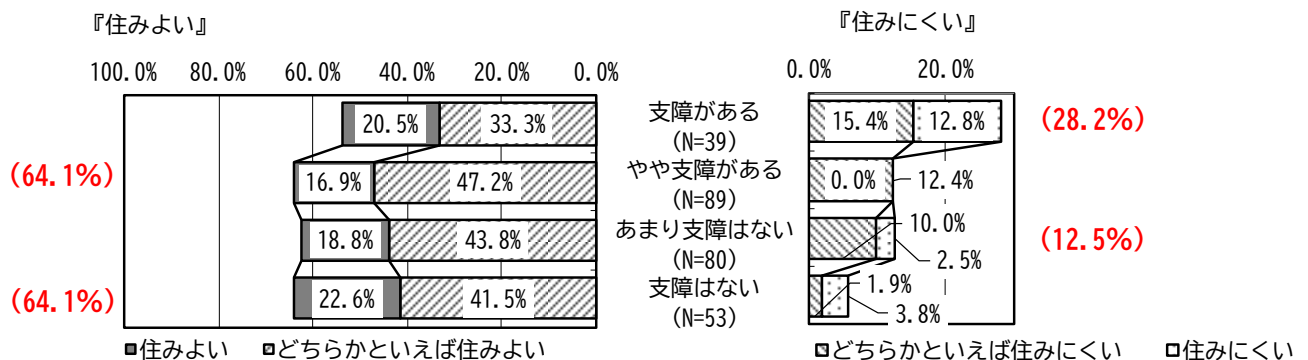
■長期的な病気や障害の有無別：岸和田市の住みやすさ



② 日常生活への支障の度合い別

日常生活への支障の度合い別にみると、『住みよい』は「やや支障がある」、「支障はない」が共に64.1%と最も高くなっています。一方、『住みにくい』は「支障がある」(28.2%)が最も高く、次いで「あまり支障はない」(12.5%)となっています。

■日常生活への支障の度合い別：岸和田市の住みやすさ



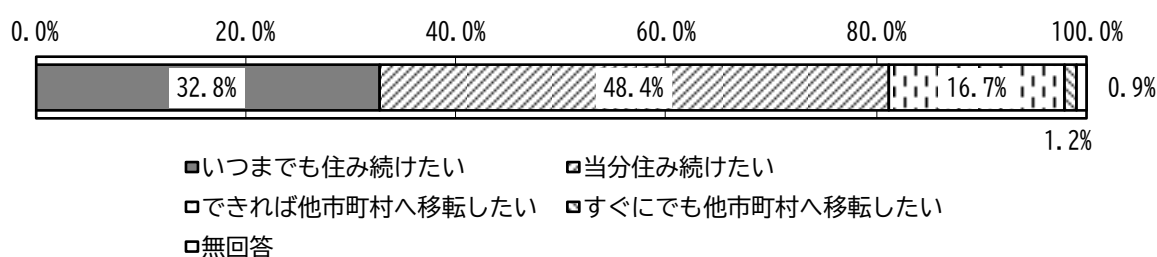
4. 「住み続けたい」の全体の結果

〔問2〕の住み続けたい意識調査の結果、「いつまでも住み続けたい」(32.8%)と「当分住み続けたい」(48.4%)をあわせた『住み続けたい』は81.2%となっており、全体の約8割の人が、岸和田市に『住み続けたい』と感じています。

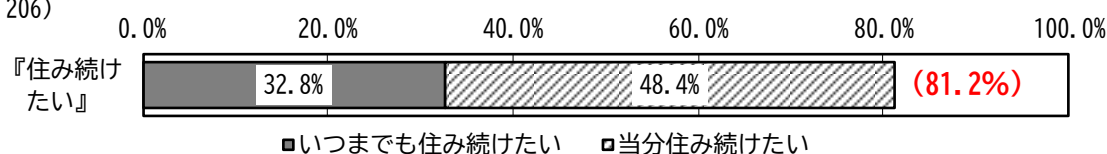
一方、「できれば他市町村へ移転したい」(16.7%)と「すぐにでも他市町村へ移転したい」(1.2%)をあわせた『住み続けたくない』は17.9%となっており、岸和田市に『住み続けたくない』と感じている人は、約2割いることがわかります。

■岸和田市への居住継続意向

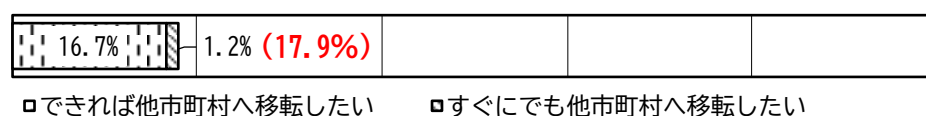
(N=1,206)



(N=1,206)



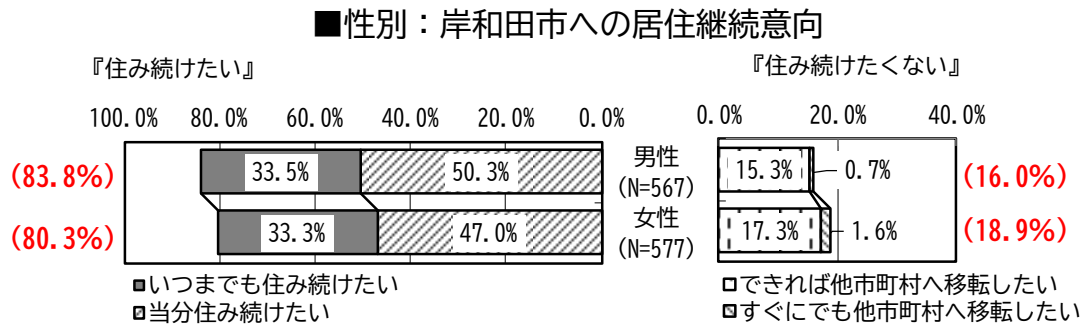
『住み続けたくない』



5. 「住み続けたい」の属性分析

(1) 性別

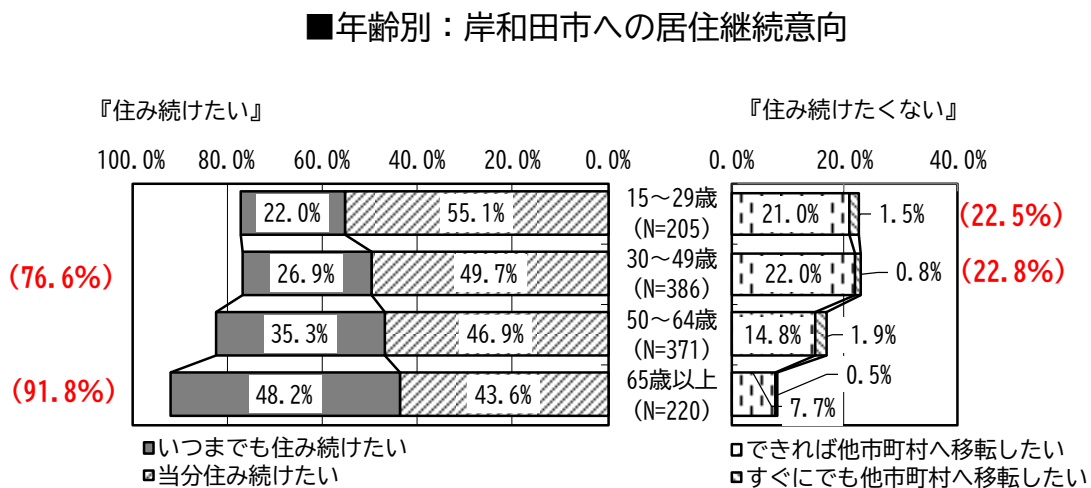
性別にみると、『住み続けたい』は、「男性」が83.8%で、「女性」の80.3%より3.5ポイント上回っています。また、『住み続けたくない』は、「男性」が16.0%で、「女性」の18.9%を2.9ポイント下回っています。男性は、女性に比べて、居住継続意向が高い傾向にあります。



(2) 年齢別

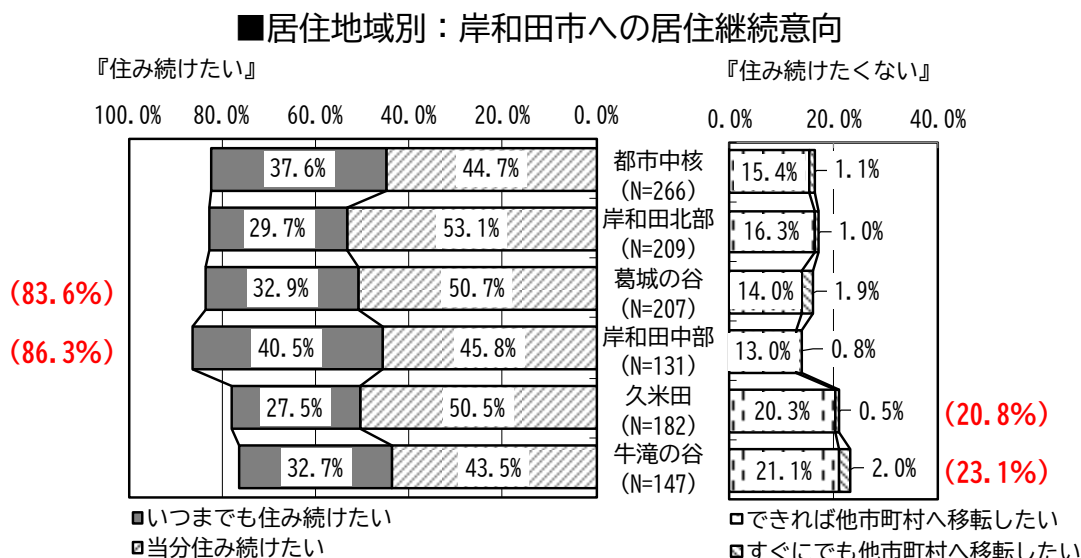
年齢別にみると、『住み続けたい』は、「65歳以上」の年齢層で91.8%と最も高く、「30～49歳」の年齢層で76.6%と最も低くなっています。

一方、『住み続けたくない』は、「30～49歳」の年齢層で22.8%と最も高く、次いで「15～29歳」で22.5%となっています。



(3) 居住地域別

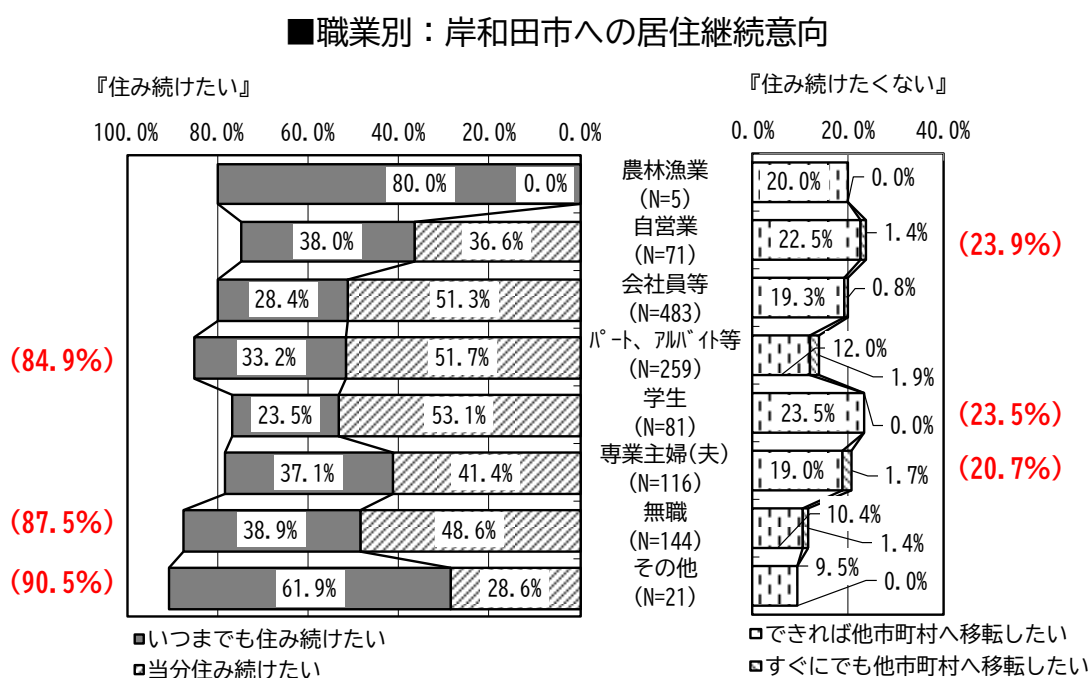
居住地域別にみると、『住み続けたい』は、「岸和田中部地域」(86.3%)が最も高く、次いで「葛城の谷地域」(83.6%)となっています。一方、『住み続けたくない』は、「牛滝の谷地域」(23.1%)が最も高く、次いで「久米田地域」(20.8%)となっています。



(4) 職業別、および、勤務地・通学地別

① 職業別

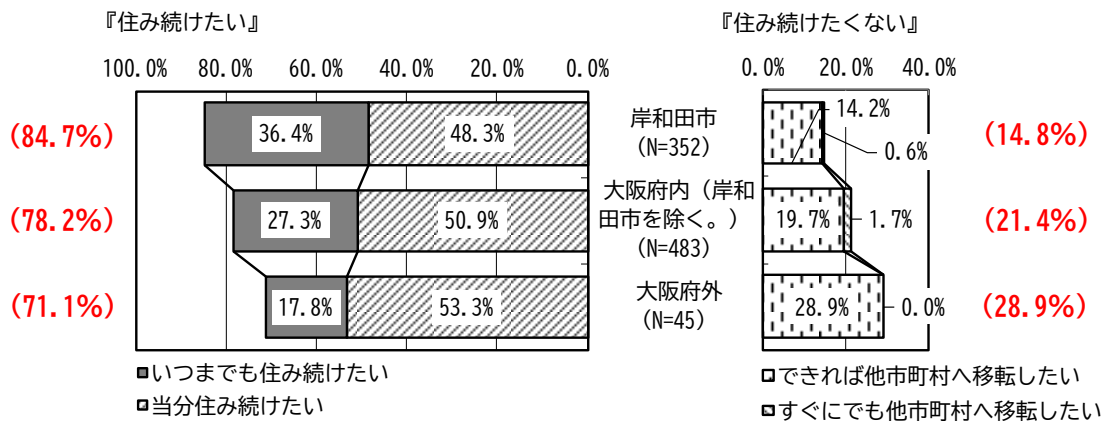
職業別にみると、『住み続けたい』は、回答数が少ない「農業漁業」を除き、「その他」(90.5%)が最も高く、次いで「無職」(87.5%)、「パート、アルバイト等」(84.9%)となっています。一方、『住み続けたくない』は、「自営業」(23.9%)が最も高く、次いで「学生」(23.5%)、「専業主婦(夫)」(20.7%)となっています。



② 勤務地・通学地別

勤務地・通学地別にみると、『住み続けたい』は、「岸和田市」(84.7%)が最も高く、次いで「大阪府内(岸和田市を除く。)」(78.2%)、「大阪府外」(71.1%)となっています。一方、『住み続けたくない』は、「大阪府外」(28.9%)が最も高く、次いで「大阪府内(岸和田市を除く。)」(21.4%)、「岸和田市」(14.8%)となっています。

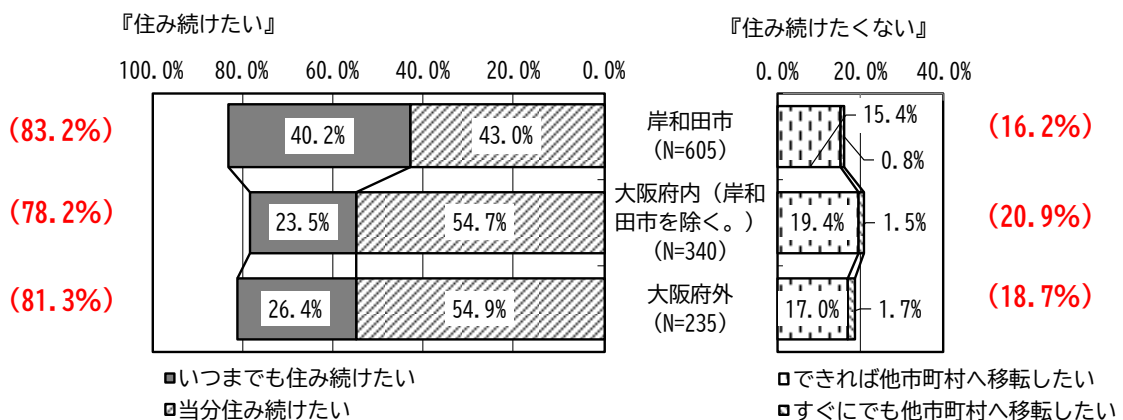
■勤務地・通学地別：岸和田市への居住継続意向



(5) 出生地別

出生地別にみると、『住み続けたい』は、「岸和田市」(83.2%)が最も高く、次いで「大阪府外」(81.3%)、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(78.2%)となっています。一方、『住み続けたくない』は、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(20.9%)が最も高く、次いで「大阪府外」(18.7%)、「岸和田市」(16.2%)となっています。

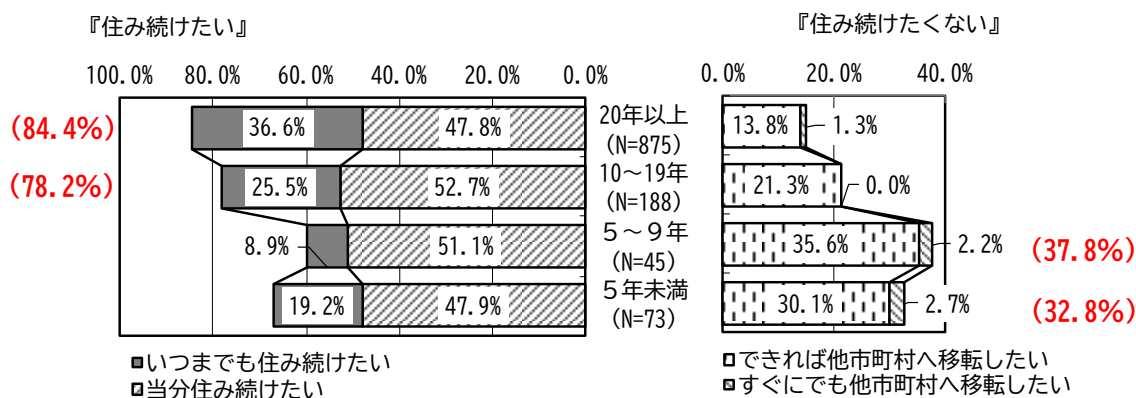
■出生地別：岸和田市への居住継続意向



(6) 居住年数別

居住年数別にみると、『住みたい』は、「20年以上」(84.4%)が最も高く、次いで「10～19年」(78.2%)となっています。一方、『住みたくない』は、「5～9年」(37.8%)が最も高く、次いで「5年未満」(32.8%)となっています。

■居住年数別：岸和田市への居住継続意向

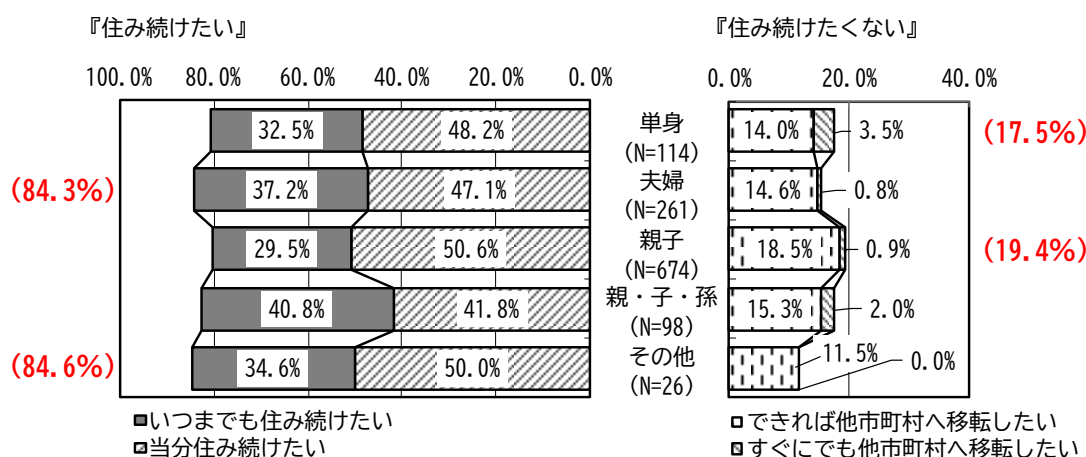


(7) 家族構成別、および、世帯人員別

① 家族構成別

家族構成別にみると、『住みたい』は、「その他」世帯(84.6%)が最も高く、次いで「夫婦」世帯(84.3%)となっています。一方、『住みたくない』は、「親子」世帯(19.4%)が最も高く、次いで「単身」世帯(17.5%)となっています。

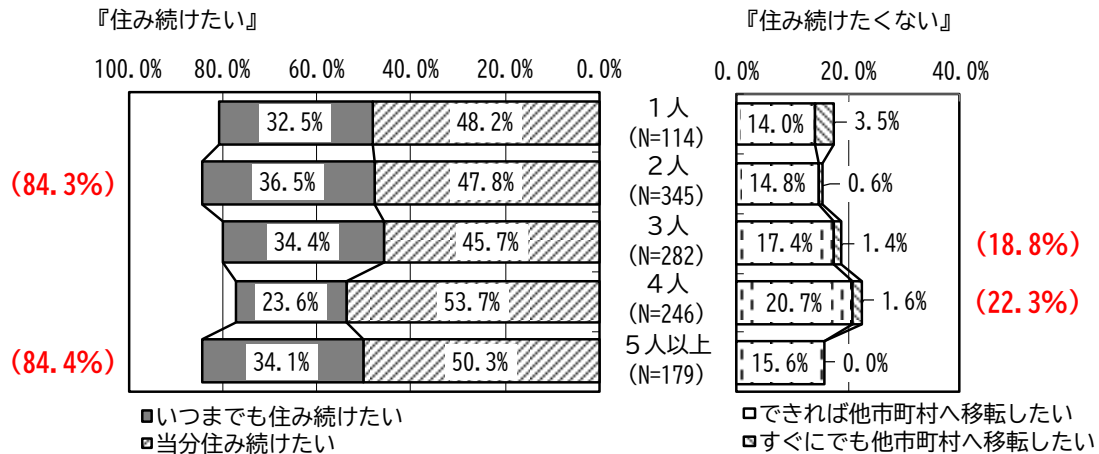
■家族構成別：岸和田市への居住継続意向



② 世帯人員別

世帯人員別にみると、『住み続けたい』は、「5人以上」世帯(84.4%)が最も高く、次いで「2人」世帯(84.3%)となっています。一方、『住み続けたくない』は、「4人」世帯(22.3%)が最も高く、次いで「3人」世帯(18.8%)となっています。

■世帯人員別：岸和田市への居住継続意向

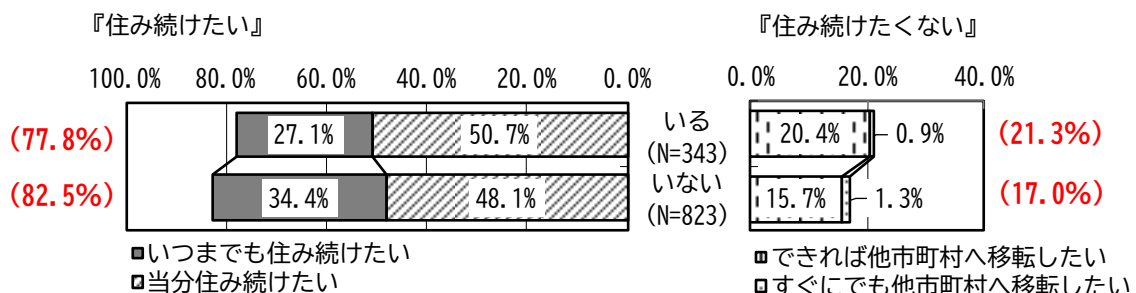


(8) 養育中の子どもの有無別、および、養育中の子どもの内訳別

① 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、「養育中の子どもがいる」世帯では、『住み続けたい』が77.8%、『住み続けたくない』が21.3%となっています。一方、「養育中の子どもがいない」世帯では、『住み続けたい』が82.5%、『住み続けたくない』が17.0%となっています。「養育中の子どもがいる」世帯のほうが、居住継続意向が低い傾向にあります。

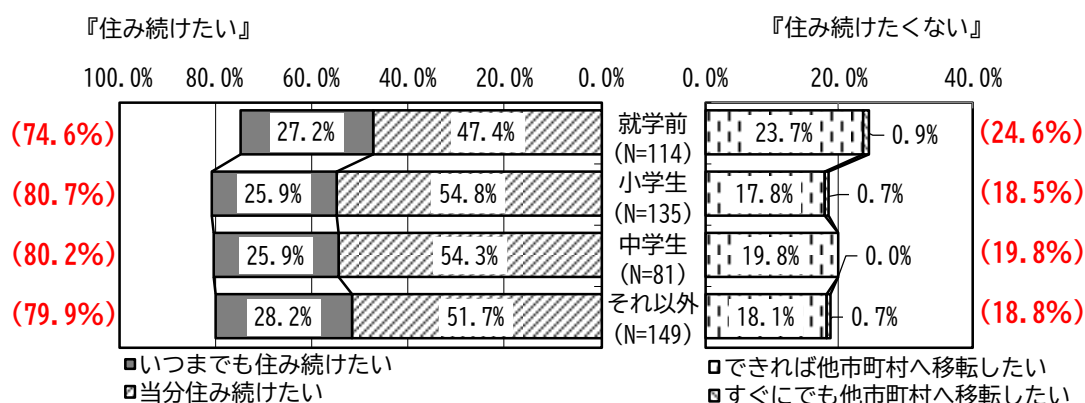
■養育中の子どもの有無別：岸和田市への居住継続意向



② 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、『住み続けたい』は「就学前」、「小学生」、「中学生」、「それ以外」の子どもがいる世帯で、それぞれ74.6%～80.7%となっており、前述（P.22）の全体（81.2%）を下回っています。一方、『住み続けたくない』は、「就学前」、「小学生」、「中学生」、「それ以外」の子どもがいる世帯で、それぞれ18.5%～24.6%となっており、前述（P.22）の全体（17.9%）を上回っています。

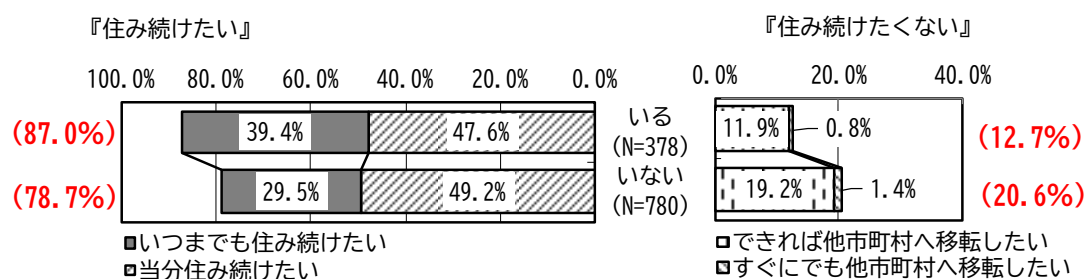
■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：岸和田市への居住継続意向



(9) 65歳以上の高齢者との同居の有無別

65歳以上の高齢者との同居の有無別にみると、「65歳以上の高齢者がいる」世帯では、『住み続けたい』が87.0%、『住み続けたくない』が12.7%となっています。一方、「65歳以上の高齢者がいない」世帯では、『住み続けたい』が78.7%、『住み続けたくない』が20.6%となっています。

■65歳以上の高齢者との同居の有無別：岸和田市への居住継続意向

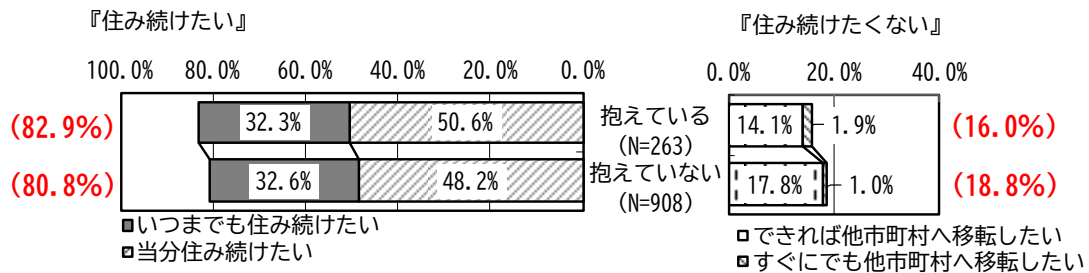


(10) 長期的な病気や障害の有無別、および、日常生活への支障の度合い別

① 長期的な病気や障害の有無別

長期的な病気や障害の有無別にみると、病気や障害を「抱えている」人は、『住み続けたい』が82.9%、『住み続けたくない』が16.0%となっています。一方、「抱えていない」人は、『住み続けたい』が80.8%、『住み続けたくない』が18.8%となっています。

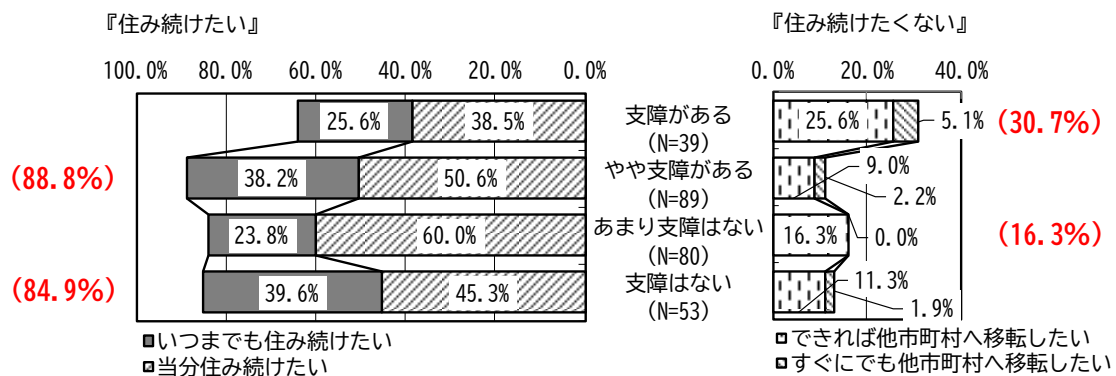
■長期的な病気や障害の有無別：岸和田市への居住継続意向



② 日常生活への支障の度合い別

長期的な病気や障害による日常生活への支障の度合い別にみると、『住み続けたい』は「やや支障がある」(88.8%)が最も高く、次いで「支障はない」(84.9%)となっています。一方、『住み続けたくない』は「支障がある」(30.7%)が最も高く、次いで「あまり支障はない」(16.3%)となっています。

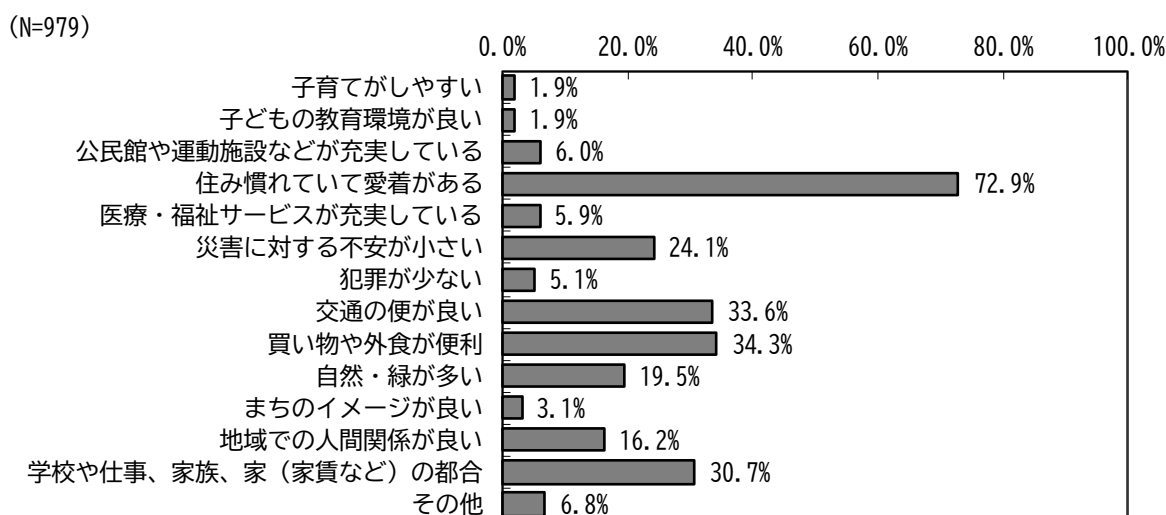
■日常生活への支障の度合い別：岸和田市への居住継続意向



6. 「住み続けたいと思う理由」の全体の結果

〔問2－1〕の住み続けたいと思う理由は、「住み慣れていて愛着がある」(72.9%)が最も高く、次いで「買い物や外食が便利」(34.3%)、「交通の便が良い」(33.6%)となっています。

■住み続けたいと思う理由（3つ以内で複数回答）

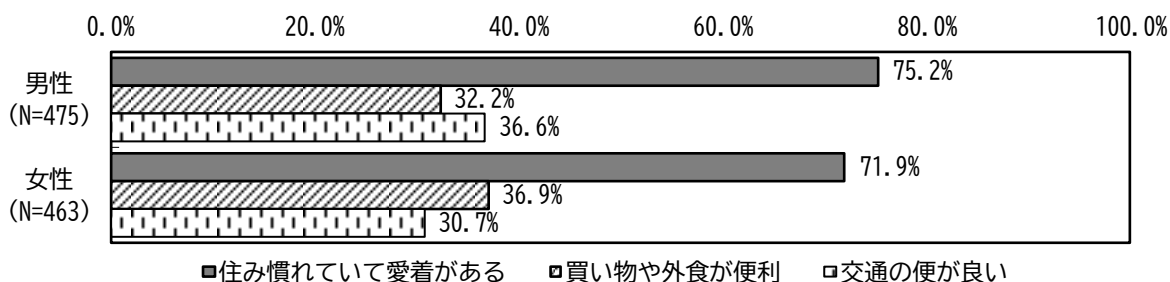


7. 「住み続けたいと思う理由（上位3項目）」の属性分析

（1）性別

性別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「男性」が75.2%で、「女性」の71.9%より3.3ポイント上回っています。一方、『買い物や外食が便利』は、「男性」が32.2%で、「女性」の36.9%より4.7ポイント下回っています。また、『交通の便が良い』は、「男性」が36.6%で、「女性」の30.7%より5.9ポイント上回っています。

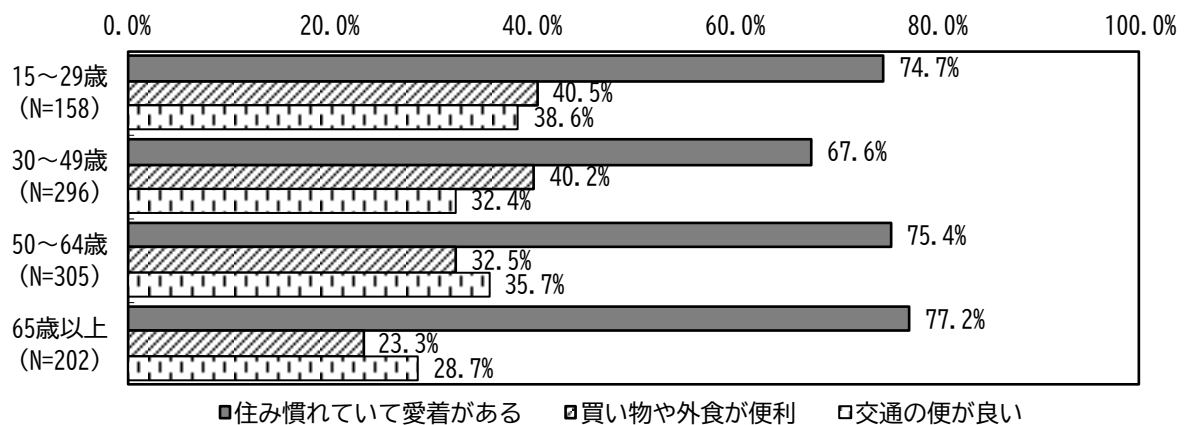
■性別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



(2) 年齢別

年齢別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「65 歳以上」(77.2%) が最も高く、次いで「50～64 歳」(75.4%) となっています。一方、『買い物や外食が便利』は、「15～29 歳」(40.5%) が最も高く、次いで「30～49 歳」(40.2%) となっています。また、『交通の便が良い』は、「15～29 歳」(38.6%) が最も高く、次いで「50～64 歳」(35.7%) となっています。

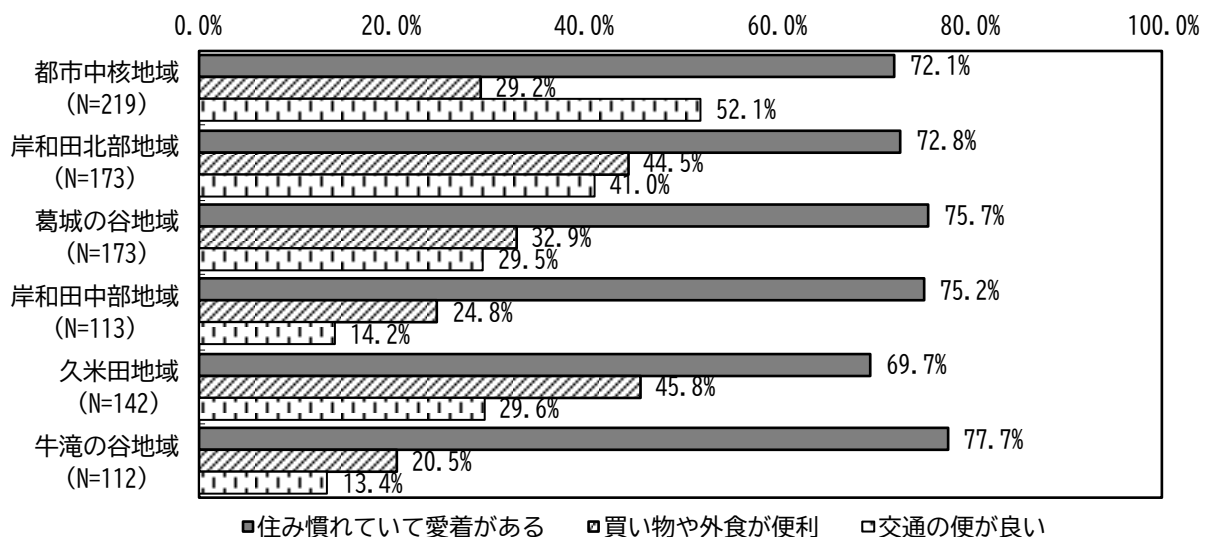
■年齢別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



(3) 居住地域別

居住地域別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「牛滝の谷地域」(77.7%) が最も高く、次いで「葛城の谷地域」(75.7%) となっています。一方、『買い物や外食が便利』は、「久米田地域」(45.8%) が最も高く、次いで「岸和田北部地域」(44.5%) となっています。また、『交通の便が良い』は、「都市中核地域」(52.1%) が最も高く、次いで「岸和田北部地域」(41.0%) となっています。

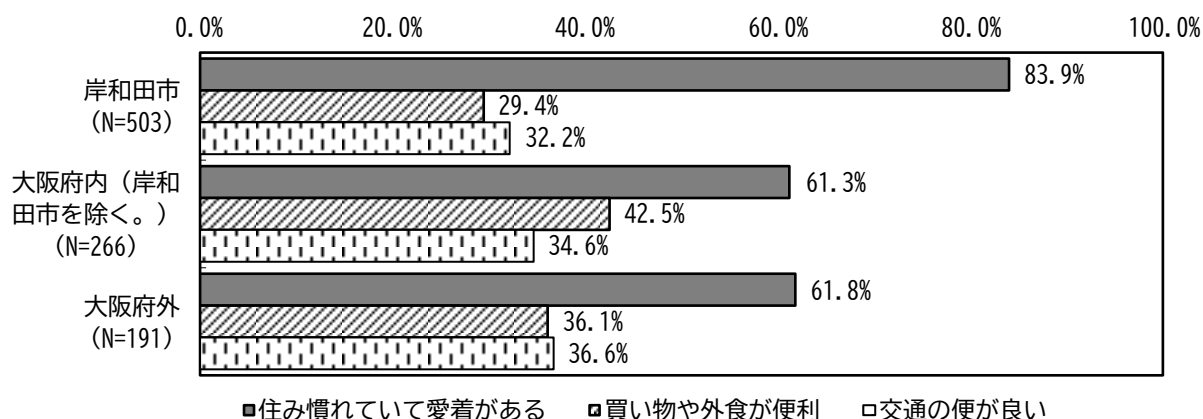
■居住地域別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



(4) 出生地別

出生地別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「岸和田市」(83.9%)が最も高く、次いで「大阪府外」(61.8%)となっています。一方、『買い物や外食が便利』は、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(42.5%)が最も高く、次いで「大阪府外」(36.1%)となっています。また、『交通の便が良い』は、「大阪府外」(36.6%)が最も高く、次いで「大阪府内(岸和田市を除く。)」(34.6%)となっています。

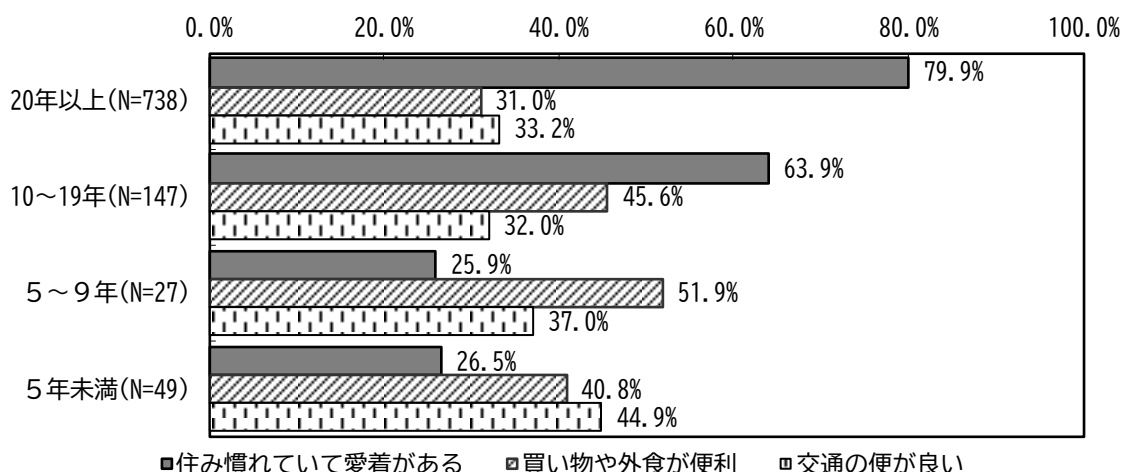
■出生地別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



(5) 居住年数別

居住年数別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「20年以上」(79.9%)が最も高く、次いで「10～19年」(63.9%)となっています。一方、『買い物や外食が便利』は、「5～9年」(51.9%)が最も高く、次いで「10～19年」(45.6%)となっています。また、『交通の便が良い』は、「5年未満」(44.9%)が最も高く、次いで「5～9年」(37.0%)となっています。

■居住年数別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）

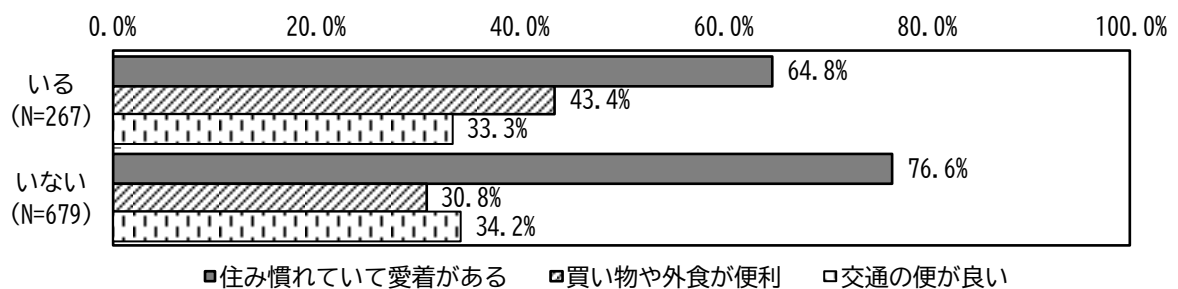


(6) 養育中の子どもの有無別、および、養育中の子どもの内訳別

① 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「養育中の子どもがいる」世帯が64.8%で、「養育中の子どもがいない」世帯の76.6%より11.8ポイント下回っています。一方、『買い物や外食が便利』は、「養育中の子どもがいる」世帯が43.4%で、「養育中の子どもがいない」世帯の30.8%より12.6ポイント上回っています。また、『交通の便が良い』は、「養育中の子どもがいる」世帯が33.3%で、「養育中の子どもがいない」世帯の34.2%より0.9ポイント下回っています。

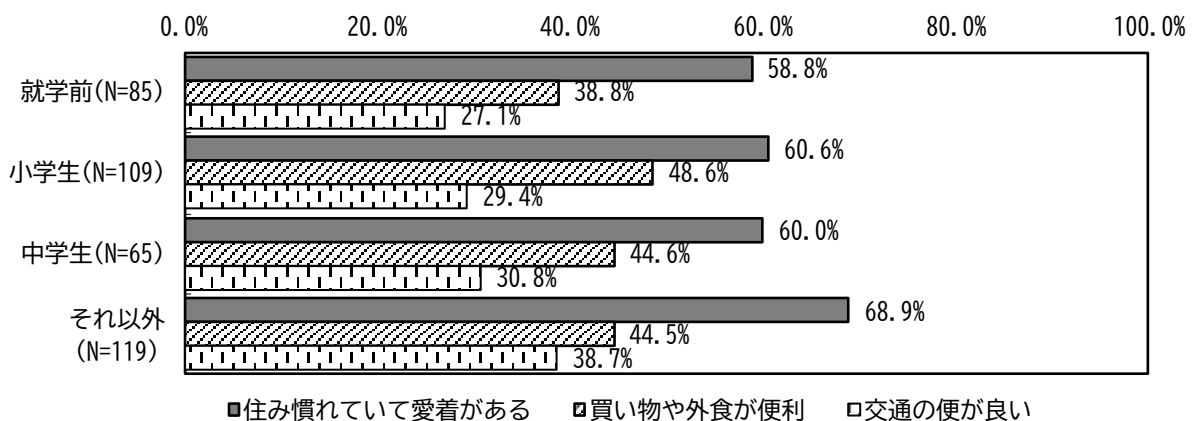
■養育中の子どもの有無別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



② 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「就学前」、「小学生」、「中学生」、「それ以外」の子どもがいる世帯では、それぞれ58.8%～68.9%で、前述（P.30）の全体（72.9%）を下回っています。一方、『買い物や外食が便利』は、「小学生」の子どもがいる世帯（48.6%）が最も高く、次いで「中学生」の子どもがいる世帯（44.6%）となっています。また、『交通の便が良い』は、「それ以外」の子どもがいる世帯（38.7%）が最も高く、次いで「中学生」の子どもがいる世帯（30.8%）となっています。

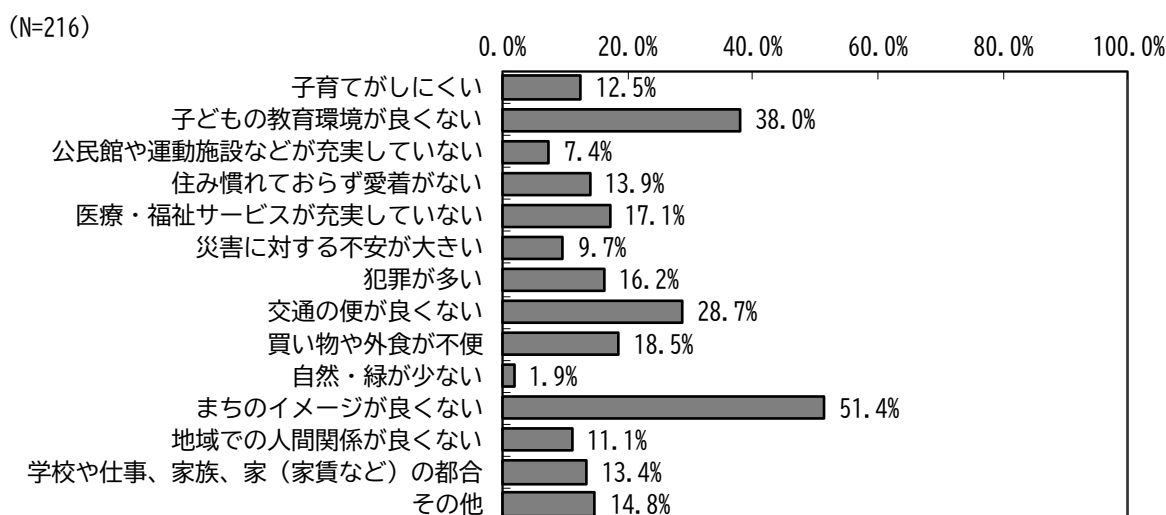
■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



8. 「住み続けたくないと思う理由」の全体の結果

〔問2-2〕の住み続けたくないと思う理由は、「まちのイメージが良くない」(51.4%)が最も高く、次いで「子どもの教育環境が良くない」(38.0%)、「交通の便が良くない」(28.7%)となっています。

■住み続けたくないと思う理由（3つ以内で複数回答）

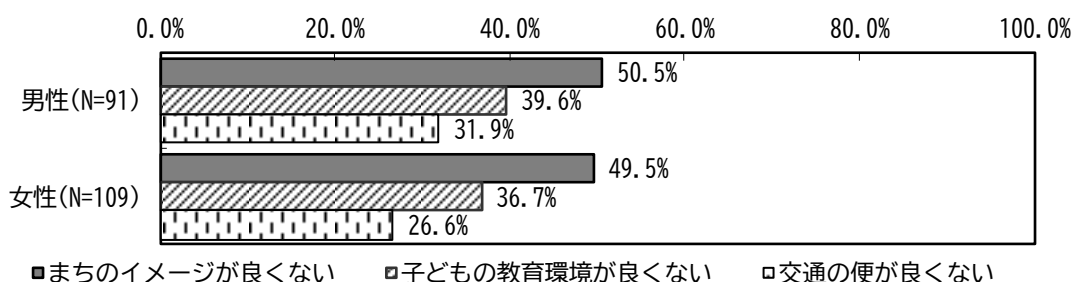


9. 「住み続けたくないと思う理由（上位3項目）」の属性分析

（1）性別

性別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「男性」が50.5%で、「女性」の49.5%より1.0ポイント上回っています。一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「男性」が39.6%で、「女性」の36.7%より2.9ポイント上回っています。また、『交通の便が良くない』は、「男性」が31.9%で、「女性」の26.6%より5.3ポイント上回っています。

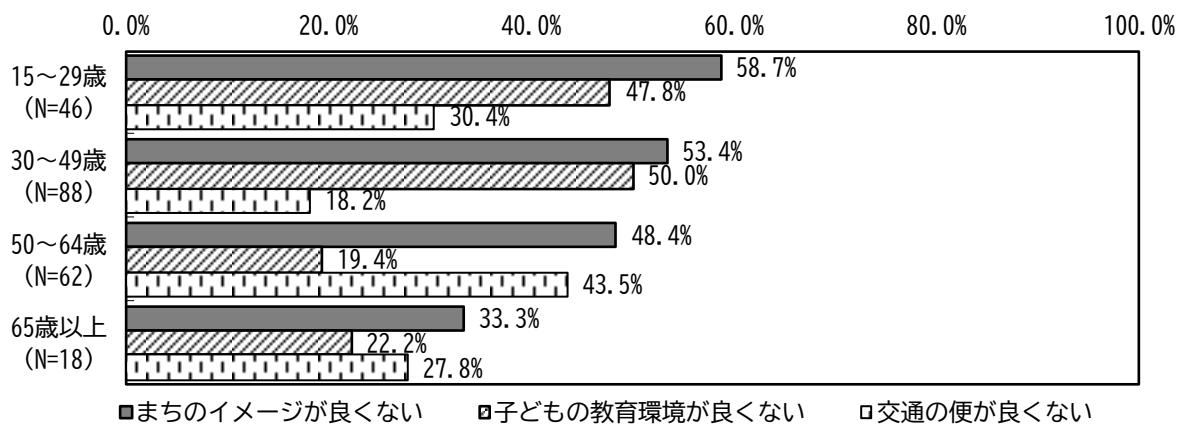
■性別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



(2) 年齢別

年齢別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「15～29 歳」(58.7%) が最も高く、次いで「30～49 歳」(53.4%) となっています。一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「30～49 歳」(50.0%) が最も高く、次いで「15～29 歳」(47.8%) となっています。また、『交通の便が良くない』は、「50～64 歳」(43.5%) が最も高く、次いで「15～29 歳」(30.4%) となっています。

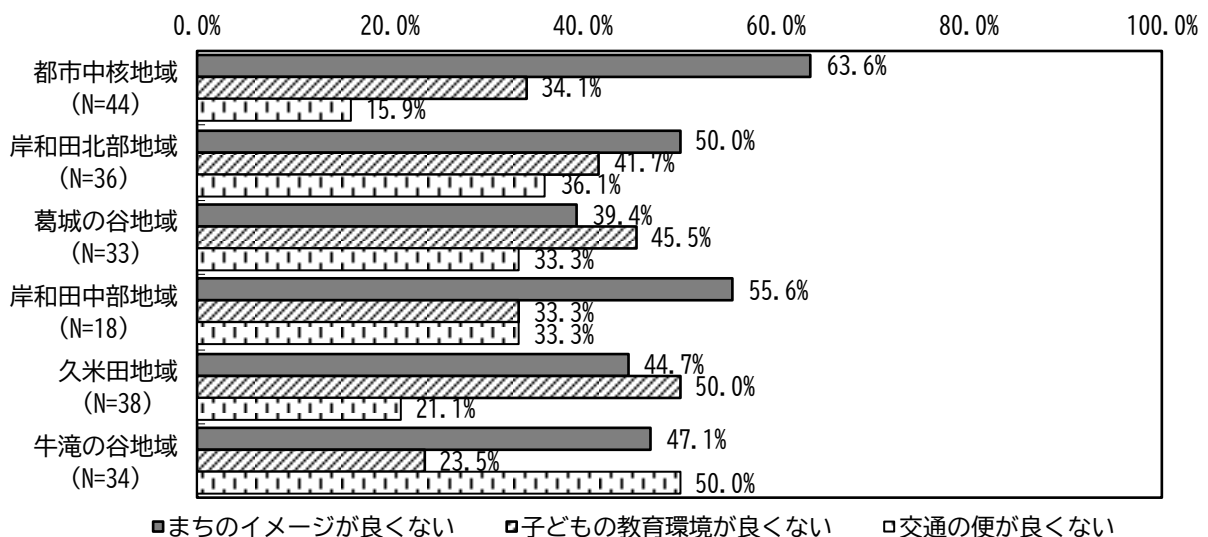
■年齢別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



(3) 居住地域別

居住地域別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「都市中核地域」(63.6%) が最も高く、次いで「岸和田中部地域」(55.6%) となっています。一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「久米田地域」(50.0%) が最も高く、次いで「葛城の谷地域」(45.5%) となっています。また、『交通の便が良くない』は、「牛滝の谷地域」(50.0%) が最も高く、次いで「岸和田北部地域」(36.1%) となっています。

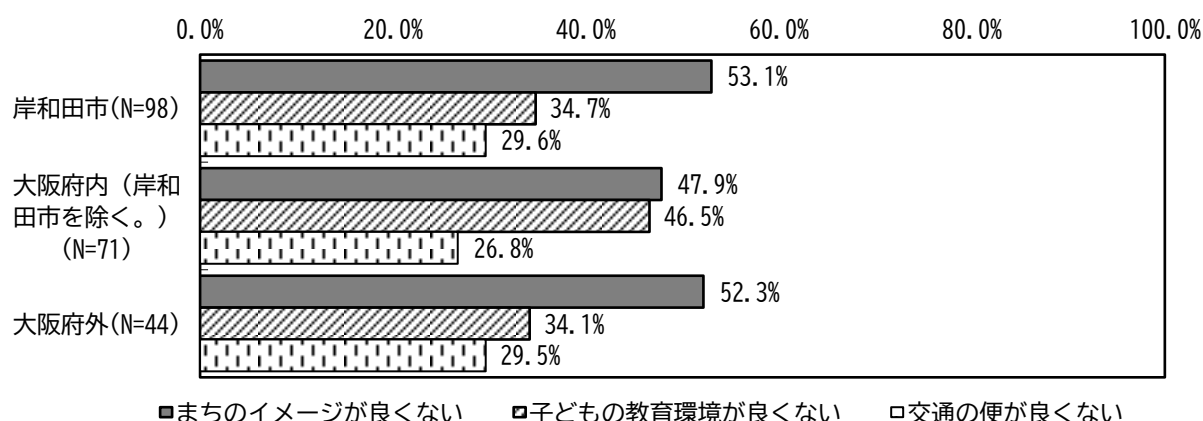
■居住地域別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



(4) 出生地別

出生地別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「岸和田市」(53.1%)が最も高く、次いで「大阪府外」(52.3%)となっています。一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(46.5%)が最も高く、次いで「岸和田市」(34.7%)となっています。また、『交通の便が良くない』は、「岸和田市」(29.6%)が最も高く、次いで「大阪府外」(29.5%)となっています。

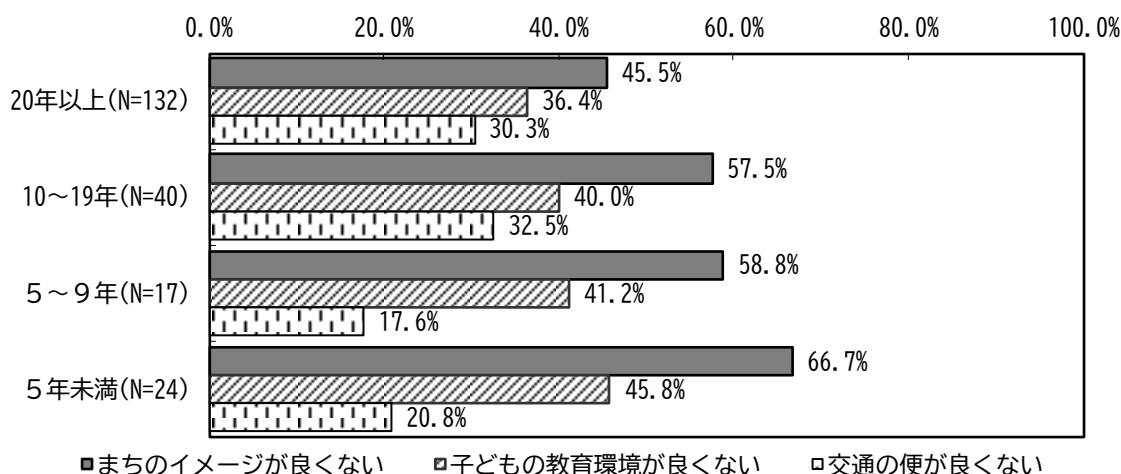
■出生地別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



(5) 居住年数別

居住年数別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「5年未満」(66.7%)が最も高く、次いで「5～9年」(58.8%)となっています。一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「5年未満」(45.8%)が最も高く、次いで「5～9年」(41.2%)となっています。また、『交通の便が良くない』は、「10～19年」(32.5%)が最も高く、次いで「20年以上」(30.3%)となっています。

■居住年数別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）

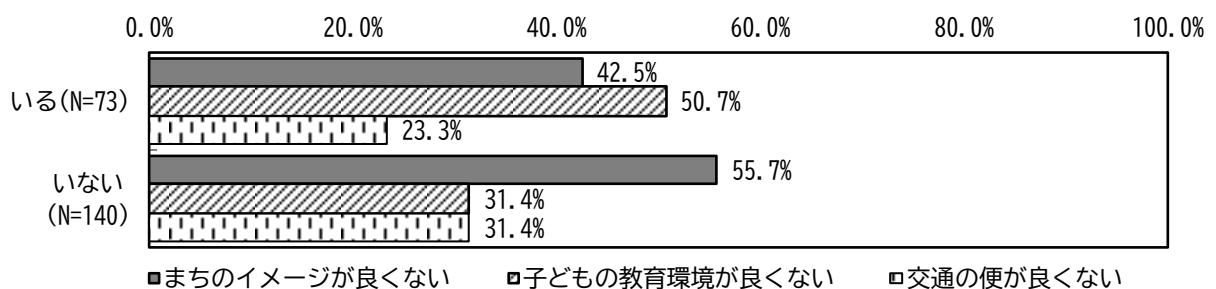


(6) 養育中の子どもの有無別、および、養育中の子どもの内訳別

① 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「養育中の子どもがいる」世帯が42.5%で、「養育中の子どもがいない」世帯の55.7%より13.2ポイント下回っています。一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「養育中の子どもがいる」世帯が50.7%で、「養育中の子どもがいない」世帯の31.4%より19.3ポイント上回っています。また、『交通の便が良くない』は、「養育中の子どもがいる」世帯が23.3%で、「養育中の子どもがいない」世帯の31.4%より8.1ポイント下回っています。

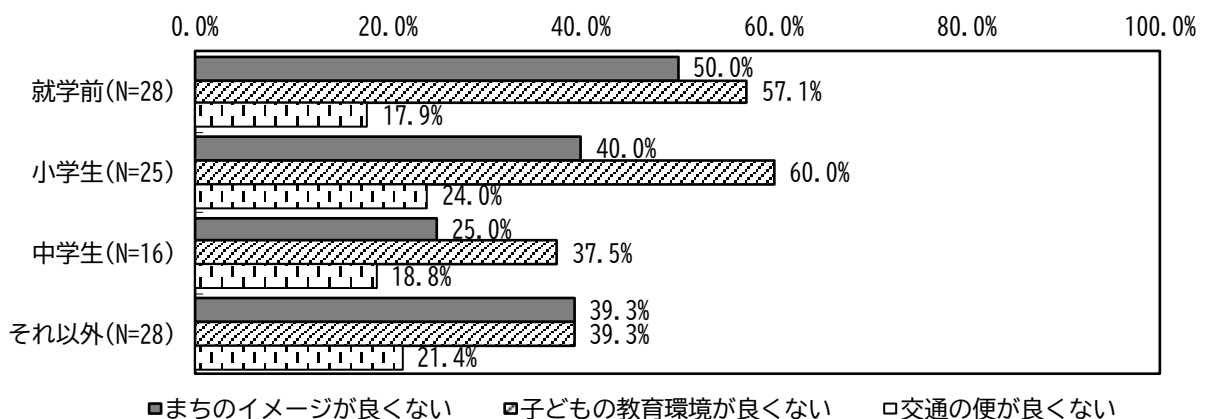
■養育中の子どもの有無別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



② 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「就学前」、「小学生」、「中学生」、「それ以外」の子どもがいる世帯では、それぞれ25.0%～50.0%で、前述(P. 34)の全体(51.4%)を下回っています。一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「小学生」の子どもがいる世帯(60.0%)が最も高く、次いで「就学前」の子どもがいる世帯(57.1%)となっています。また、『交通の便が良くない』は、「小学生」の子どもがいる世帯(24.0%)が最も高く、次いで「それ以外」の子どもがいる世帯(21.4%)となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



10. 「住み続けたい」と全体の調査結果との相関関係

〔問2〕の「住み続けたい」の意識調査の結果と、全体の調査結果との相関関係から、市民ニーズと実施すべき施策の傾向を分析しました。

■ 「住み続けたい」と全体の調査結果との相関関係（上位 20 項目）

順位	設問番号	設問内容	相関係数
1	問 1	岸和田市の住みやすさ	0.608157144
2	問 3	岸和田市への誇り	0.442900659
3	問 34	居住年数	0.164322536
4	問 23	地区市民協議会の活動の有無	0.160321218
5	問 33	出生地	0.145351643
6	問 15	地元の商店や商店街で頻繁に買い物をする	0.139821467
7	問 37	65 歳以上の高齢者との同居の有無	0.134231375
8	問 10	この 1 年間にごみ拾いや美化活動の参加の有無	0.123588189
9	問 9	町会・自治会に参加したことがあるか	0.111911164
10	問 13	かかりつけ医をもっているか	0.096819226
11	問 16	地元産の食品を優先して買っているか	0.094288644
12	問 17	自由に使える余暇時間を確保できているか	0.092971730
13	問 28	性別	0.068251479
14	問 19	災害の際の緊急避難場所がどこか知っているか	0.060607012
15	問 8	この 1 年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがあるか	0.055135619
16	問 14	この 1 年間に健康診断などを受けたか	0.028076801
17	問 6	この 1 年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会があったか	0.020920539
18	問 30	小学校区	0.018801198
19	問 22	規則正しい食生活を心がけているか	0.008252978
20	問 38	長期的な病気や障害を抱えているか	0.008251254

(1)「住み続けたい」と相関の強い上位2項目

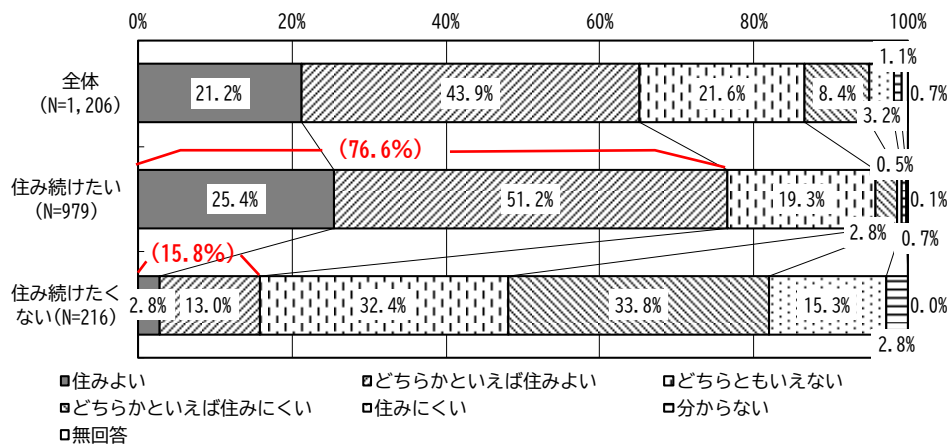
「居住継続意向」を縦軸にとって調査結果を示します。

『住み続けたい』は「いつまでも住み続けたい」と「当分住み続けたい」を、『住み続けたくない』は「できれば他市町村へ移転したい」と「すぐにでも他市町村へ移転したい」を、それぞれあわせた結果となっています。

① 「住み続けたい」と「岸和田市の住みやすさ」との相関

居住継続意向と「岸和田市の住みやすさ」との相関をみると、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」をあわせた『住みよい』の割合は、『住み続けたい』と回答した市民では76.6%で、『住み続けたくない』と回答した市民の15.8%より60.8ポイント上回っています。

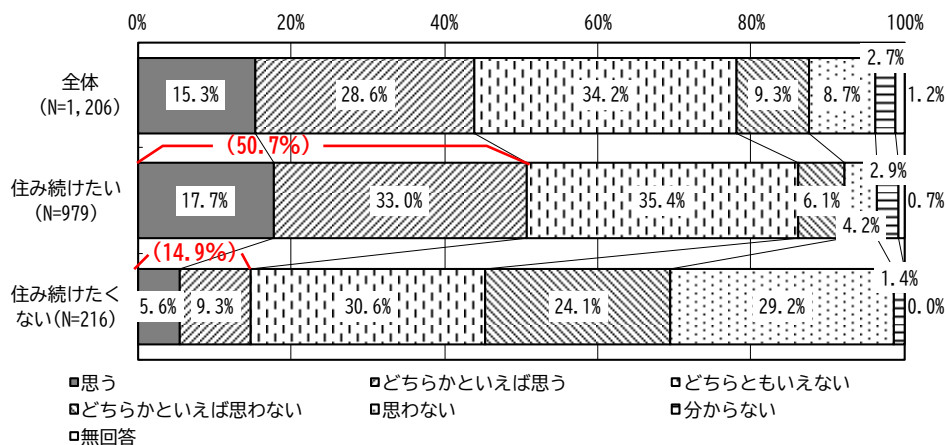
■「住み続けたい」と「岸和田市の住みやすさ」との相関
(住みやすさの割合を以下に示しています)



② 「住み続けたい」と「岸和田市への誇り」との相関

居住継続意向と「岸和田市への誇り」との相関をみると、「思う」と「どちらかといえば思う」をあわせた『誇りに思う』の割合は、『住み続けたい』と回答した市民では50.7%で、『住み続けたくない』と回答した市民の14.9%より35.8ポイント上回っています。

■「住み続けたい」と「岸和田市への誇り」との相関
(岸和田市への誇りの割合を以下に示しています)



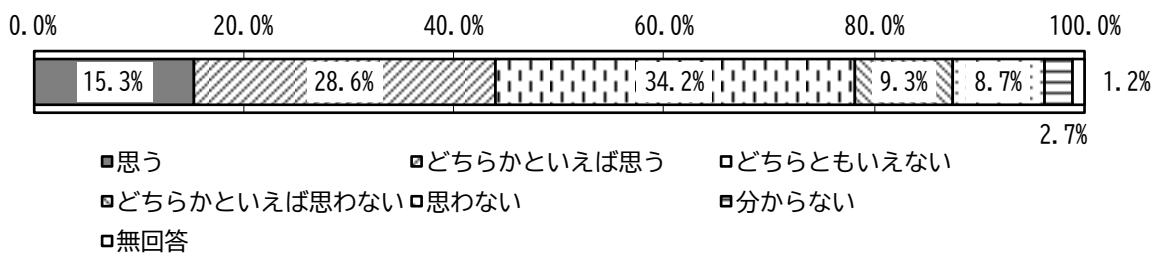
11. 「岸和田市への誇り」の全体の結果

〔問3〕の『岸和田のまちを誇りに思う』かどうかの調査の結果、「そう思う」(15.3%)と「どちらかといえば思う」(28.6%)をあわせた『誇りに思う』は、43.9%となっており、約4割の方が岸和田を誇りに思っていることがわかります。

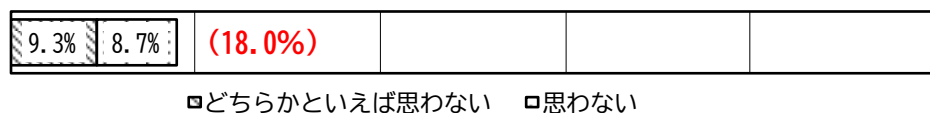
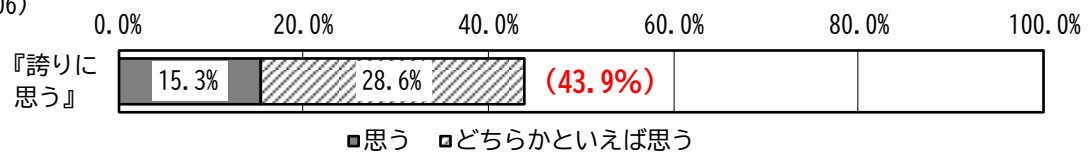
一方、「どちらかといえば思わない」(9.3%)と「思わない」(8.7%)をあわせた『誇りに思わない』は、18.0%となっています。

■岸和田のまちを誇りに思う

(N=1,206)



(N=1,206)



第4 施策指標調査結果

第4 施策指標調査結果

1. 施策指標

施策の達成度を客観的に測定する物差し（指標）の1つとして、その施策の効果を「市民がどう受け止めて（感じて）いるのか？」といったことについて調査を実施しました。

今回の調査結果は、総合計画「将来ビジョン・岸和田」における、「みんなでめざそう値」（令和8年時点でめざす数値）の基準値として用います。計画がスタートする令和5年以降は、「みんなでめざそう値」の進捗管理及び達成度合を測るものとして活用します。

2. 施策指標値調査結果

総合計画「将来ビジョン・岸和田」の体系に基づき、基準値である令和4年の結果及び、現在値である今回調査（令和5年）の結果を記載しています。（単位：%）

また、表最右列において、現在値と基準値を比較し、現在値（令和5年）が基準値（令和4年）より高くなっている場合は「○」で、低くなっている場合は「×」で示しています。

（＊）現在値（令和5年）が「みんなでめざそう値」を達成している場合は「網掛け」で示しています。

（1）基本目標「岸和田の次世代を育むまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	みんなでめ ざそう値	現在値 (R5＊)	基準値 比較
個別目標 安心して子どもを生み、育てられている						
	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	岸和田は子どもを生み育てやすいと感じている市民の割合	27.8	31.0	24.0	×
個別目標 働きながら子育てができている						
	—	—	—	—	—	—
個別目標 子どもの健康と安全が保たれている						
	—	—	—	—	—	—
個別目標 子どもの個性や能力が豊かに育まれている						
	—	—	—	—	—	—
個別目標 生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている						
	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	この1年間に自分の経験や特技を何らかの形で地域に活かしたことがある市民の割合	10.5	13.0	13.8	○
	スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める	スポーツ・運動を定期的（週1回以上）にしている市民の割合	44.7	60.9	45.2	○
	芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	この1年間に芸術・文化活動（コンサートや演劇などの観賞を含む）を行ったことがある市民の割合	27.2	30.0	33.6	○

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	みんなでめ ざそう値	現在値 (R5*)	基準値 比較
個別目標 誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている						
	市内事業所の労働環境の向上を進める	労働環境に満足していると感じている市民の割合（市内従事者）	34.6	39.0	35.1	○
	障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	長期的な病気や障害を抱えている人のうち、生きがいを感じることがある市民の割合	42.7	47.0	50.6	○
	高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める	生きがいを感じることがある 65 歳以上の市民の割合	50.0	54.0	56.0	○
個別目標 郷土の歴史や文化が引き継がれている						
	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会があった市民の割合	22.7	25.0	31.2	○

(2) 基本目標「健康で自分らしく生きられるまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	みんなでめ ざそう値	現在値 (R5*)	基準値 比較
個別目標 健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している						
	—	—	—	—	—	—
個別目標 医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている						
	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	かかりつけ医を持っている市民の割合	67.5	70.0	67.6	○
個別目標 平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている						
	平和への意識向上を進める	平和は大切だと感じている市民の割合	95.6	97.0	97.3	○
個別目標 地域で支えあい、助けあえる関係が築けている						
	常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める	困ったときに近くに相談できる人や場所がある市民の割合	35.0	38.0	37.3	○
個別目標 介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心できている						
	—	—	—	—	—	—

(3) 基本目標「安全で安心して暮らせるまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	みんなでめ ざそう値	現在値 (R5*)	基準値 比較
個別目標 事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている						
	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める	この1年間に何らかの消費者トラブルにあった市民の割合	4.1	3.0	3.6	○
個別目標 災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている						
	発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくりを進める	災害の際に非常持ち出し品や食糧などを準備している市民の割合	40.4	43.0	41.2	○

(4) 基本目標「人と自然が共生した住みよいまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	みんなでめ ざそう値	現在値 (R5*)	基準値 比較
個別目標 良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている						
	まちの美化を進める	この1年間にゴミ拾いや美化活動を行ったことがある市民の割合	29.7	33.0	32.4	○
個別目標 人が緑と触れあっている						
	—	—	—	—	—	—
個別目標 環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつくられている						
	ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める	ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいる市民の割合	75.4	78.0	77.4	○
	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	省エネルギーや再生可能エネルギーを活用している市民の割合	21.8	25.0	24.1	○

(5) 基本目標「にぎわいと活力を創造するまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	みんなでめ ざそう値	現在値 (R5*)	基準値 比較
個別目標 活発な経済活動が行われている						
	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	地元産の食品を優先的に買う市民の割合	37.9	41.0	38.9	○
個別目標 観光資源が活かされている						
	—	—	—	—	—	—
個別目標 岸和田の魅力が伝わっている						
	—	—	—	—	—	—
個別目標 にぎわいや活力を支える基盤が整っている						
	拠点とのアクセス性の向上を図る	市内をスムーズに移動できると感じている市民の割合	36.1	39.0	37.4	○
	適正な土地利用と景観形成を進める	景観がよく保全されていると感じている市民の割合	18.5	21.0	24.3	○

(6) 基本目標「みんなでつくる持続可能なまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (R4)	みんなでめ ざそう値	現在値 (R5*)	基準値 比較
個別目標 みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている						
	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがある市民の割合	19.7	22.0	23.5	○
個別目標 持続可能で信頼される行政になっている						
	—	—	—	—	—	—

第5 重要度×満足度調査結果

第5 重要度×満足度調査結果

1. 「重要度」の全体の結果

〔問 27〕では、58 項目のうち、今の岸和田のまちづくりにとって特に重要だと思うものを5つまで選んでももらいました。

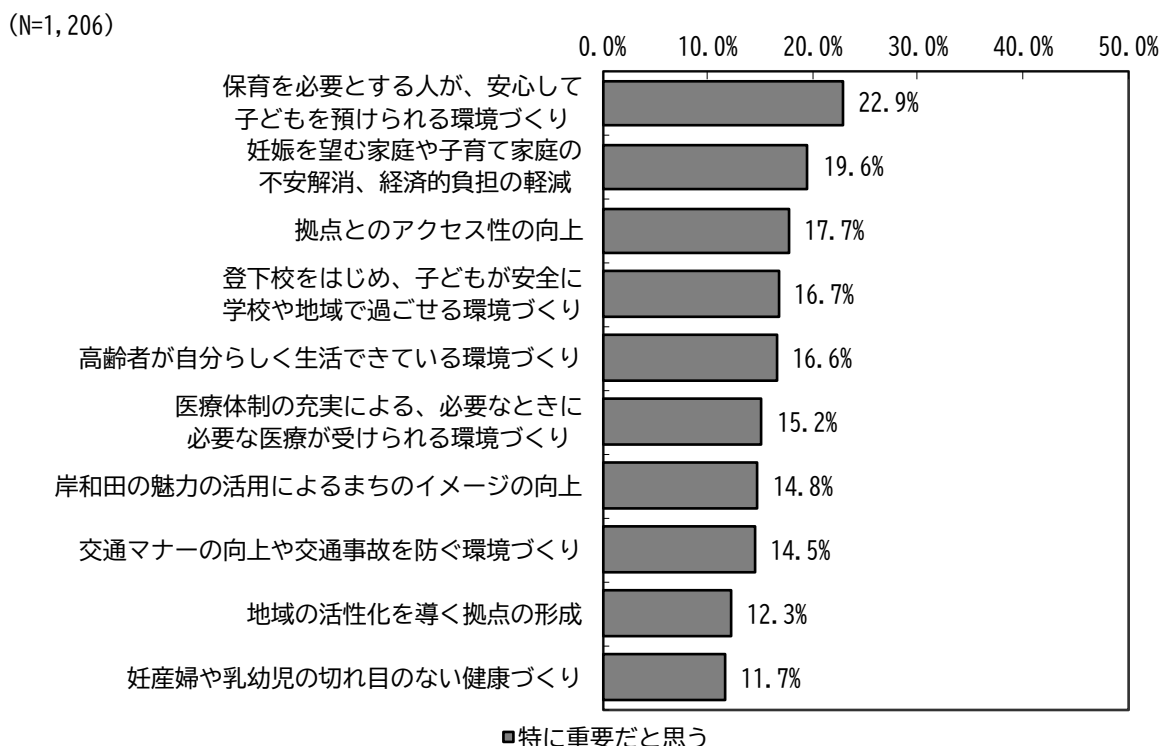
図示している数値は、重要だと思われた人の数を全回答者数（1,206）で割ったものです（例：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」を重要と回答した人の数／全回答者数＝276／1,206×100＝22.9％）。

下記グラフのとおり、最も重要度の高い項目は、「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」（22.9％）であり、次いで「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」（19.6％）、「拠点とのアクセス性の向上」（17.7％）、「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり」（16.7％）、「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」（16.6％）となっています。

なお、重要度の測定について、調査方法に一部変更がありました。

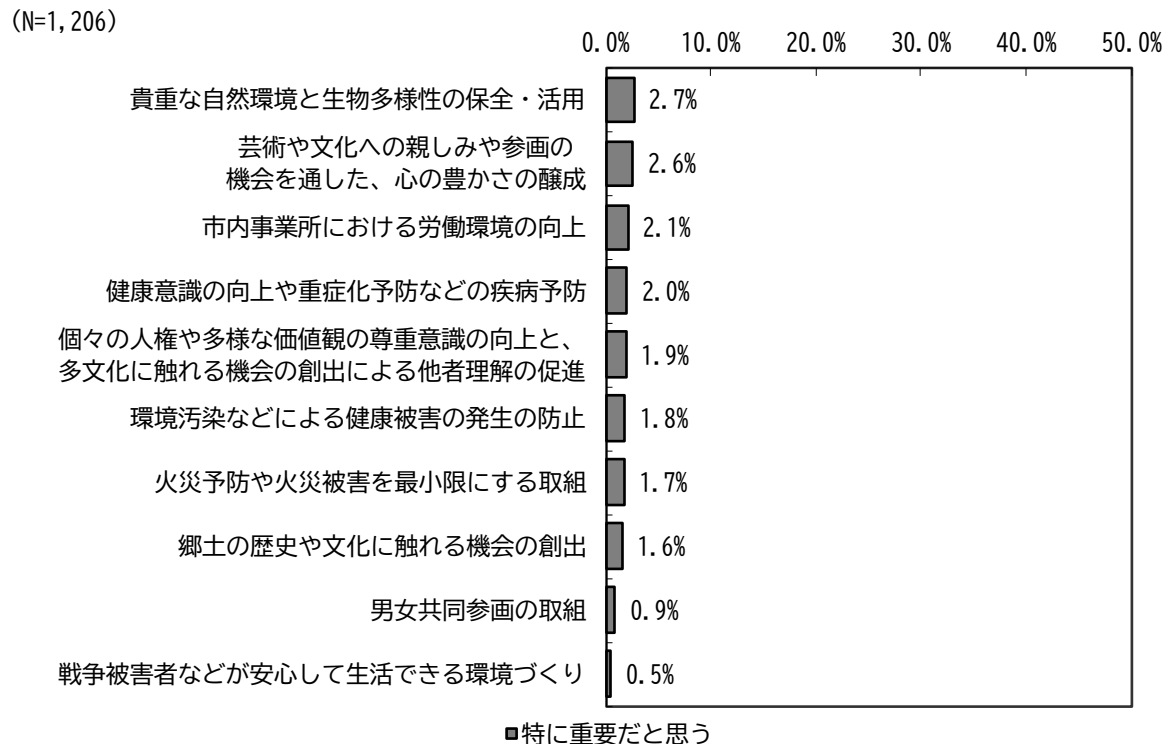
令和4年においては、全58項目から特に重要だと思うものをすべて選んでもらう形式でしたが、令和5年においては、特に重要だと思うものを5つまで選んでもらう形式に変わっております。

■「重要度」の全体の結果（上位10施策）



一方、下記グラフのとおり、最も重要度の低い項目は、「戦争被害者などが安心して生活できる環境づくり」(0.5%)であり、次いで「男女共同参画の取組」(0.9%)、「郷土の歴史や文化に触れる機会の創出」(1.6%)、「火災予防や火災被害を最小限にする取組」(1.7%)、「環境汚染などによる健康被害の発生の防止」(1.8%)となっています。

■「重要度」の全体の結果（下位 10 施策）



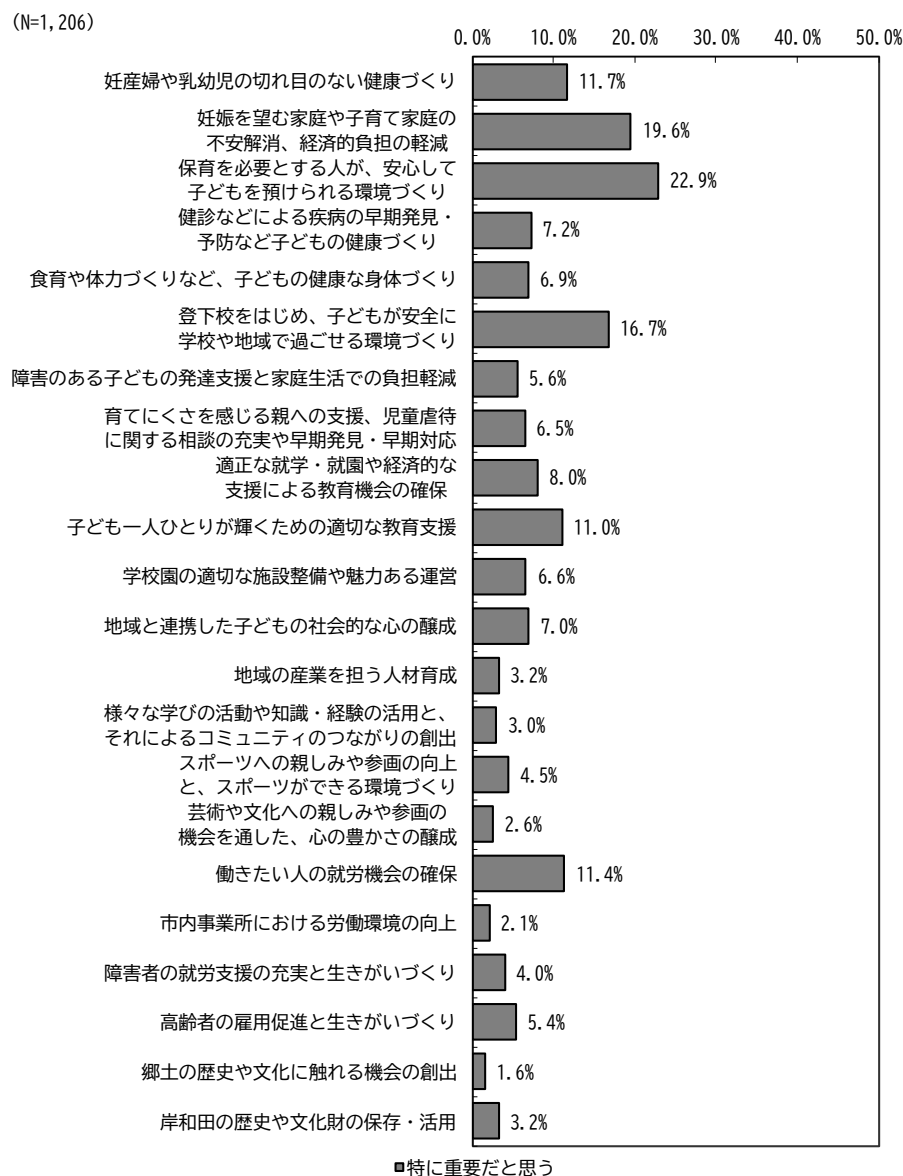
2. 基本目標別の「重要度」の結果

総合計画「将来ビジョン・岸和田」基本構想では、将来象の実現に向けて、6つの基本目標を定めています。6つの基本目標のうち、「みんなでつくる持続可能なまち」を除く基本目標それぞれの個別目標の重要度について調査を実施しました。

① 基本目標『岸和田の次世代を育むまち』の重要度の結果

基本目標『岸和田の次世代を育むまち』の重要度の結果は、「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」(22.9%)が最も高く、次いで「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」(19.6%)、「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり」(16.7%)となっています。

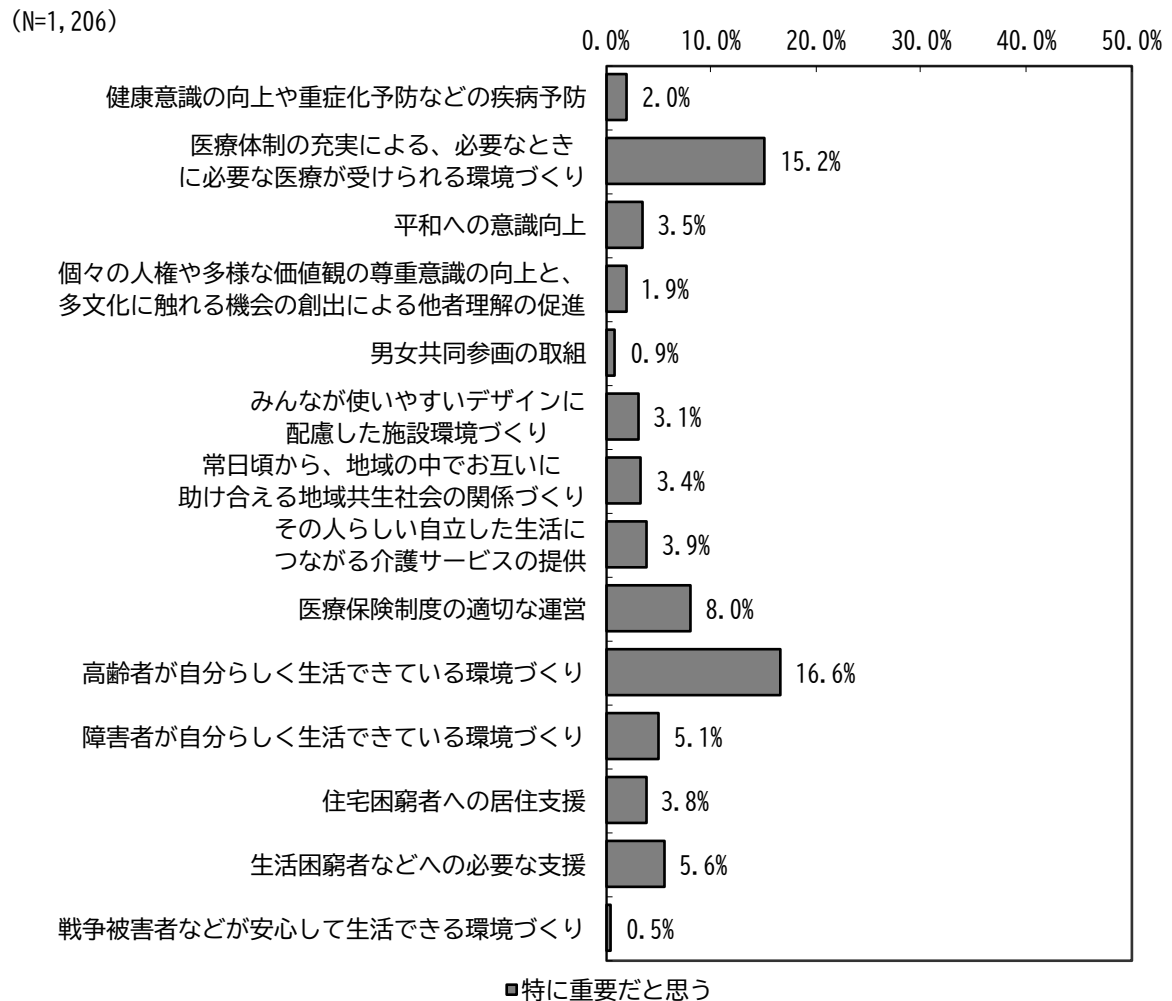
■基本目標『岸和田の次世代を育むまち』の重要度の結果（全58項目中22項目）



② 基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』の重要度の結果

基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』の重要度の結果は、「高齢者が自分らしく生活できている環境づくり」(16.6%)が最も高く、次いで「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」(15.2%)、「医療保険制度の適切な運営」(8.0%)となっています。

■基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』の重要度の結果（全58項目中14項目）

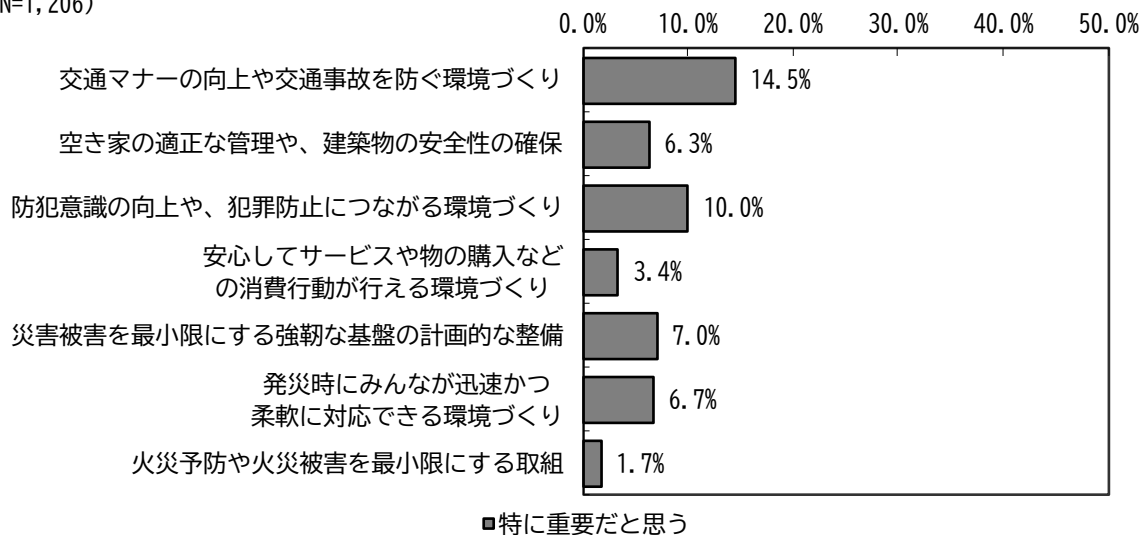


③ 基本目標『安全で安心して暮らせるまち』の重要度の結果

基本目標『安全で安心して暮らせるまち』の重要度の結果は、「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり」(14.5%)が最も高く、次いで「防犯意識の向上や、犯罪防止につながる環境づくり」(10.0%)、「災害被害を最小限にする強靱な基盤の計画的な整備」(7.0%)となっています。

■基本目標『安全で安心して暮らせるまち』の重要度の結果（全 58 項目中 7 項目）

(N=1,206)

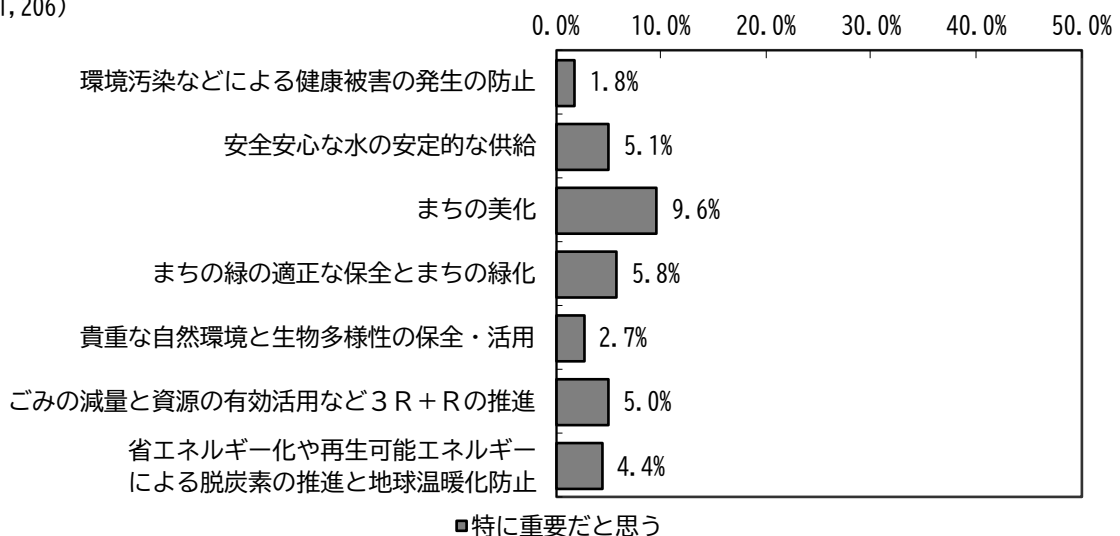


④ 基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』の重要度結果に関する項目

基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』の重要度の結果は、「まちの美化」(9.6%)が最も高く、次いで「まちの緑の適正な保全とまちの緑化」(5.8%)、「ごみの減量と資源の有効活用など 3 R + R の推進」(5.0%)となっています。

■基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』の重要度の結果（全 58 項目中 7 項目）

(N=1,206)

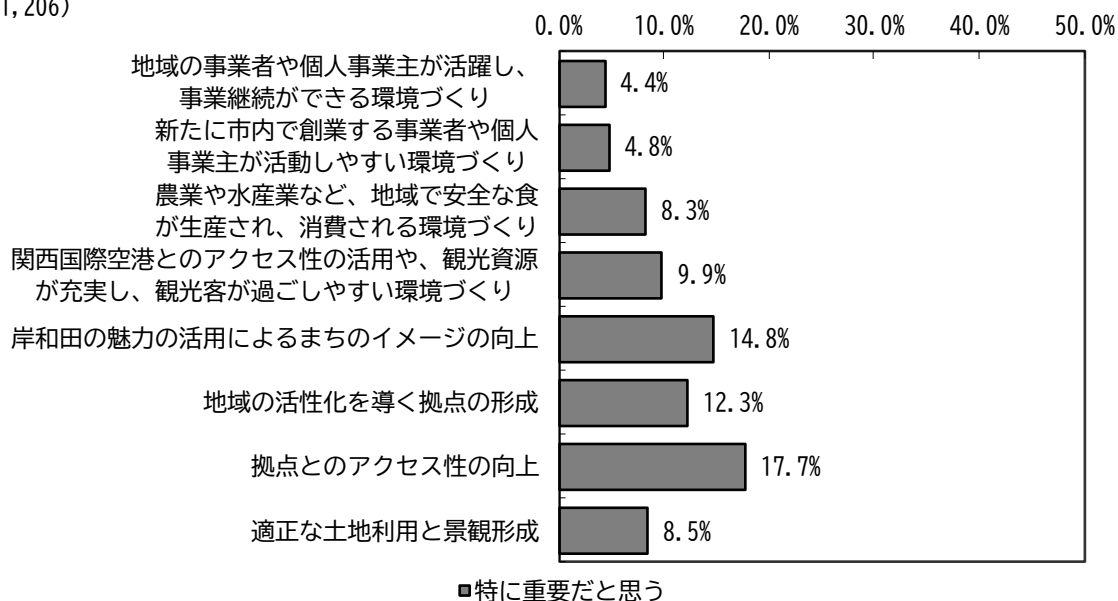


⑤ 基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』の重要度結果に関する項目

基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』の重要度の結果は、「拠点とのアクセス性の向上」(17.7%)が最も高く、次いで「岸和田の魅力の活用によるまちのイメージの向上」(14.8%)、「地域の活性化を導く拠点の形成」(12.3%)となっています。

■基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』の重要度の結果（全 58 項目中8項目）

(N=1,206)



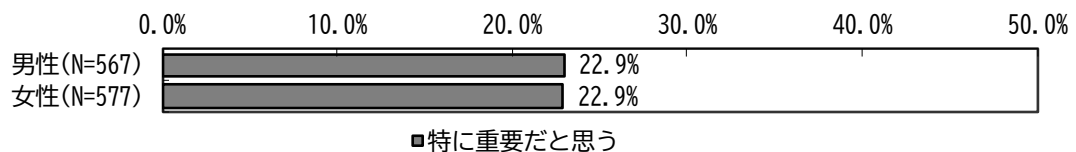
3.重要度（上位5項目）」の属性分析

（1）属性別「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度

① 性別

性別にみると、重要度は、「男性」、「女性」とともに 22.9%となっており、性別での差は見られませんでした。

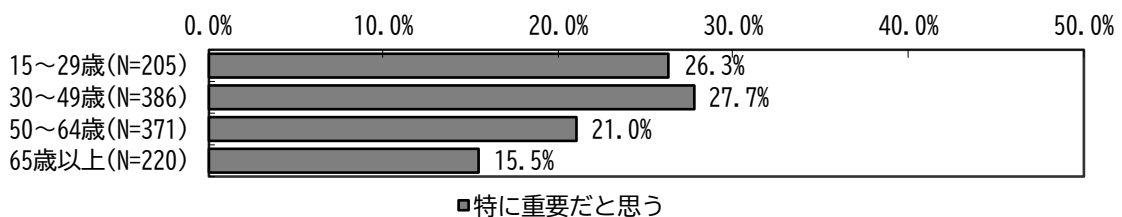
■性別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度



② 年齢別

年齢別にみると、重要度は、「30～49 歳」(27.7%)が最も高く、次いで「15～29 歳」(26.3%)となっています。

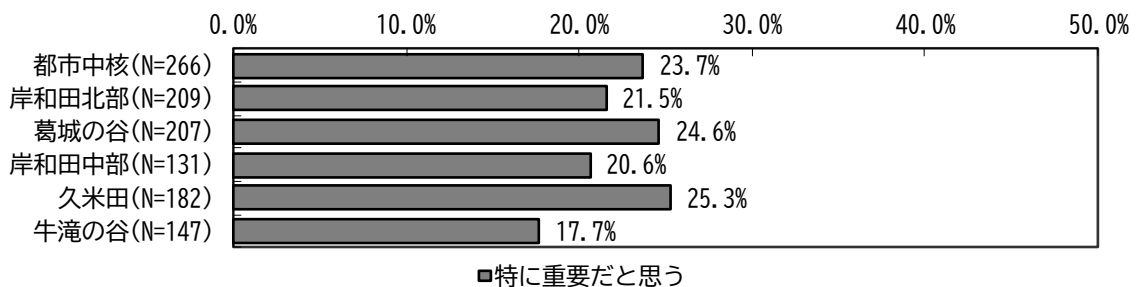
■年齢別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度



③ 居住地域別

居住地域別にみると、重要度は、「久米田地域」(25.3%)が最も高く、次いで「葛城の谷地域」(24.6%)となっています。

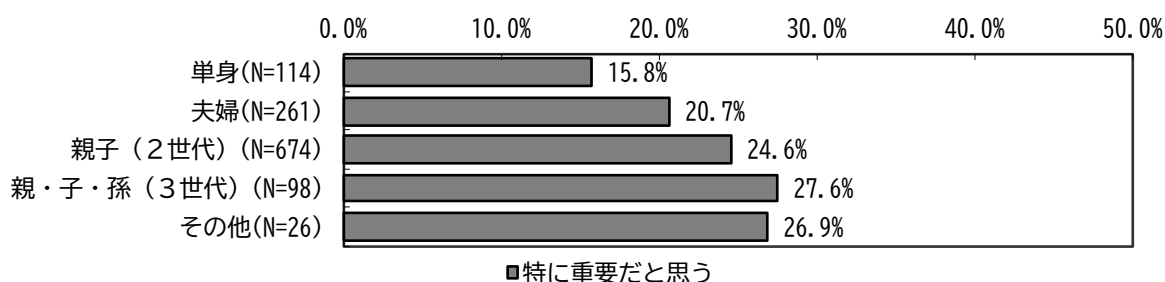
■居住地域別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度



④ 家族構成別

家族構成別にみると、重要度は、「親・子・孫（3世代）」世帯（27.6％）が最も高く、次いで「その他」世帯（26.9％）となっています。

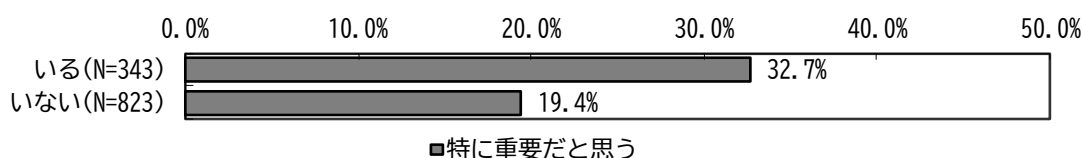
■家族構成別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度



⑤ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、重要度は、「養育中の子どもがいる」世帯が 32.7％で、「養育中の子どもがいない」世帯の 19.4％より 13.3 ポイント上回っています。

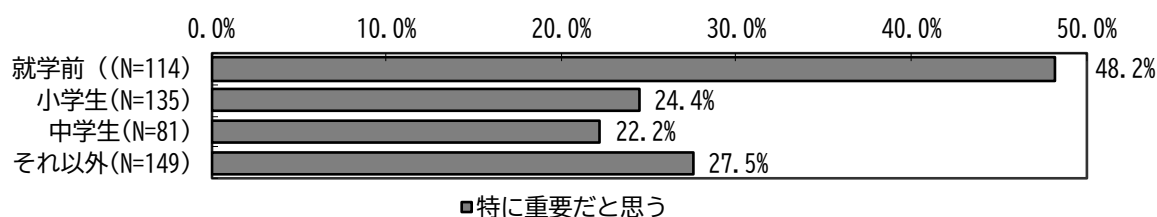
■養育中の子どもの有無別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度



⑥ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、重要度は、「就学前」の子どもがいる世帯（48.2％）が最も高く、次いで「それ以外」の子どもがいる世帯（27.5％）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度

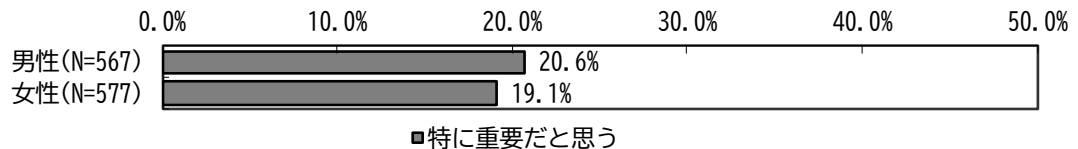


(2) 属性別「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度

① 性別

性別にみると、重要度は、「男性」が20.6%で、「女性」の19.1%より1.5ポイント上回っています。

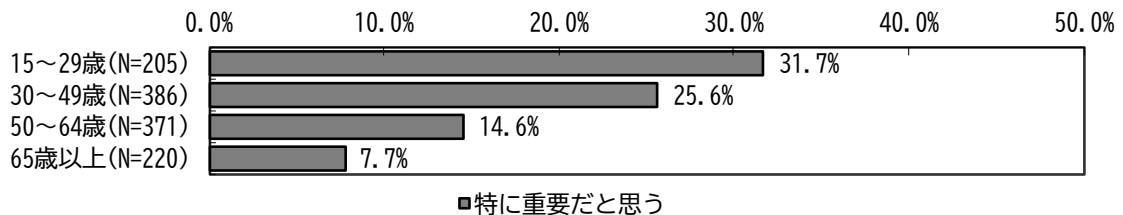
■性別：「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度



② 年齢別

年齢別にみると、重要度は、「15～29歳」(31.7%)が最も高く、次いで「30～49歳」(25.6%)となっています。

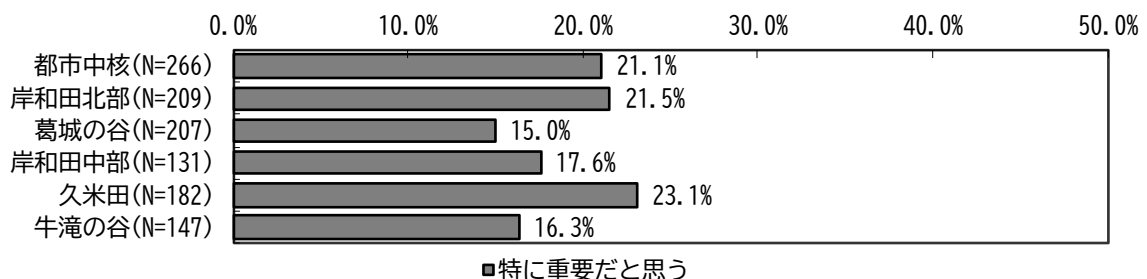
■年齢別：「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度



③ 居住地域別

居住地域別にみると、重要度は、「久米田地域」(23.1%)が最も高く、次いで「岸和田北部地域」(21.5%)となっています。

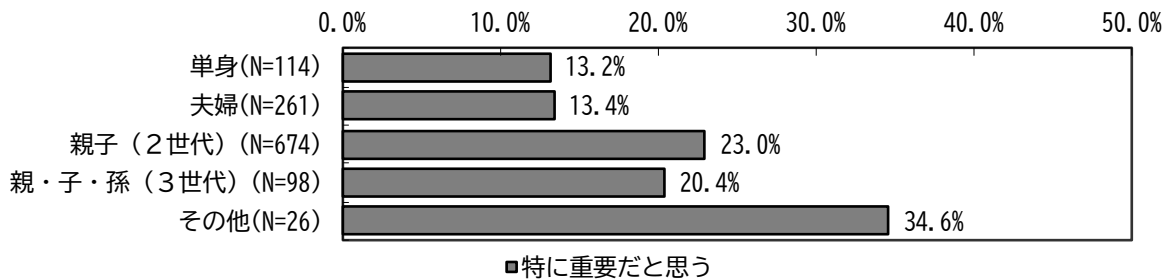
■居住地域別：「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度



④ 家族構成別

家族構成別にみると、重要度は、「その他」世帯（34.6%）が最も高く、次いで「親子（2世代）」世帯（23.0%）となっています。

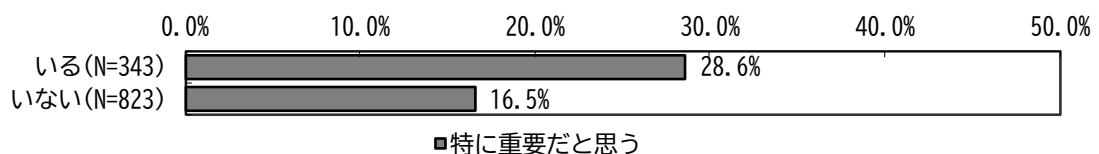
■家族構成別：「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度



⑤ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、重要度は、「養育中の子どもがいる」世帯が28.6%で、「養育中の子どもがいない」世帯の16.5%より12.1ポイント上回っています。

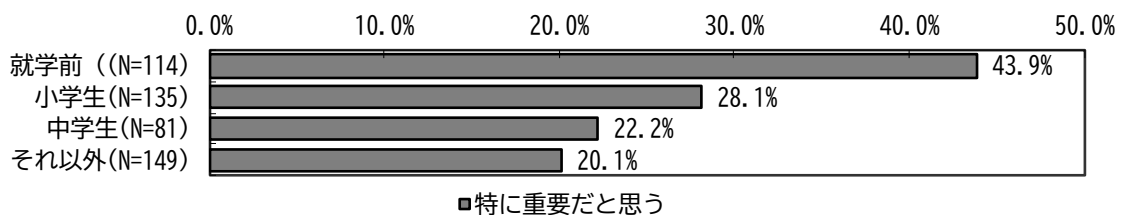
■養育中の子どもの有無別：「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度



⑥ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、重要度は、「就学前」の子どもがいる世帯（43.9%）が最も高く、次いで「小学生」の子どもがいる世帯（28.1%）となっています。

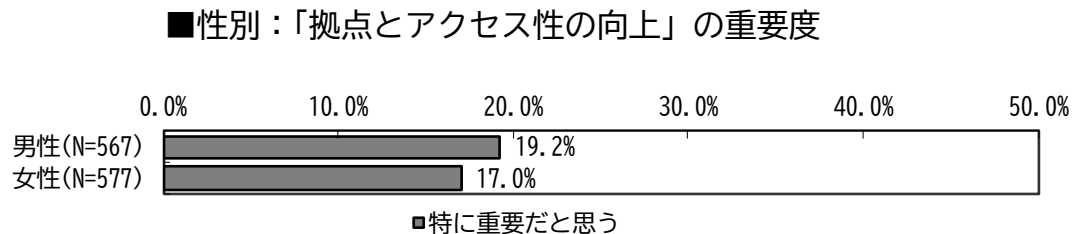
■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度



(3) 属性別「拠点とのアクセス性の向上」の重要度

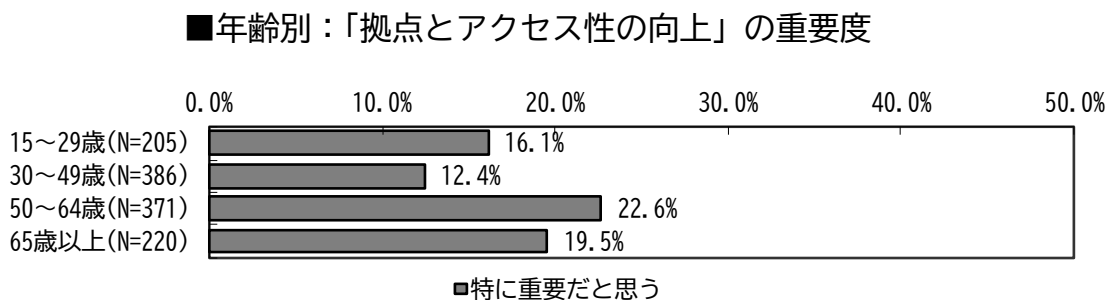
① 性別

性別にみると、重要度は、「男性」が19.2%で、「女性」の17.0%より2.2ポイント上回っています。



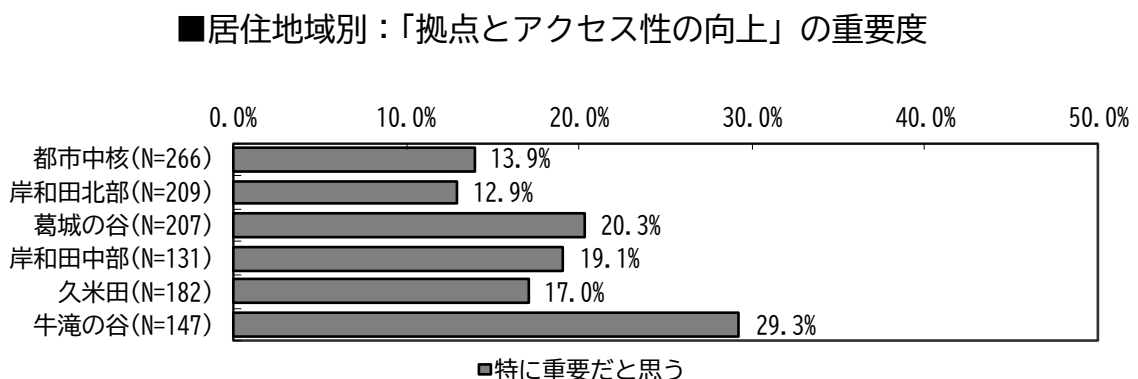
② 年齢別

年齢別にみると、重要度は、「50～64歳」(22.6%)が最も高く、次いで「15～29歳」(16.1%)となっています。



③ 居住地域別

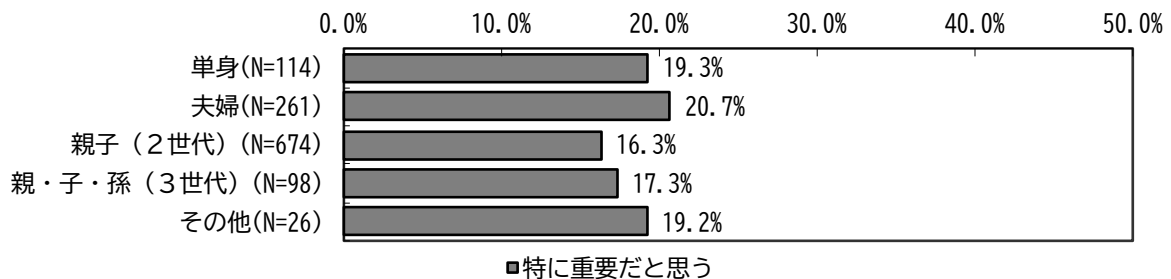
居住地域別にみると、重要度は、「牛滝の谷地域」(29.3%)が最も高く、次いで「葛城の谷地域」(20.3%)となっています。



④ 家族構成別

家族構成別にみると、重要度は、「夫婦」世帯（20.7%）が最も高く、次いで「単身」世帯（19.3%）となっています。

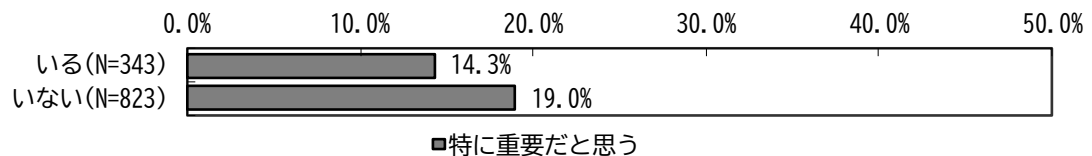
■家族構成別：「拠点とアクセス性の向上」の重要度



⑤ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、重要度は、「養育中の子どもがいる」世帯が14.3%で、「養育中の子どもがいない」世帯の19.0%より4.7ポイント下回っています。

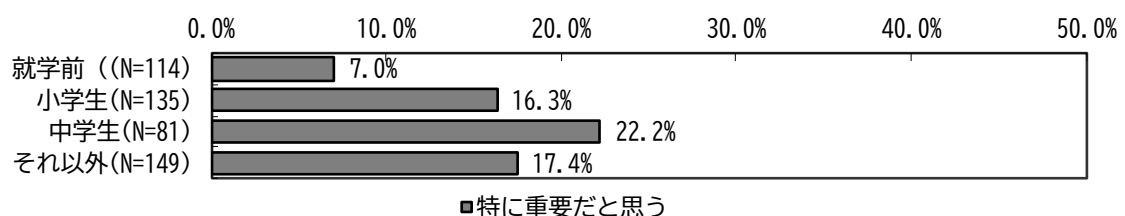
■養育中の子どもの有無別：「拠点とアクセス性の向上」の重要度



⑥ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、重要度は、「中学生」の子どもがいる世帯（22.2%）が最も高く、次いで「それ以外」の子どもがいる世帯（17.4%）となっています。

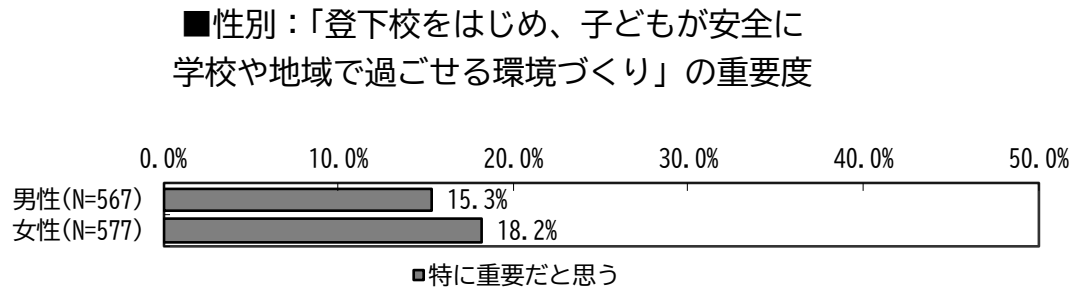
■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：「拠点とアクセス性の向上」の重要度



(4) 属性別「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり」の重要度

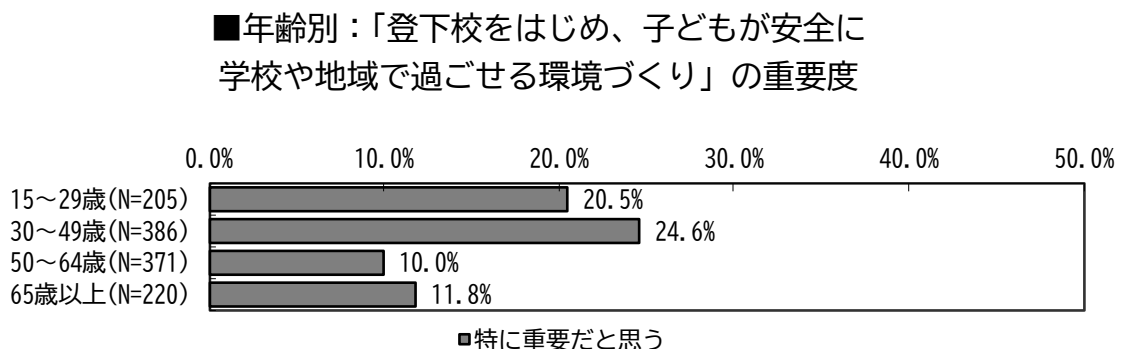
① 性別

性別にみると、重要度は、「男性」が15.3%で、「女性」の18.2%より2.9ポイント下回っています。



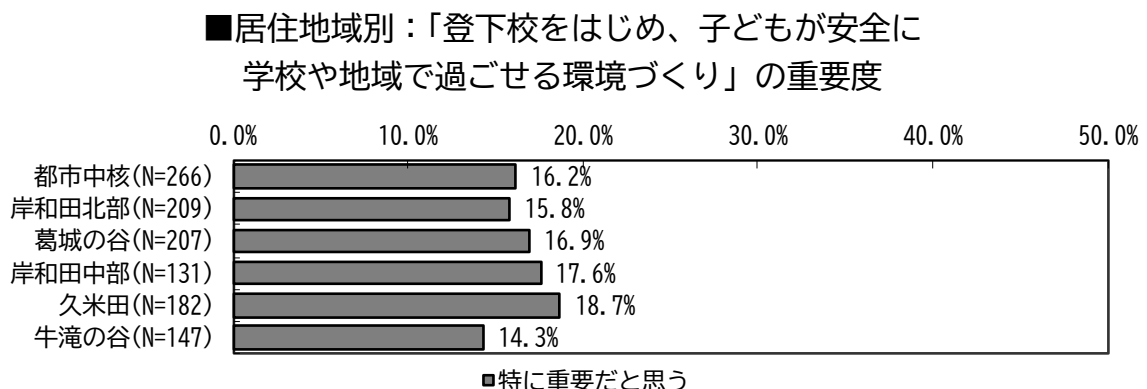
② 年齢別

年齢別にみると、重要度は、「30～49歳」(24.6%)が最も高く、次いで「15～29歳」(20.5%)となっています。



③ 居住地域別

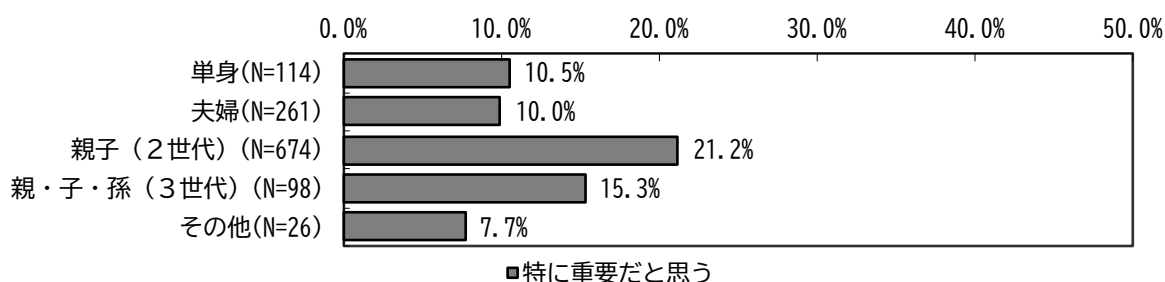
居住地域別にみると、重要度は、「久米田地域」(18.7%)が最も高く、次いで「岸和田中部地域」(17.6%)となっています。



④ 家族構成別

家族構成別にみると、重要度は、「親子（2世代）」世帯（21.2%）が最も高く、次いで「親・子・孫（3世代）」世帯（15.3%）となっています。

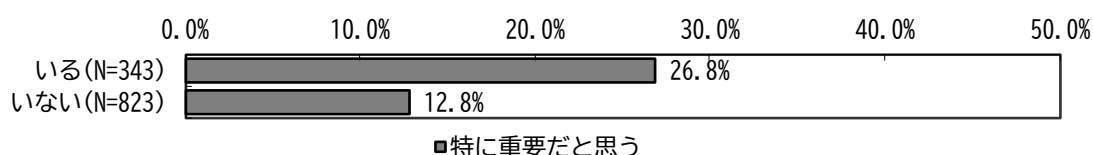
■家族構成別：「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり」の重要度



⑤ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、重要度は、「養育中の子どもがいる」世帯が 26.8% で、「養育中の子どもがいない」世帯の 12.8% より 14.0 ポイント上回っています。

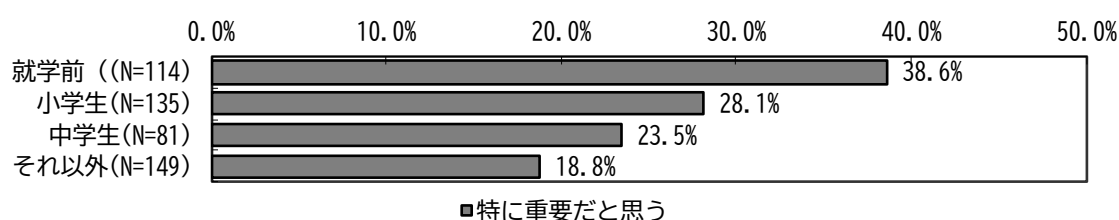
■養育中の子どもの有無別：「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり」の重要度



⑥ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、重要度は、「就学前」の子どもがいる世帯（38.6%）が最も高く、次いで「小学生」の子どもがいる世帯（28.1%）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり」の重要度

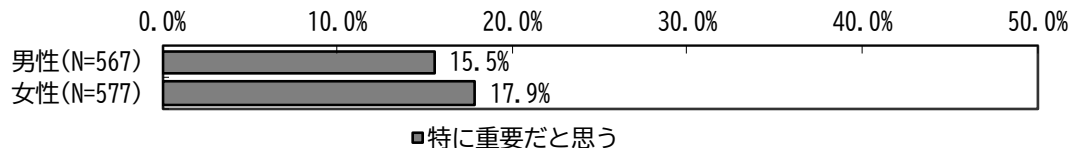


(5) 属性別「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度

① 性別

性別にみると、重要度は、「男性」が15.5%で、「女性」の17.9%より2.4ポイント下回っています。

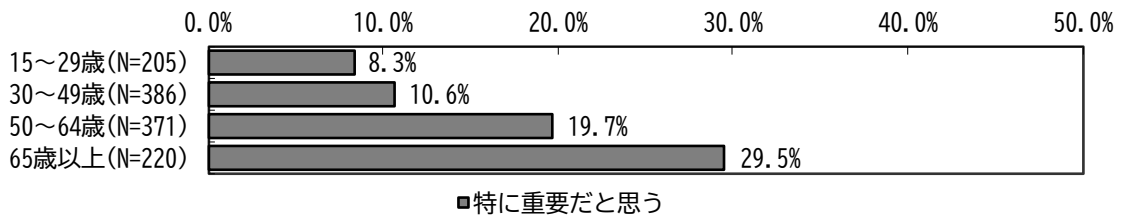
■性別：「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度



② 年齢別

年齢別にみると、重要度は、「65歳以上」(29.5%)が最も高く、次いで「50～64歳」(19.7%)となっています。

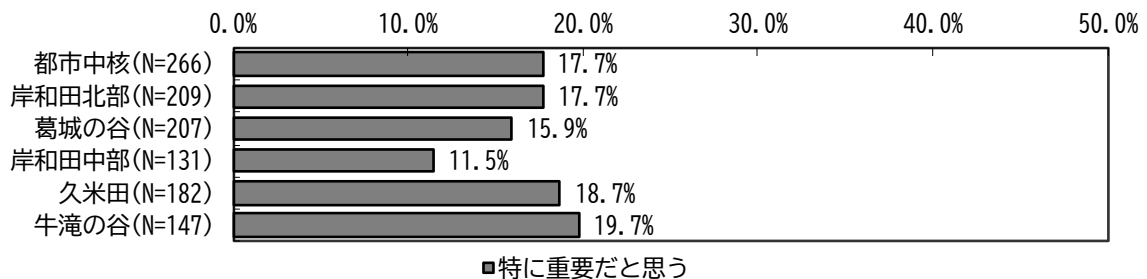
■年齢別：「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度



③ 居住地域別

居住地域別にみると、重要度は、「牛滝の谷地域」(19.7%)が最も高く、次いで「久米田地域」(18.7%)となっています。

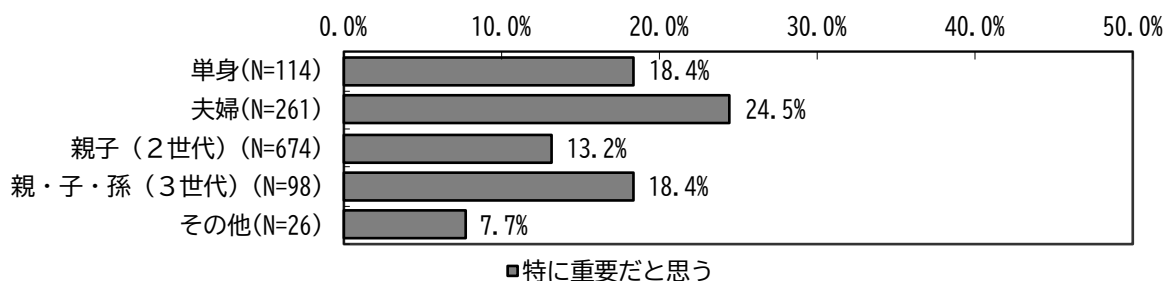
■居住地域別：「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度



④ 家族構成別

家族構成別にみると、重要度は、「夫婦」世帯（24.5%）が最も高く、次いで「単身」世帯、「親・子・孫（3世代）」世帯ともに18.4%となっています。

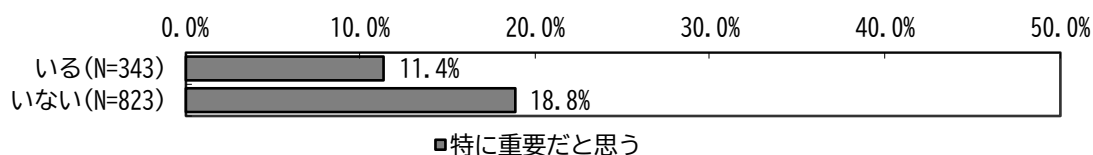
■家族構成別：「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度



⑤ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、重要度は、「養育中の子どもがいる」世帯が11.4%で、「養育中の子どもがいない」世帯の18.8%より7.4ポイント下回っています。

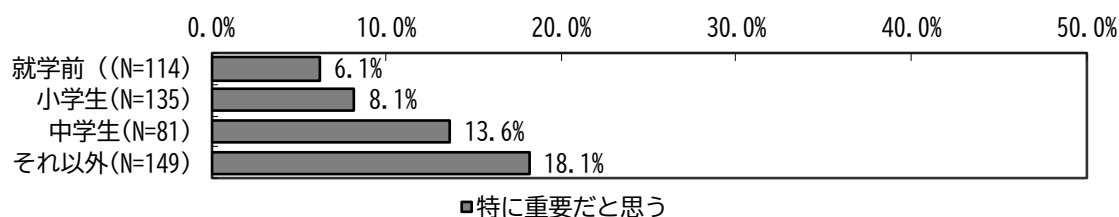
■養育中の子どもの有無別：「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度



⑥ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、重要度は、「それ以外」の子どもがいる世帯（18.1%）が最も高く、次いで「中学生」の子どもがいる世帯（13.6%）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度



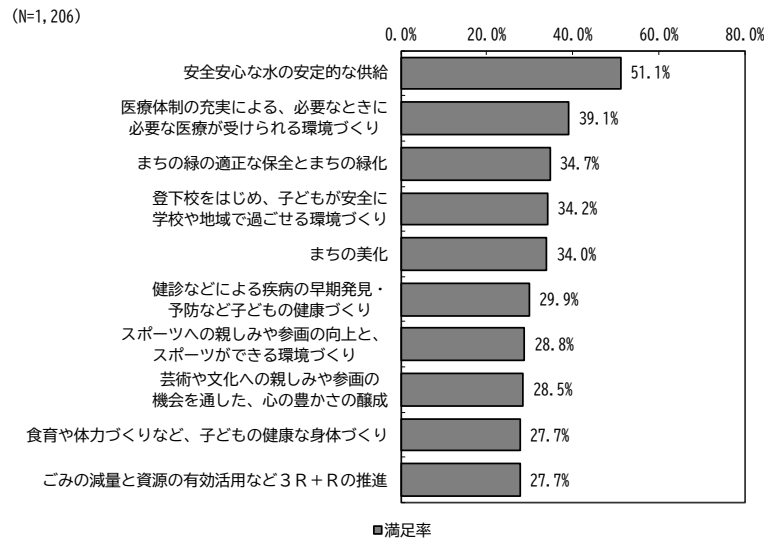
4. 「満足度」の全体の結果

(1) 満足率

〔問 26〕の満足度調査で、「満足」、「まあ満足」と回答した人の割合（以下『満足率』という。）は下記のグラフのとおりです。

58 項目のうち、1 位は「安全安心な水の安定的な供給」(51.1%)で、他の施策を引き離して高い数値となっています。次いで「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」(39.1%)、「まちの緑の適正な保全とまちの緑化」(34.7%)となっています。

■「満足率」の全体の結果（上位 10 施策）

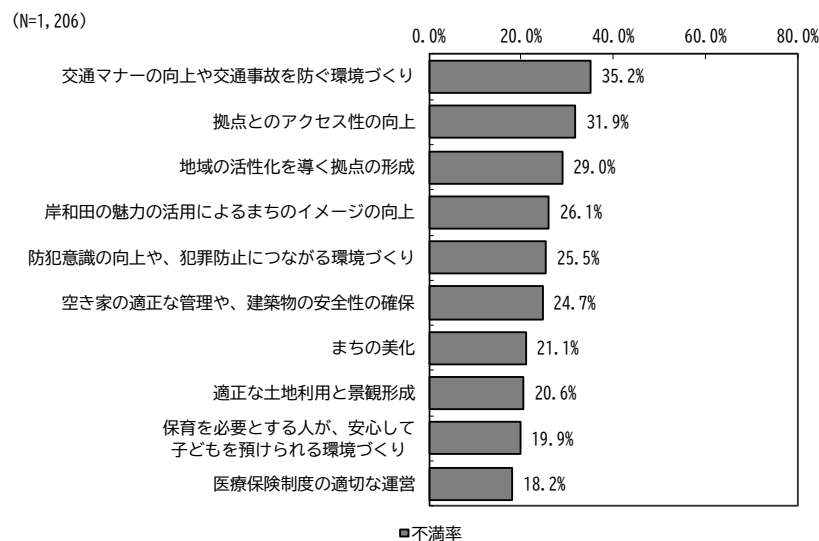


(2) 不満率

〔問 26〕の満足度調査で、「不満」、「やや不満」と回答した人の割合（以下『不満率』という。）は下記のグラフのとおりです。

58 項目のうち、1 位は「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり」(35.2%)となっています。次いで「拠点とのアクセス性の向上」(31.9%)、「地域の活性化を導く拠点の形成」(29.0%)となっています。

■「不満率」の全体の結果（上位 10 施策）



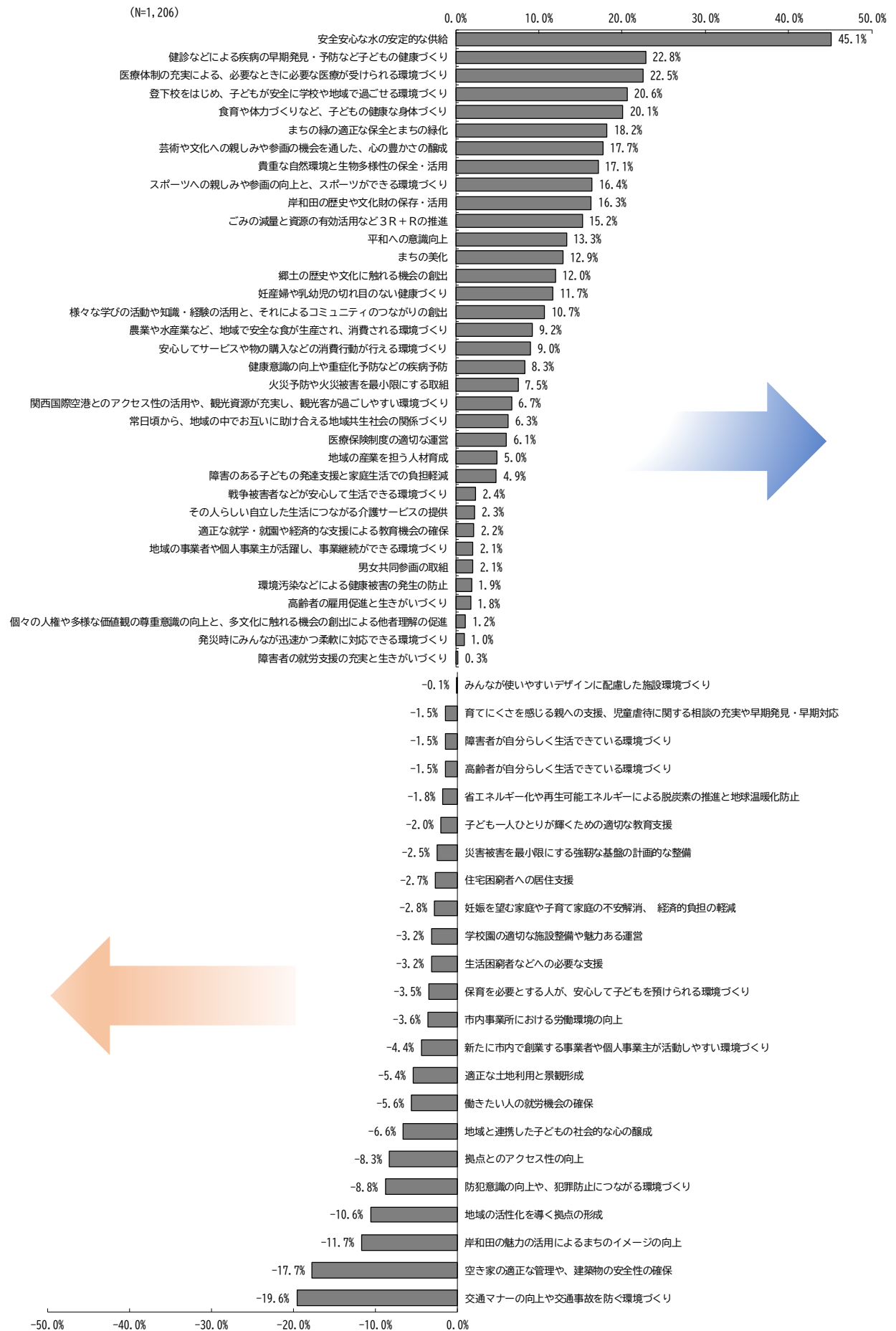
(3) 満足度

『満足率』から『不満率』を差し引いた数値（以下『満足度』という。）は、次のページのグラフの通りです（『不満率』の値が『満足率』の値を上回る場合は、マイナス表記しています。）。

『満足率』で1位であった「安全安心な水の安定的な供給」が『満足度』でも最も高い数値となり、『不満率』で1位であった「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり」が最も低い数値となりました。

また、「まちの美化」においては、『満足率』で4位、『不満率』で7位であり、それぞれ高い値になっているため、『満足度』は相殺されています。

第5 重要度×満足度調査結果

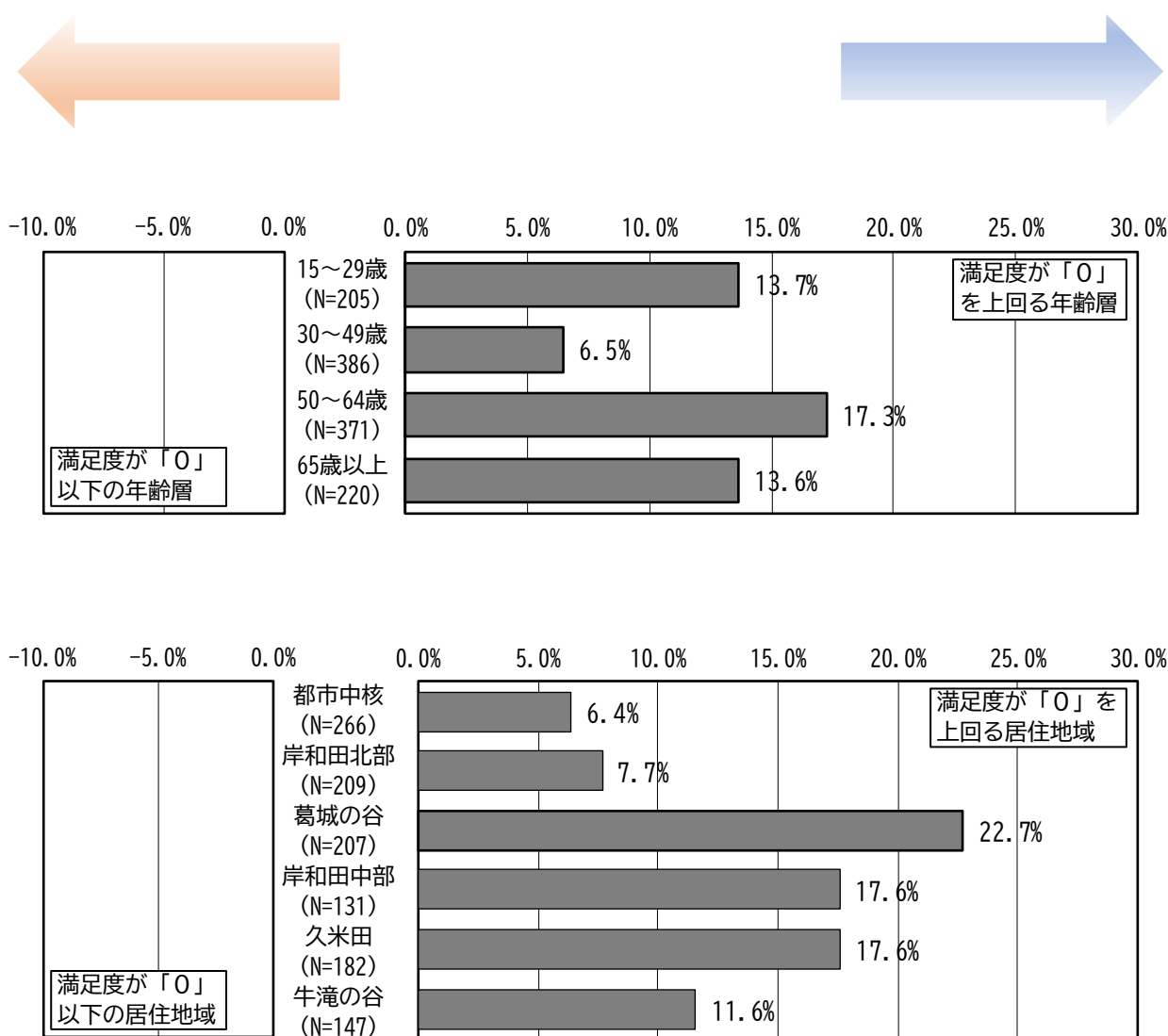


「まちの美化」の項目については、「満足率」「不満率」ともに上位10位以内に入る結果となりました。この項目について、どのような人が「満足」と回答し、どのような人が「不満」と回答しているかを探るため、年齢別・地域別に集計したのが下記のグラフです。

『満足率』『不満率』とも上位であるものの、年齢別・地域別で「満足度」が「0」以下になる区分はありませんでした。

■「まちの美化」の属性別結果

○「まちの美化」



第6 重点化施策候補の分析

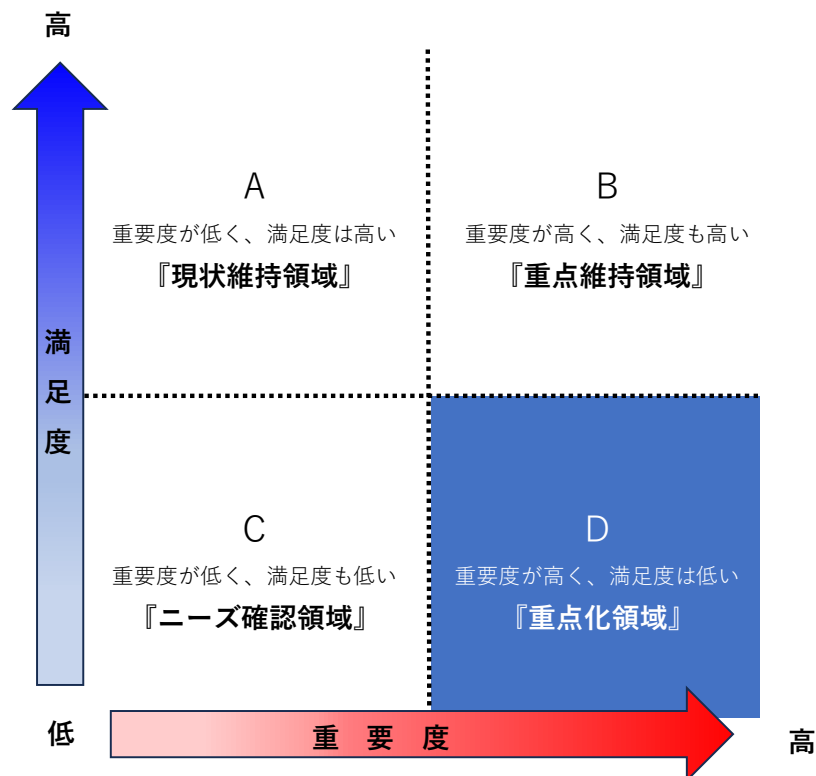
第6 重要化施策候補の分析

1. 重要度・満足度からみた施策の分析

(1) 重点施策候補

『重要度』と『満足度』について、それぞれの平均点を 50 とした偏差値に換算した上で、『重要度』を横軸、『満足度』を縦軸にとり、それぞれの平均値（50）を交点としたグラフに各施策をプロットする形式で示して、各施策の分布した領域から市民ニーズと重点化すべき施策の傾向を読み取ることとします。

『重要度』が平均より高く、『満足度』が平均より低い領域（下図の網掛け部分の領域）に位置する施策、つまり、市民が岸和田のまちづくりにとって重要だと感じているが、満足していない傾向にある施策については、重点施策の候補とします。



◆領域の説明

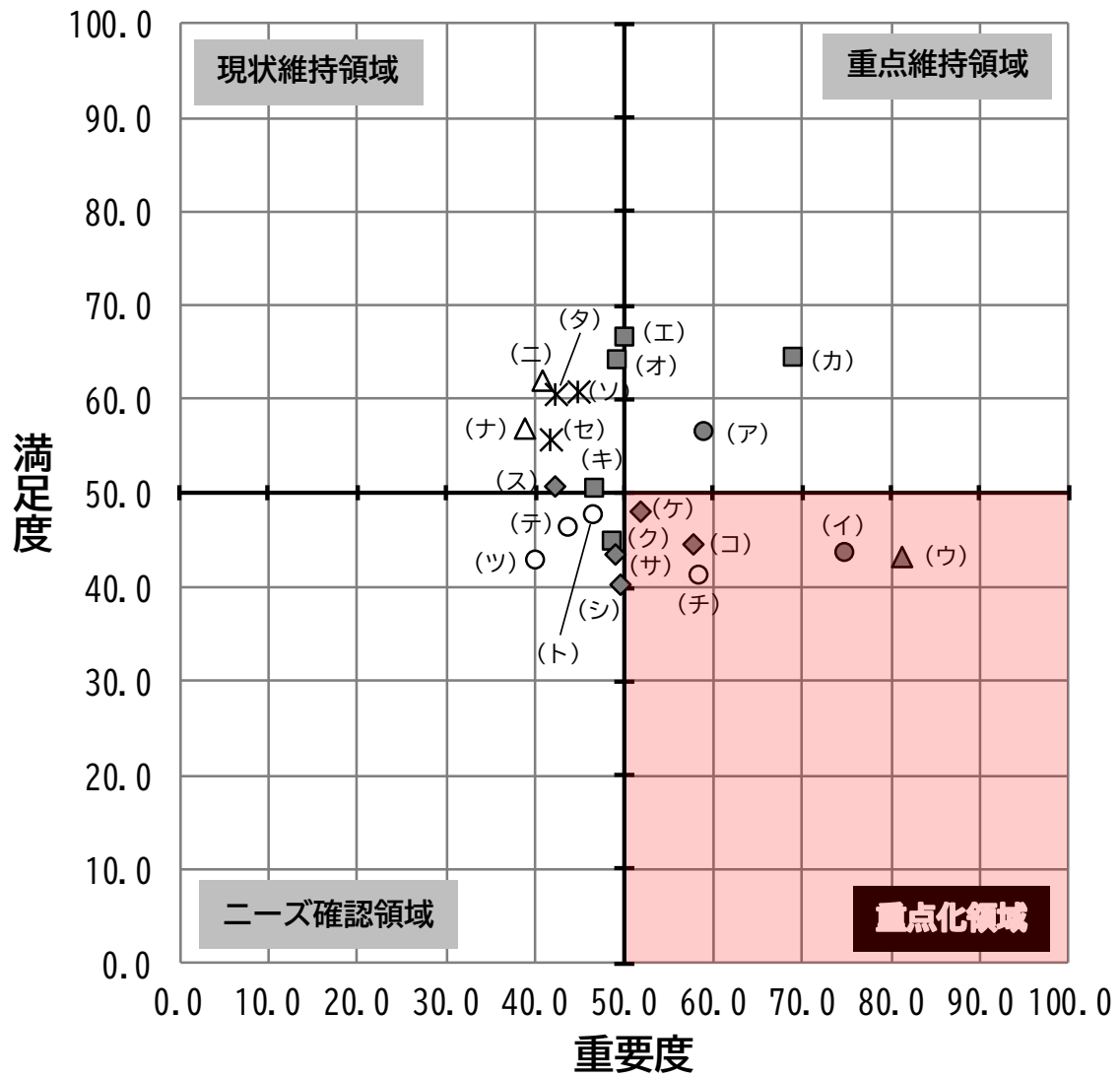
- ・領域A 現状維持領域
満足度を維持しつつ、ニーズに見合った対応を検討すべき領域
- ・領域B 重点維持領域
今後も現状も成果を維持しつつ、改善を続けるべき領域
- ・領域C ニーズ確認領域
相対的な満足度の低さは重要度の低さと関係していると思われ、市民ニーズの実態を確認すべき領域
- ・領域D 重点化領域
最優先で改善しなければならない領域

(2) 基本目標別の重要度と満足度

◆基本目標 『岸和田の次世代を育むまち』

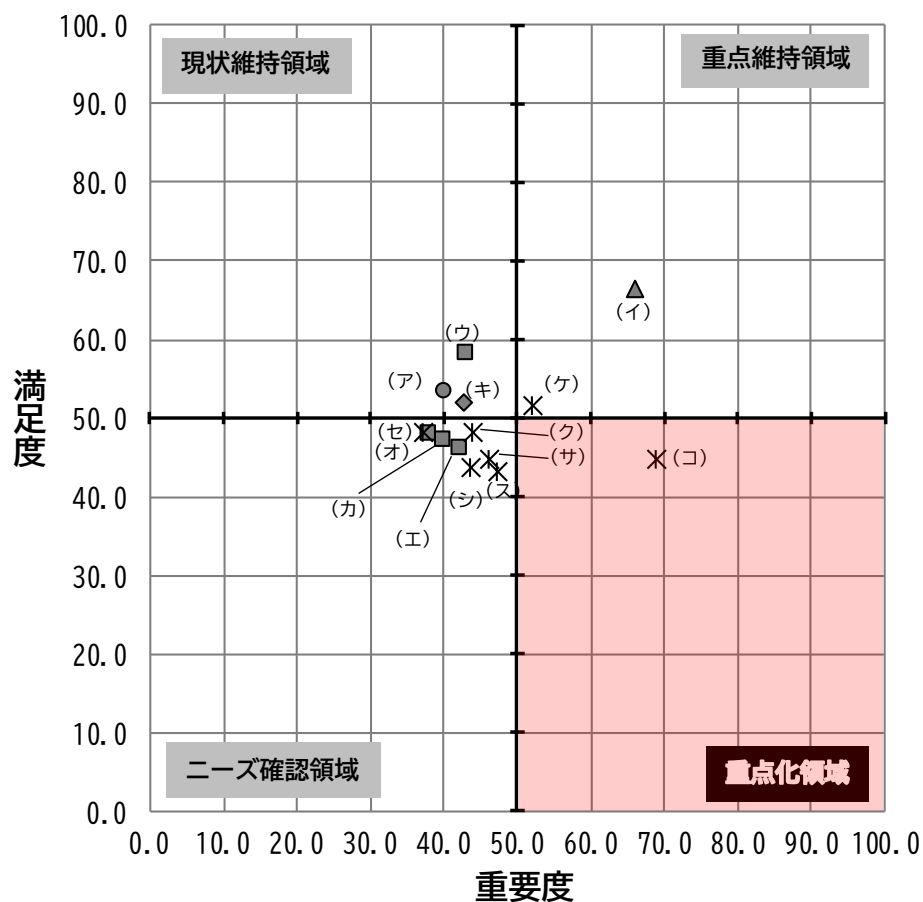
個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
安心して子どもを生み、育てている【●】	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくり	(ア)	59.0	56.6	重点維持
	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減	(イ)	74.7	43.7	重点化
働きながら子育てができている【▲】	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり	(ウ)	81.3	43.1	重点化
子どもの健康と安全が保たれている【■】	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくり	(エ)	50.1	66.5	重点維持
	食育や体力づくりなど、子どもの健康な身体づくり	(オ)	49.4	64.1	現状維持
	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり	(カ)	69.1	64.5	重点維持
	障害のある子どもの発達支援と家庭生活での負担軽減	(キ)	46.8	50.6	現状維持
	育てにくさを感じる親への支援、児童虐待に関する相談の充実や早期発見・早期対応	(ク)	48.6	44.9	二ーズ確認
子どもの個性や能力が豊かに育まれている【◆】	適正な就学・就園や経済的な支援による教育機会の確保	(ケ)	51.8	48.1	重点化
	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援	(コ)	57.7	44.5	重点化
	学校園の適切な施設整備や魅力ある運営	(サ)	49.0	43.4	二ーズ確認
	地域と連携した子どもの社会的な心の醸成	(シ)	49.6	40.4	二ーズ確認
	地域の産業を担う人材育成	(ス)	42.2	50.6	現状維持
生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている【*】	様々な学びの活動や知識・経験の活用と、それによるコミュニティのつながりの創出	(セ)	41.7	55.7	現状維持
	スポーツへの親しみや参画の向上と、スポーツができる環境づくり	(ソ)	44.7	60.8	現状維持
	芸術や文化への親しみや参画の機会を通した、心の豊かさの醸成	(タ)	40.9	62.0	現状維持
誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている【○】	働きたい人の就労機会の確保	(チ)	58.3	41.3	重点化
	市内事業所における労働環境の向上	(ツ)	39.9	43.1	二ーズ確認
	障害者の就労支援の充実と生きがいづくり	(テ)	43.7	46.5	二ーズ確認
	高齢者の雇用促進と生きがいづくり	(ト)	46.5	47.8	二ーズ確認
郷土の歴史や文化が引き継がれている【△】	郷土の歴史や文化に触れる機会の創出	(ナ)	38.9	56.9	現状維持
	岸和田の歴史や文化財の保存・活用	(ニ)	42.2	60.7	現状維持

※グラフは次ページを参照



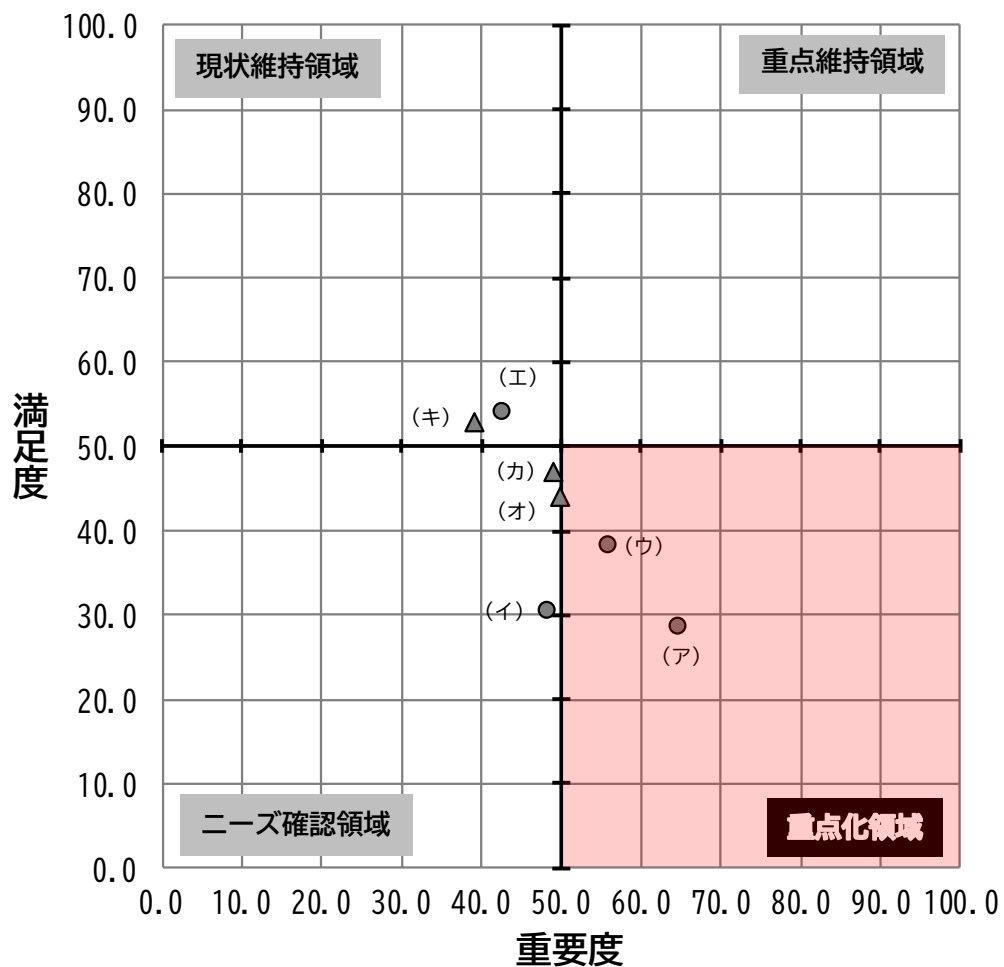
◆基本目標 『健康で自分らしく生きられるまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している(●)	健康意識の向上や重症化予防などの疾病予防	(ア)	39.7	53.6	現状維持
医療サービスを受けられる環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている(▲)	医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり	(イ)	65.9	66.2	重点維持
平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている(■)	平和への意識向上	(ウ)	42.7	58.1	現状維持
	個々の人権や多様な価値観の尊重意識の向上と、多文化に触れる機会の創出による他者理解の促進	(エ)	39.6	47.3	ニーズ確認
	男女共同参画の取組	(オ)	37.6	48.1	ニーズ確認
	みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境づくり	(カ)	41.9	46.1	ニーズ確認
地域で支えあい、助けあえる関係が築けている(◆)	常日頃から、地域の中でお互いに助け合える地域共生社会の関係づくり	(キ)	42.5	51.8	現状維持
介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心して生活している(*)	その人らしい自立した生活につながる介護サービスの提供	(ク)	43.5	48.3	ニーズ確認
	医療保険制度の適切な運営	(ケ)	51.8	51.6	重点維持
	高齢者が自分らしく生活できる環境づくり	(コ)	68.7	44.9	重点化
	障害者が自分らしく生活できる環境づくり	(サ)	45.8	44.9	ニーズ確認
	住宅困窮者への居住支援	(シ)	43.3	43.8	ニーズ確認
	生活困窮者などへの必要な支援	(ス)	46.8	43.3	ニーズ確認
	戦争被害者などが安心して生活できる環境づくり	(セ)	37.1	48.4	ニーズ確認



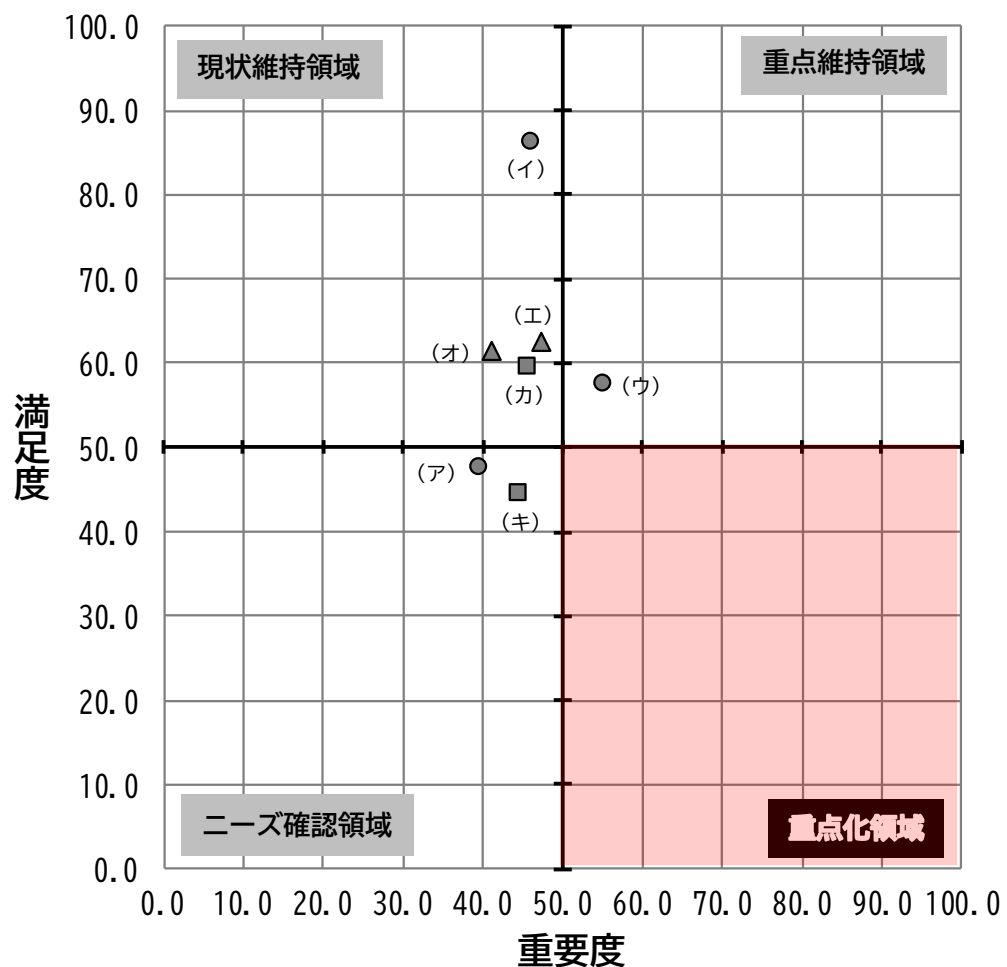
◆基本目標 『安全で安心して暮らせるまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている (●)	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり	(ア)	64.6	28.8	重点化
	空き家の適正な管理や、建築物の安全性の確保	(イ)	48.3	30.5	二一ズ確認
	防犯意識の向上や、犯罪防止につながる環境づくり	(ウ)	55.7	38.4	重点化
	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくり	(エ)	42.5	54.3	現状維持
災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている (▲)	災害被害を最小限にする強靱な基盤の計画的な整備	(オ)	49.8	44.0	二一ズ確認
	発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくり	(カ)	49.1	47.1	二一ズ確認
	火災予防や火災被害を最小限にする取組	(キ)	39.2	52.9	現状維持



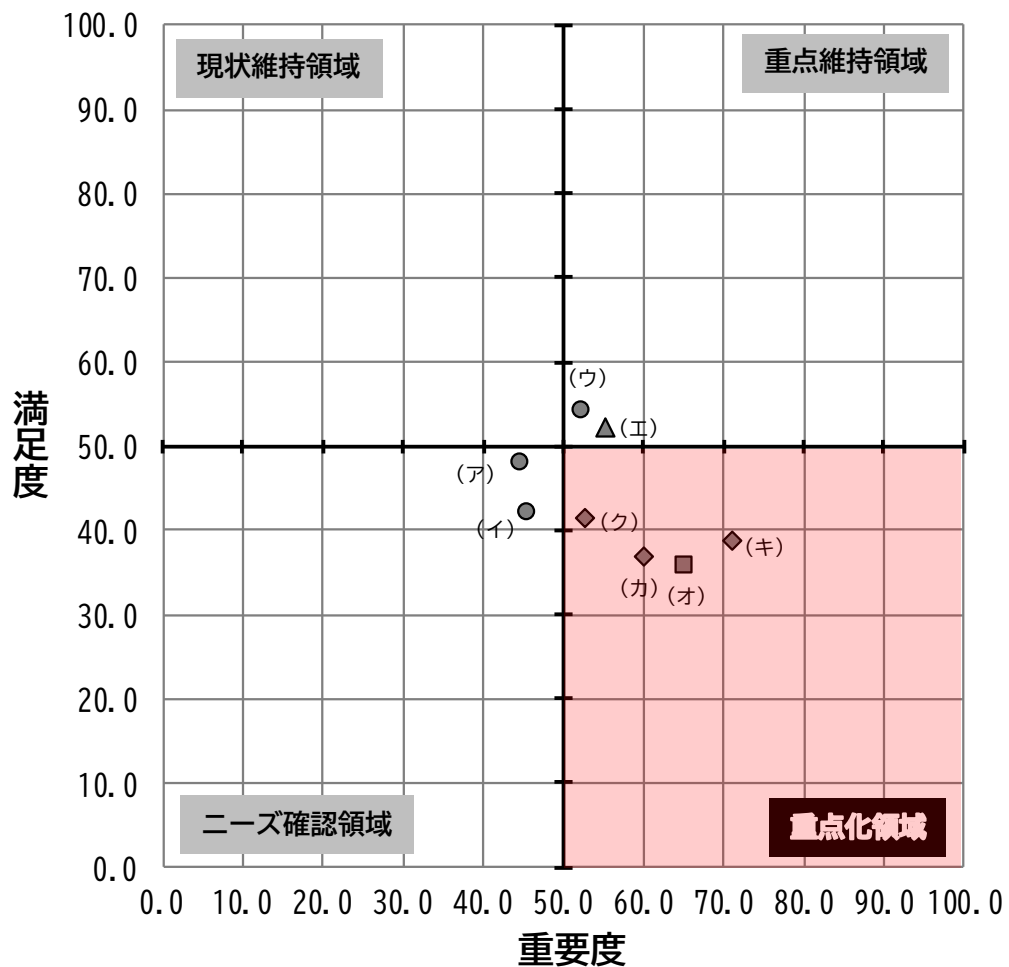
◆基本目標 『人と自然が共生した住みよいまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている (●)	環境汚染などによる健康被害の発生の防止	(ア)	39.4	47.9	二一ズ確認
	安全安心な水の安定的な供給	(イ)	45.8	86.3	現状維持
	まちの美化	(ウ)	54.9	57.7	重点維持
人が緑と触れあっている (▲)	まちの緑の適正な保全とまちの緑化	(エ)	47.3	62.4	現状維持
	貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用	(オ)	41.0	61.4	現状維持
環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている (■)	ごみの減量と資源の有効活用など3R+Rの推進	(カ)	45.7	59.7	現状維持
	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素の推進と地球温暖化防止	(キ)	44.5	44.6	二一ズ確認



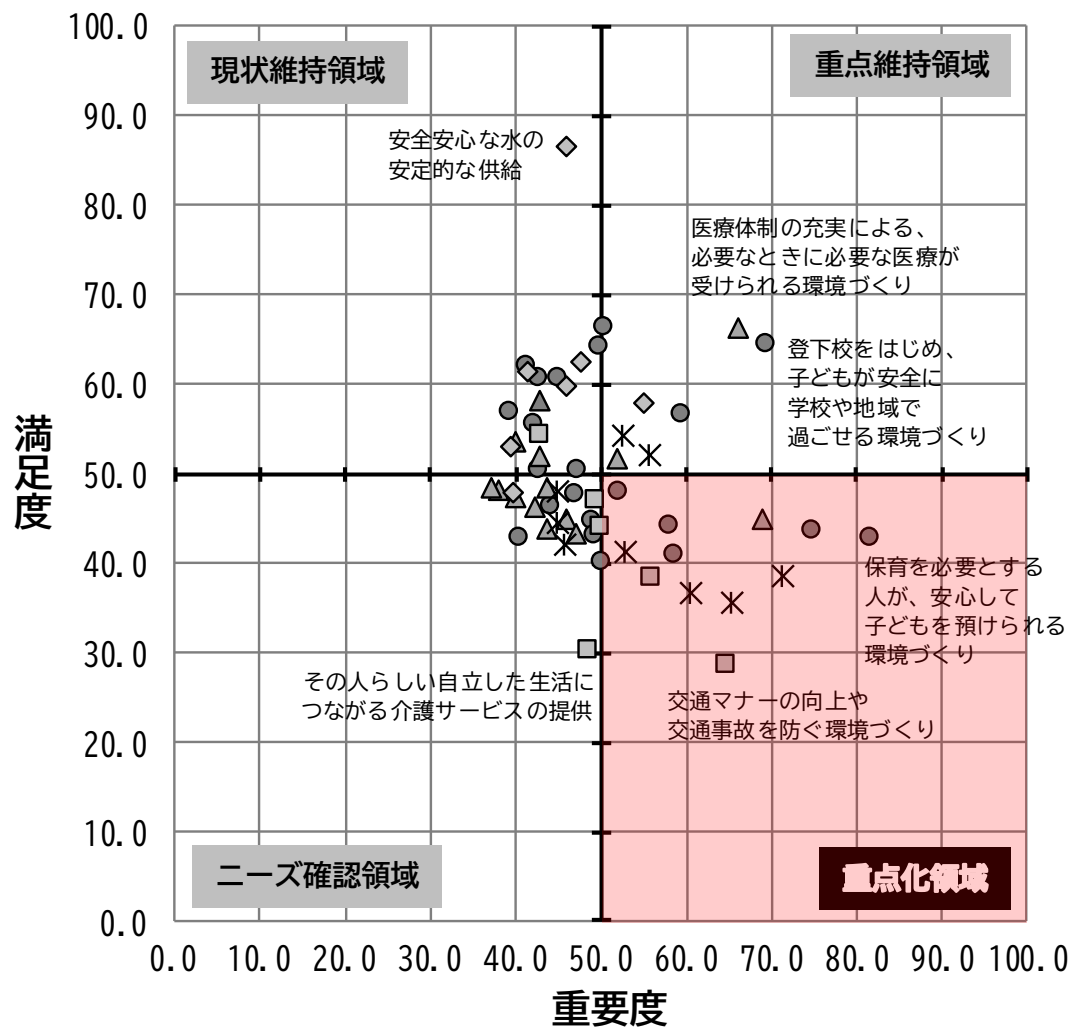
◆基本目標 『にぎわいと活力を創造するまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
活発な経済活動が行われている (●)	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくり	(ア)	44.5	48.1	二一ズ確認
	新たに市内で創業する事業者や個人事業主が活動しやすい環境づくり	(イ)	45.3	42.3	二一ズ確認
	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくり	(ウ)	52.2	54.4	重点維持
観光資源が活かされている (▲)	関西国際空港とのアクセス性の活用や、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくり	(エ)	55.4	52.2	重点維持
岸和田の魅力が伝わっている (■)	岸和田の魅力の活用によるまちのイメージの向上	(オ)	65.1	35.8	重点化
にぎわいや活力を支える基盤が整っている (◆)	地域の活性化を導く拠点の形成	(カ)	60.2	36.8	重点化
	拠点とのアクセス性の向上	(キ)	71.0	38.9	重点化
	適正な土地利用と景観形成	(ク)	52.6	41.4	重点化



◆全施策

全体をみると、58 施策のうち 17 施策が現状維持領域、8 施策が重点維持領域、21 施策がニーズ確認領域、12 施策が重点化領域に分布しています。

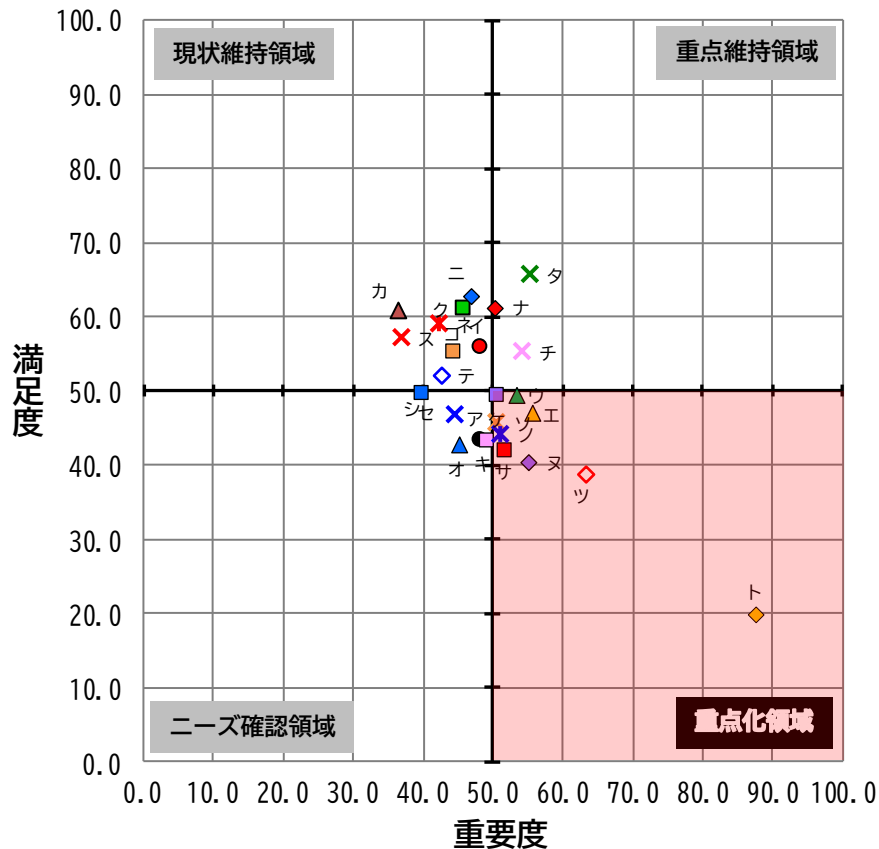


- 基本目標『岸和田の次世代を育むまち』
- ▲ 基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』
- 基本目標『安全で安心して暮らせるまち』
- ◆ 基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』
- * 基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』

(3) 属性別の重要度と満足度

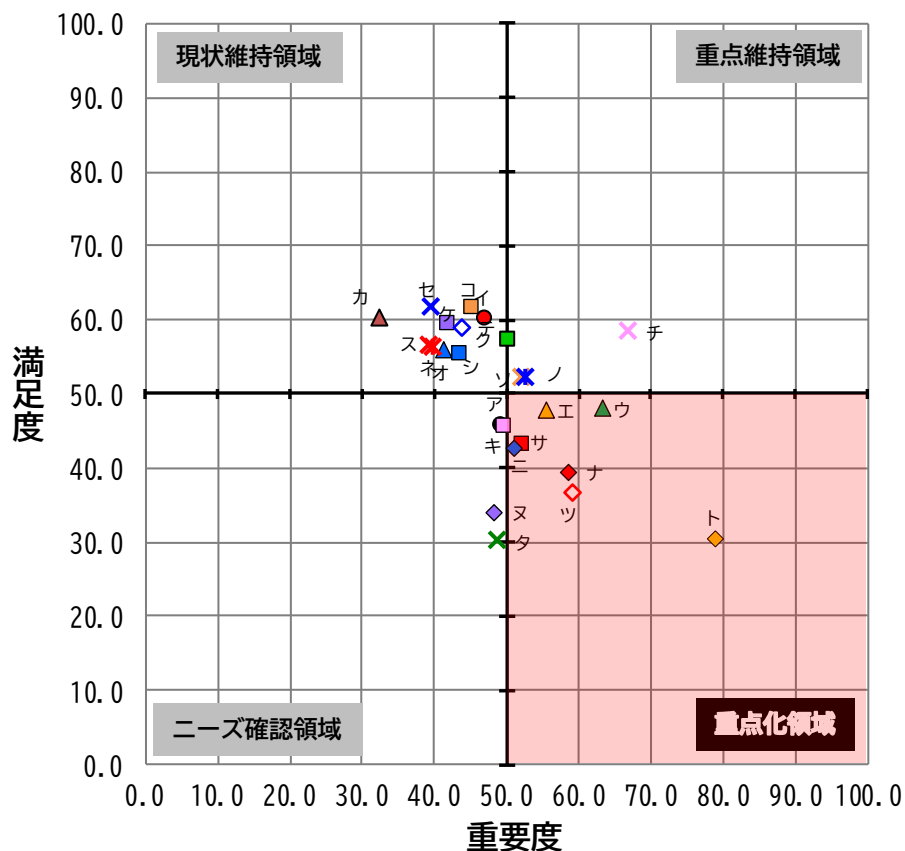
◆保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり

設問		回答項目	記号	重要度	満足度	領域	凡例
問28	性別	男性	ア	48.1	43.6	二一ズ確認	●
		女性	イ	48.0	56.0	現状維持	●
問29	年齢	15～29歳	ウ	53.4	49.4	重点化	▲
		30～49歳	エ	55.5	47.0	重点化	▲
		50～64歳	オ	45.1	42.8	二一ズ確認	▲
		65歳以上	カ	36.4	60.8	現状維持	▲
問30	居住地	都市中核地域	キ	49.2	43.2	二一ズ確認	■
		岸和田北部地域	ク	45.9	61.1	現状維持	■
		葛城の谷地域	ケ	50.7	49.5	重点化	■
		岸和田中部地域	コ	44.4	55.3	現状維持	■
		久米田地域	サ	51.7	42.0	重点化	■
		牛滝の谷地域	シ	39.9	49.8	二一ズ確認	■
問35	家族構成	単身	ス	36.9	57.1	現状維持	×
		夫婦	セ	44.6	46.8	二一ズ確認	×
		親子（2世代）	ソ	50.7	45.7	重点化	×
		親・子・孫（3世代）	タ	55.3	65.6	重点維持	×
		その他	チ	54.3	55.3	重点維持	×
問36	養育中の子どもの有無	いる	ツ	63.2	38.9	重点化	◇
		いない	テ	42.6	52.1	現状維持	◇
問36-1	養育中の子どもの年代	就学前（0～5歳）	ト	87.6	19.9	重点化	◇
		小学生	ナ	50.4	61.3	重点維持	◇
		中学生	ニ	47.0	62.8	現状維持	◇
		それ以外（高校生や大学生）	ヌ	55.2	40.4	重点化	◇
問37	65歳以上の高齢者	いる	ネ	42.4	59.1	現状維持	*
		いない	ノ	51.3	44.2	重点化	*



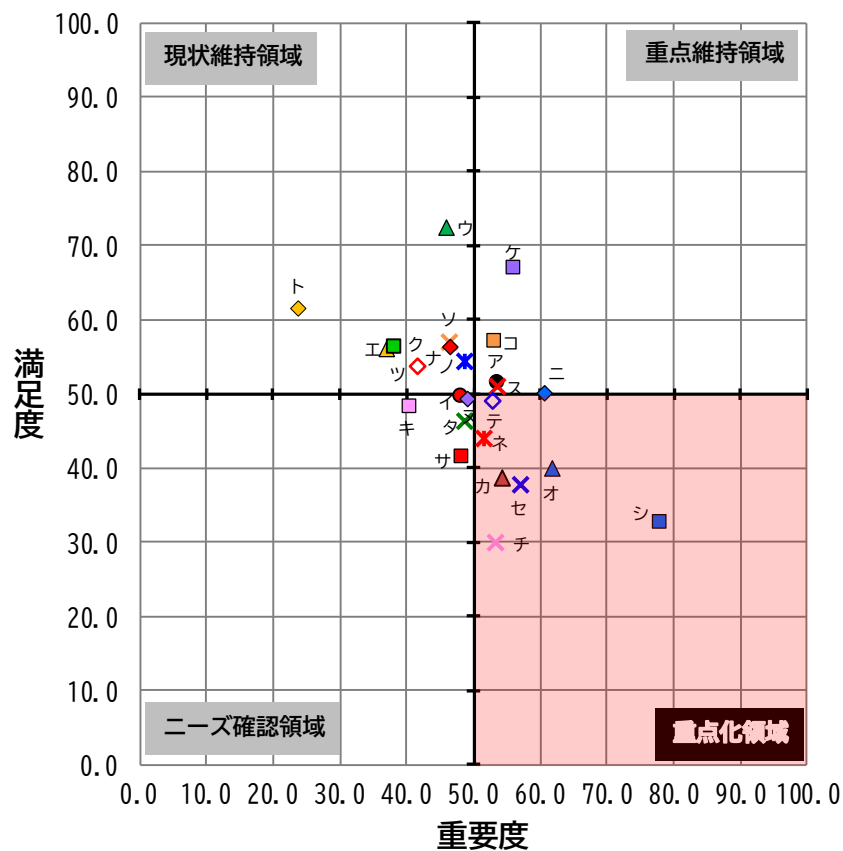
◆妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減

設問		回答項目	記号	重要度	満足度	領域	凡例
問28	性別	男性	ア	49.0	46.0	二一ズ確認	●
		女性	イ	47.0	60.2	現状維持	●
問29	年齢	15～29歳	ウ	63.2	48.0	重点化	▲
		30～49歳	エ	55.5	47.9	重点化	▲
		50～64歳	オ	41.2	56.1	現状維持	▲
		65歳以上	カ	32.4	60.3	現状維持	▲
問30	居住地	都市中核地域	キ	49.6	45.6	二一ズ確認	■
		岸和田北部地域	ク	50.2	57.4	重点維持	■
		葛城の谷地域	ケ	41.7	59.4	現状維持	■
		岸和田中部地域	コ	45.1	61.6	現状維持	■
		久米田地域	サ	52.2	43.2	重点化	■
		牛滝の谷地域	シ	43.5	55.5	現状維持	■
		その他	ソ	48.7	30.1	二一ズ確認	■
問35	家族構成	単身	ス	39.4	56.5	現状維持	×
		夫婦	セ	39.7	61.6	現状維持	×
		親子（2世代）	ソ	52.1	52.1	重点維持	×
		親・子・孫（3世代）	タ	48.7	30.1	二一ズ確認	×
		その他	チ	67.0	58.4	重点維持	×
問36	養育中の子どもの有無	いる	ツ	59.2	36.6	重点化	◇
		いない	テ	43.7	58.9	現状維持	◇
問36-1	養育中の子どもの年代	就学前（0～5歳）	ト	78.9	30.3	重点化	◇
		小学生	ナ	58.7	39.4	重点化	◇
		中学生	ニ	51.1	42.6	重点化	◇
		それ以外（高校生や大学生）	ヌ	48.4	34.1	二一ズ確認	◇
		その他	ノ	48.4	34.1	二一ズ確認	◇
問37	65歳以上の高齢者	いる	ネ	39.8	56.1	現状維持	*
		いない	ノ	52.8	52.1	重点維持	*



◆拠点とのアクセス性の向上

設問		回答項目	記号	重要度	満足度	領域	凡例
問28	性別	男性	ア	53.5	51.8	重点維持	●
		女性	イ	48.1	49.8	ニーズ確認	●
問29	年齢	15～29歳	ウ	45.9	72.4	現状維持	▲
		30～49歳	エ	37.0	56.1	現状維持	▲
		50～64歳	オ	61.8	39.9	重点化	▲
		65歳以上	カ	54.3	38.5	重点化	▲
問30	居住地	都市中核地域	キ	40.6	48.3	ニーズ確認	■
		岸和田北部地域	ク	38.2	56.4	現状維持	■
		葛城の谷地域	ケ	56.1	67.0	重点維持	■
		岸和田中部地域	コ	53.2	57.0	重点維持	■
		久米田地域	サ	48.2	41.4	ニーズ確認	■
		生瀧の谷地域	シ	77.9	32.6	重点化	■
問35	家族構成	単身	ス	53.7	50.8	重点維持	×
		夫婦	セ	57.1	37.6	重点化	×
		親子（2世代）	ソ	46.5	56.9	現状維持	×
		親・子・孫（3世代）	タ	49.0	46.0	ニーズ確認	×
		その他	チ	53.5	29.9	重点化	×
問36	養育中の子どもの有無	いる	ツ	41.5	53.7	現状維持	◇
		いない	テ	52.9	49.1	重点化	◇
問36-1	養育中の子どもの年代	就学前（0～5歳）	ト	23.9	61.5	現状維持	◇
		小学生	ナ	46.4	56.3	現状維持	◇
		中学生	ニ	60.8	50.0	重点維持	◇
		それ以外（高校生や大学生）	ヌ	49.2	49.2	ニーズ確認	◇
問37	65歳以上の高齢者	いる	ネ	51.8	43.8	重点化	*
		いない	ノ	48.9	54.2	現状維持	*



第7 子育て世代の意向状況

第7 子育て世代の意向状況

1. 子育て世代の調査結果の傾向

本調査において、「第3 住みやすさ意識調査結果」では、養育中の子どもがいる世帯の中でも、義務教育課程より小さな子どものいる世帯では、それ以外の世帯に比べて、岸和田市の住みやすさや居住継続意向の面で肯定的に感じる割合が低い傾向があります。また、「第5 重要度×満足度調査結果」では、子どもの保育や安全に関わる環境の整備や、子育て家庭の負担軽減などに関連する項目の重要度が高くなっています。合わせて、後述する「第8 自由意見」では、「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める」、「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」といったテーマのご意見が多く挙げられています。

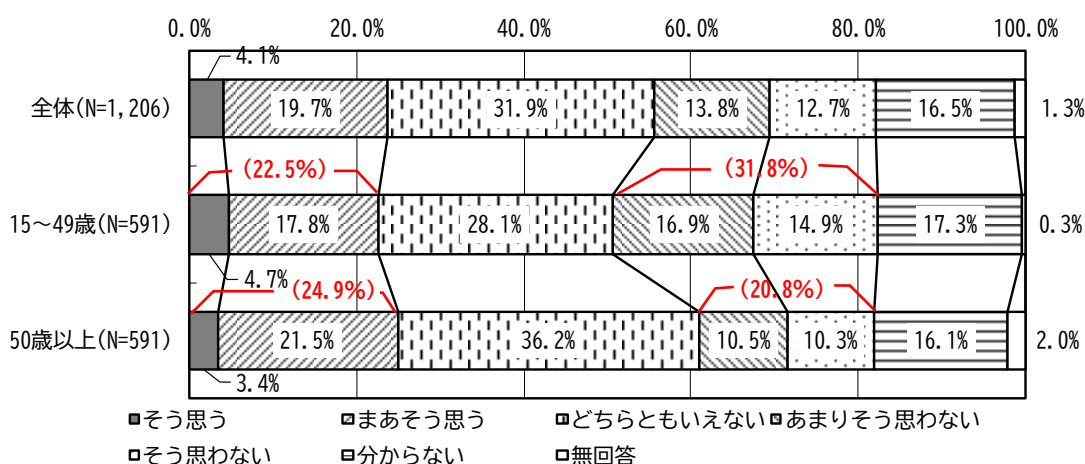
そこで、子育て世代の特徴をさらに詳しく調査するために、「年齢」属性別の集計について、年齢区分「15歳～49歳」の年齢層と「50歳以上」の年齢層で分けて調査結果を抽出し、比較分析します。（なお、本調査では、15歳～49歳を「子育て世代」と捉えます。）

2. 調査結果からみる子育て世代の意向状況

(1) 「岸和田は、子どもを生み育てやすい」の調査結果

〔問 25-ウ〕の『岸和田は、子どもを生み育てやすい』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が 22.5%で、「50 歳以上」の 24.9%より 2.4 ポイント下回っています。一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が 31.8%で、「50 歳以上」の 20.8%より 11.0 ポイント上回っています。

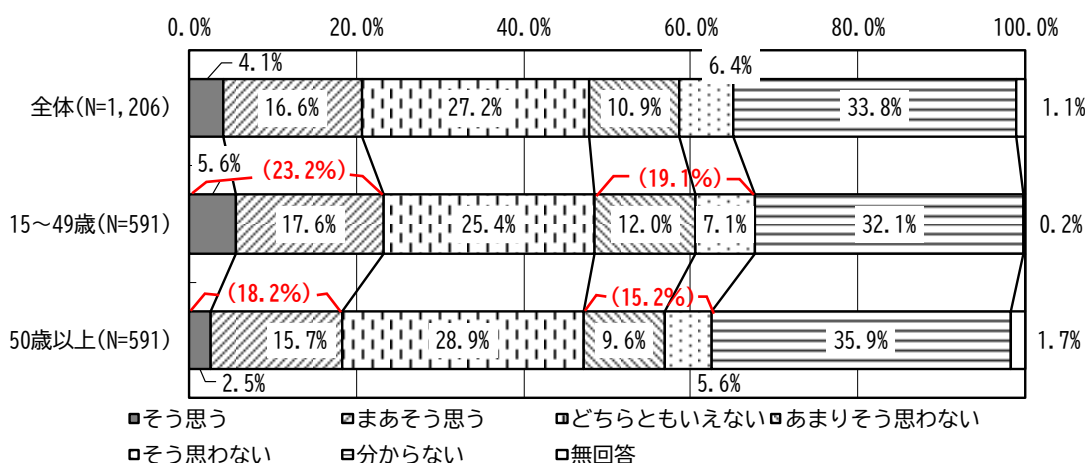
■ 「岸和田は、子どもを生み育てやすい」の調査結果



(2) 「子育てに関する不安を相談できる機会や場がある」の調査結果

〔問 25-タ〕の『子育てに関する不安を相談できる機会や場がある』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が 23.2%で、「50 歳以上」の 18.2%より 5.0 ポイント上回っています。一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が 19.1%で、「50 歳以上」の 15.2%より 3.9 ポイント上回っています。

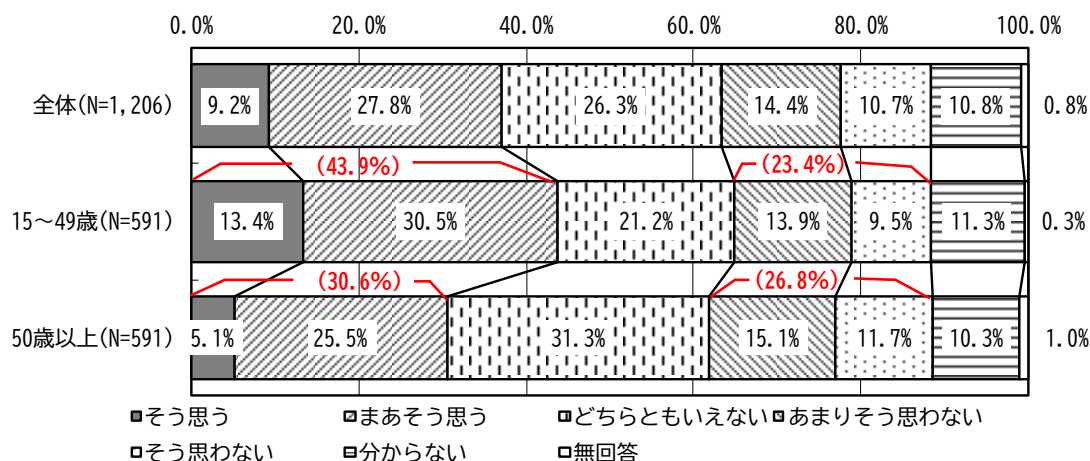
■ 「子育てに関する不安を相談できる機会や場がある」の調査結果



(3) 「困ったときに近くに相談できる人や場所がある」の調査結果

〔問 25-ヒ〕の『困ったときに近くに相談できる人や場所がある』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が 43.9%で、「50 歳以上」の 30.6%より 13.3 ポイント上回っています。一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が 23.4%で、「50 歳以上」の 26.8%より 3.4 ポイント下回っています。

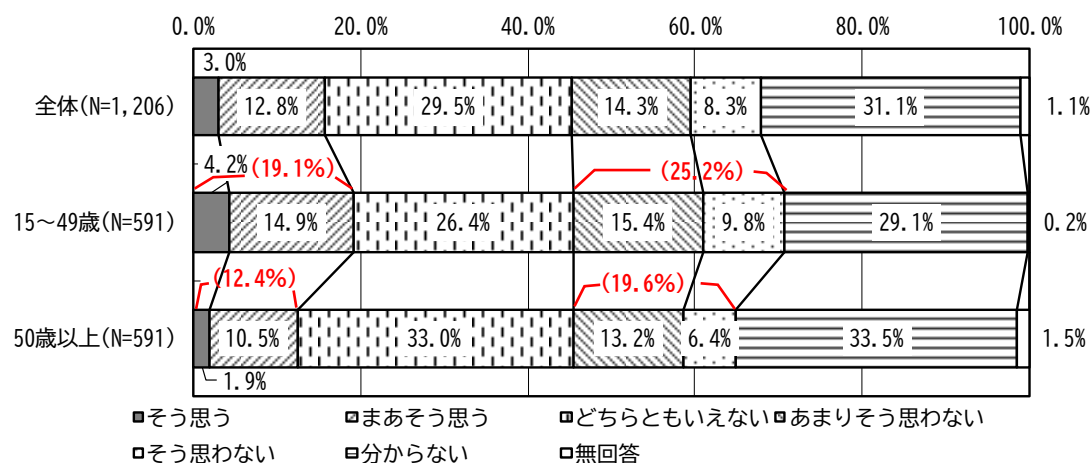
■ 「困ったときに近くに相談できる人や場所がある」の調査結果



(4) 「働きながら子育てができる環境が整っている」の調査結果

〔問 25-チ〕の『働きながら子育てができる環境が整っている』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が 19.1%で、「50 歳以上」の 12.4%より 6.7 ポイント上回っています。一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が 25.2%で、「50 歳以上」の 19.6%より 5.6 ポイント上回っています。

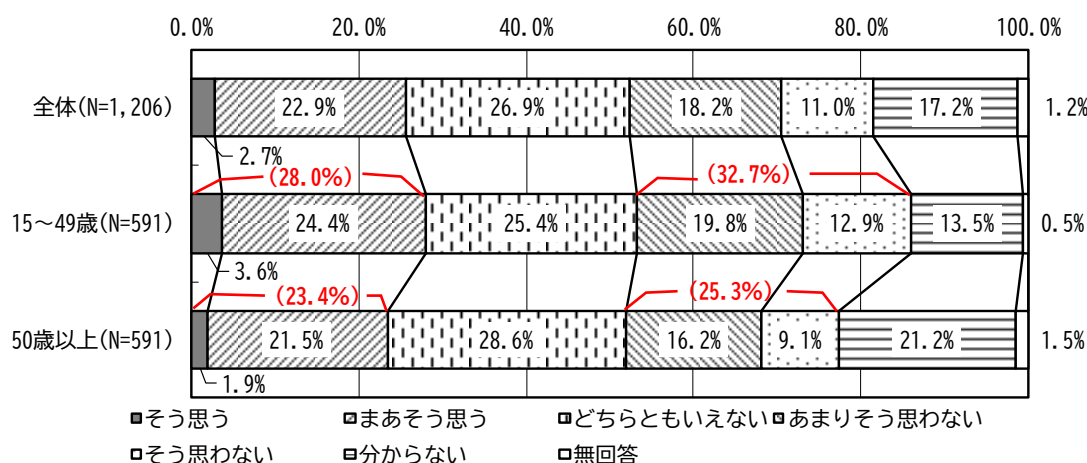
■ 「働きながら子育てができる環境が整っている」の調査結果



(5) 「子どもが安全に遊ぶことができる」の調査結果

〔問 25-ツ〕の『子どもが安全に遊ぶことができる』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が 28.0%で、「50 歳以上」の 23.4%より 4.6 ポイント上回っています。一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が 32.7%で、「50 歳以上」の 25.3%より 7.4 ポイント上回っています。

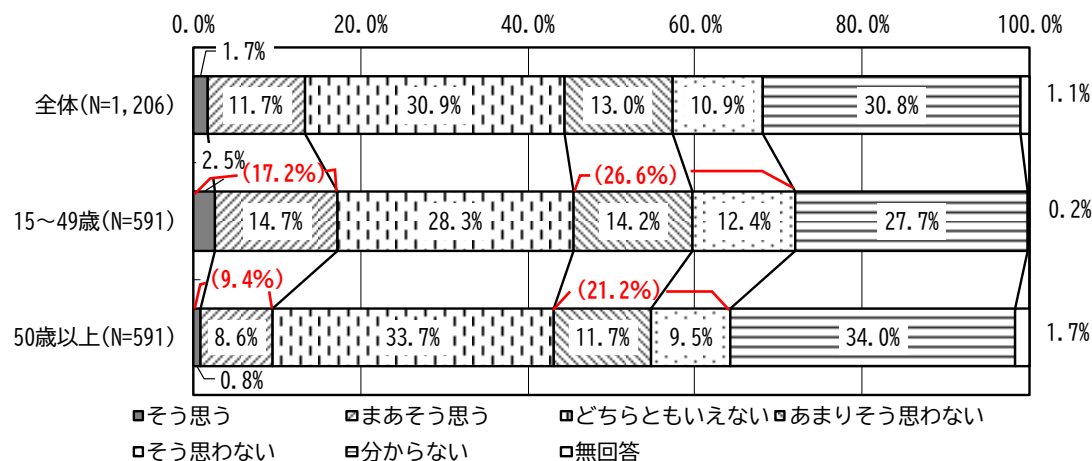
■ 「子どもが安全に遊ぶことができる」の調査結果



(6) 「子どもの個性や能力にあった教育が行われている」の調査結果

〔問 25-テ〕の『子どもの個性や能力にあった教育が行われている』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が 17.2%で、「50 歳以上」の 9.4%より 7.8 ポイント上回っています。一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」が 26.6%で、「50 歳以上」の 21.2%より 5.4 ポイント上回っています。

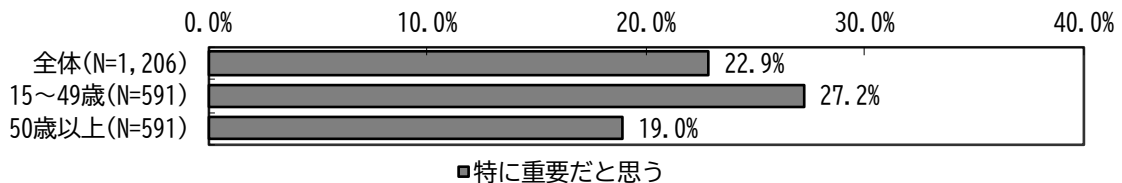
■ 「子どもの個性や能力にあった教育が行われている」の調査結果



(7) 「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める」の調査結果

〔問 26〕の『保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める』の調査結果をみると、『特に重要だと思う』は、「15～49 歳（子育て世代）」が 27.2%で、「50 歳以上」の 19.0%より 8.2 ポイント上回っています。

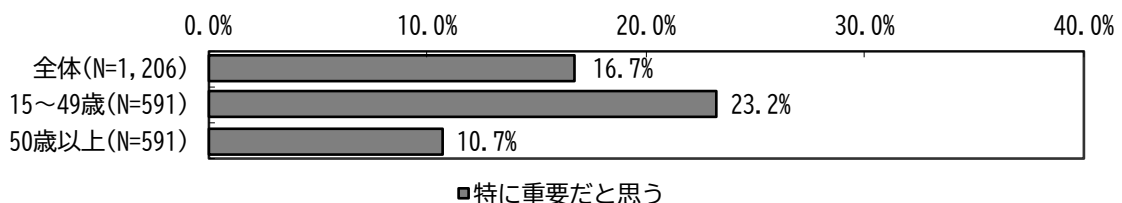
■「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める」の調査結果



(8) 「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」の調査結果

〔問 26〕の『登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める』の調査結果をみると、『特に重要だと思う』は、「15～49 歳（子育て世代）」が 23.2%で、「50 歳以上」の 10.7%より 12.5 ポイント上回っています。

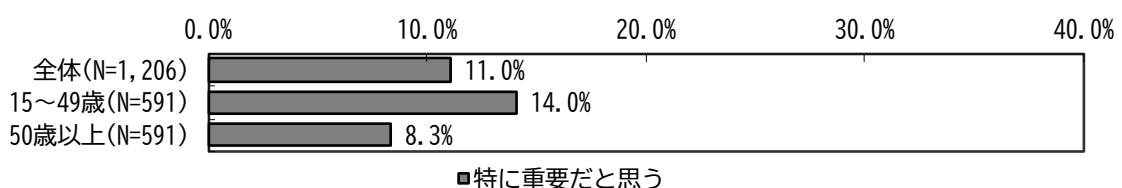
■「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」の調査結果



(9) 「子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う」の調査結果

〔問 26〕の『子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う』の調査結果をみると、『特に重要だと思う』は、「15～49 歳（子育て世代）」が 14.0%で、「50 歳以上」の 8.3%より 5.7 ポイント上回っています。

■「子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う」の調査結果



第8 自由意見

第8 自由意見

1. 総合計画「将来ビジョン・岸和田」の体系

アンケートで回収された自由意見について、総合計画「将来ビジョン・岸和田」の体系に基づき、第1期基本計画の「個別目標の方向性」ごとに分類・整理しました。

■総合計画「将来ビジョン・岸和田」の体系

基本目標	個別目標	番号	個別目標の方向性
岸和田の次世代を育むまち	安心して子どもを生み、育てられている	1	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくりを進める
		2	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める
	働きながら子育てができている	3	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める
	子どもの健康と安全が保たれている	4	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくりを進める
		5	食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める
		6	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める
		7	障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める
		8	育てにくさを感じる親への支援や、児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める
	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	9	適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する
		10	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う
		11	学校園の適切な維持管理や魅力ある運営を行う
		12	地域と連携し、子どもの社会的な心を育む
		13	地域の産業を担う人材育成を進める
	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	14	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する
		15	スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める
		16	芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る
	誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている	17	働きたい人の就労機会の確保を進める
		18	市内事業所の労働環境の向上を進める
		19	障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める
		20	高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める
	郷土の歴史や文化が引き継がれている	21	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる
		22	岸和田の歴史や文化の保存・活用を進める

基本目標	個別目標	番号	個別目標の方向性
健康で自分らしく 生きられるまち	健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している	23	健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める
	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	24	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める
	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	25	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する
		26	男女共同参画の取組を進める
		27	みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる
		28	平和への意識向上を進める
	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	29	常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める
	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心できている	30	その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する
		31	医療保険制度を適切に運営する
		32	高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める
		33	障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める
		34	生活困窮者などに必要な支援を行う
		35	住宅困窮者に居住支援を行う
		36	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める
安全で安心して暮らせるまち	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	37	空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める
		38	防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める
		39	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める
		40	災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める
	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	41	発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくりを進める
		42	火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める
		43	環境汚染などによる健康被害の発生を防ぐ
人と自然が共生した 住みよいまち	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	44	安全安心な水を安定的に供給する
		45	まちの美化を進める
		46	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める
	人が緑と触れあっている	47	貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める
		48	ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める
	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている	49	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める

基本目標	個別目標	番号	個別目標の方向性
にぎわいと活力を創造するまち	活発な経済活動が行われている	50	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める
		51	新たに市内で活動する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める
		52	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める
	観光資源が活かされている	53	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める
	岸和田の魅力が伝わっている	54	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める
	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	55	地域の活性化を導く拠点の形成を進める
		56	拠点とのアクセス性の向上を図る
		57	適正な土地利用と景観形成を進める
みんながでつくる持続可能なまち	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	58	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める
		59	当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める
	持続可能で信頼される行政になっている	60	業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める
		61	適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
		62	行政手続きが便利になる環境づくりを進める
		63	安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める
		64	市独自の歳入確保を進める

2. いただいた様々なご意見

(1) 自由意見の整理

いただいた様々なご意見は、総合計画「将来ビジョン・岸和田」の『個別目標の方向性』をテーマとして分類し、要旨及び意見数を取りまとめました。また、1つのご意見が複数のテーマにまたがる場合は、最も関係が深いと思われるテーマに割り振っています。

いただいたご意見をテーマ別にみると、「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める」「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める」、「拠点とのアクセス性の向上を図る」、「地域の活性化を導く拠点の形成を進める」、「岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める」などのテーマに関するご意見が多くなっており、これらの分野での関心の高さがうかがえます。

■自由意見

番号	個別目標の方向性	自由意見の件数
1	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくりを進める	0
	なし	-
2	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	31
	子育て支援を充実させてほしい	14
	子ども医療の適用年齢を 18 才に引き上げてほしい	4
	子育て世代が住みやすいまちにしてほしい	3
	不妊治療の支援充実をしてほしい	2
	少子高齢化対策につながる取組みを行ってほしい	2
	物価高騰対策による給食費無償化を継続してほしい	2
	子どもの教育費の無償化や食品の現物支援をしてほしい	1
	出産・子育てに手厚いまちにしてほしい	1
	小学校の給食費を安くしてほしい	1
	医療費助成が 18 才以下まで拡充されて良かった	1
3	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	6
	チビッコホームの、利用料金、利用方法を検討してほしい	3
	こども園・保育園の待機児童を解消してほしい	2
	一時保育を柔軟に利用できるようにしてほしい	1
4	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくりを進める	0
	なし	-
5	食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める	0
	なし	-

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
6	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	11
	子どもが遊べる場所を増やしてほしい	5
	子どもの見守りを強化してほしい	2
	子どもが安心・安全に学校や地域で過ごせる環境を整えてほしい	2
	子どもが地域で楽しそうに過ごせているように思う	1
	子どもが気軽に遊びに行ける、安心安全な公園の整備をしてほしい	1
7	障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める	2
	学校・園における障害児の受入環境の整備を充実させてほしい	2
8	育てにくさを感じる親への支援や、児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める	0
	なし	-
9	適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する	7
	校区に関係なく、進学する小学校を選択できるようにしてほしい	2
	小学校の統合については地域によって不公平がないようにしてほしい	1
	私立大学の無償化をしてほしい	1
	市立幼稚園を減らさないでほしい	1
	学校統廃合をやめてほしい	1
	学校園の適正配置に係る情報提供を強化してほしい	1
10	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う	18
	教育への取組に力を入れてほしい	5
	少人数学級の実現に向けた取組を進めてほしい	3
	子どもたちが学習の楽しさを学び、将来の選択肢を広げ、健全に育つ岸和田市であってほしい	2
	学力向上支援の充実を図ってほしい	2
	高校生、専門学生、大学生の支援を強化してほしい	2
	学力向上支援の充実を図ってほしい	1
	校則や学校独自の習慣を見直してほしい	1
	少人数学級の実現に向けた取組を進めてほしい	1
	小中学校の教育の充実をさらに進めてほしい	1

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
11	学校園の適切な維持管理や魅力ある運営を行う	8
	学校・園の整備の老朽化対策を進めてほしい	2
	子どもがルールを守れるような環境づくりに力を入れてほしい	1
	学校整備を充実させてほしい	1
	公立中学の先生に、もっと生徒指導のための支援をしてほしい	1
	教員不足の解消や、子どもの教育環境の強化を、図ってほしい	1
	教職員の人権意識および指導力向上に向けた取組を強化してほしい	1
	学校教育や児童施設の運営に力を入れ、他市町村から移住者が増えるようアピールしてほしい	1
12	地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	4
	未成年者の飲酒、喫煙を取り締まってほしい	4
13	地域の産業を担う人材育成を進める	0
	なし	-
14	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	3
	子どもと遊べるイベントを増やしてほしい	1
	子どもから大人まで、基礎的な教養が高められる取組を拡充してほしい	1
	図書館を充実させてほしい	1
15	スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める	3
	市民が安価で運動できる場所がほしい	1
	地域のプールを新しくしてほしい	1
	スケートボード専用は今池公園を整備してほしい	1
16	芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	0
	なし	-
17	働きたい人の就労機会の確保を進める	1
	正社員として働き続けることができる環境づくりを支援してほしい	1
18	市内事業所の労働環境の向上を進める	0
	なし	-
19	障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	1
	就業面で障害者支援の充実を図ってほしい	1
20	高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める	0
	なし	-
21	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	0
	なし	-
22	岸和田の歴史や文化財の保存・活用を進める	0
	なし	-

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
23	健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める	1
	コロナワクチン接種対応を強化してほしい	1
24	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	2
	安心して受診・通院できる医療施設の充実と信頼できる医師の確保をしてほしい	2
25	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	2
	同性カップル等のパートナーシップ宣誓証明制度を検討してほしい	1
	結婚しなくても、幸せに暮らせる市にしてほしい	1
26	男女共同参画の取組を進める	0
	なし	-
27	みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる	0
	なし	-
28	平和への意識向上を進める	0
	なし	-
29	常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める	4
	地域共生社会に役立ちたい	1
	気軽に相談できる環境づくりをお願いしたい	1
	わからないことがあっても、地域の人たちに助けてもらっている	1
	子ども食堂を支援してほしい	1
30	その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する	1
	慢性の病気を抱えていても不安なく過ごせるようにしてほしい	1
31	医療保険制度を適切に運営する	1
	国民健康保険料の負担を軽減してほしい	1
32	高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	4
	高齢者のバス運賃を見直してほしい	2
	地域住民の支え合いによる生活支援サービスの提供を行ってほしい	1
	高齢者の医療などを幅広く支援してほしい	1
33	障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	1
	障害者支援を充実させてほしい	1
34	生活困窮者などに必要な支援を行う	6
	住宅、生活困窮者への支援を適正に執行してほしい	3
	物価高騰に対し、生活支援対策を実施してほしい	2
	低所得者への支援を充実させてほしい	1
35	住宅困窮者に居住支援を行う	0
	なし	-

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
36	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	32
	歩道・車道・自転車道を適切に維持管理してほしい	11
	歩道や横断歩道などの安全施設を設置してほしい（特に通学路）	7
	路上駐車や通行禁止場所における車・バイクの取締りを強化してほしい	5
	歩道のおりに段差を解消してほしい	2
	街灯や標識、カーブミラーの設置数を増やしてほしい	2
	安全で・安心できる道路整備と交通規制を行ってほしい	2
	交通量の多い交差点に信号を設置してほしい	1
	モーター付自転車の規制を行ってほしい	1
	市民の交通ルールを守る意識を向上させてほしい	1
37	空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める	2
	市民が安心、安全に暮らせる市にしたい	1
	倒壊しそうな空家の売却や整備を進めてほしい	1
38	防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	4
	防犯対策、治安の改善をしてほしい	1
	だんじり祭りの準備活動を地域の防犯に生かしてほしい	1
	安心・安全に住めるまちづくりを行ってほしい	1
	市内の各所に防犯カメラをもっと多く設置してほしい	1
39	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める	0
	なし	-
40	災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める	0
	なし	-
41	発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくりを進める	1
	災害状況に合わせて適切に避難所を開設してほしい	1
42	火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める	0
	なし	-
43	環境汚染などによる健康被害の発生を防ぐ	3
	騒音を引き起こしているバイクの取り締まりを強化してほしい	2
	生活環境上の騒音対策を強化してほしい	1
44	安全安心な水を安定的に供給する	5
	水道料金の負担を軽減してほしい	2
	水道事業を民営化しないでほしい	2
	下水道整備されていない居住地への対応を進めて欲しい	1

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
45	まちの美化を進める	9
	ゴミ、ペットの糞を捨てないように警備してほしい	2
	まちの美化を進めてほしい	1
	植木の手入れ、草刈りの啓発をしてほしい	1
	市民で清掃活動の機会を増やしてほしい	1
	公園にゴミ箱を設置してほしい	1
	落書きが散見される。改善してほしい	1
	歩道の草刈りをしてほしい	1
	駅前のマンホールがちきりくんに変わっていて素敵だった	1
46	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める	7
	地域緑化の充実と、里山などの保全を行ってほしい	5
	川を綺麗にしてほしい	1
	丘陵地区周辺のため池の安全対策を充実させてほしい	1
47	貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める	0
	なし	-
48	ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める	12
	ごみの回収方法の見直しを行ってほしい	5
	有料ごみ袋の負担を見直してほしい	2
	粗大ごみの定期収集をしてほしい	2
	資源ごみの持ち去りを取り締まってほしい	1
	資源を大事に活用する施策を考えてほしい	1
	5ℓ程度の有料ごみ袋がほしい	1
49	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地域温暖化防止を進める	0
	なし	-
50	地域の事業者や個人事業者が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める	1
	子育てのためにも、稼ぐ力を向上させてほしい	1
51	新たに市内で活動する事業者や個人事業者が、活動しやすい環境づくりを進める	5
	もっと企業を誘致してほしい	5
52	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	0
	なし	-

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
53	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	12
	観光振興を進めてほしい	7
	観光客が、常にたくさん訪れるような、国際的な都市を目指してほしい	2
	魅力的なイベントを充実させてほしい	2
	観光施設を充実させてほしい	1
54	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める	20
	だんじり祭だけに頼らない魅力ある市になってほしい	10
	岸和田市のイメージを良くしてほしい	3
	岸和田市は素晴らしいまちだということを、もっと発信してほしい	3
	お城や食文化など歴史深い色々な事をもっと発信して地域の活性化にも力を入れてほしい	2
	紀州街道を旧街道として、景観造りなどの整備をしてほしい	1
	古き文化を後世に残せるような取組をしてほしい	1
55	地域の活性化を導く拠点の形成を進める	21
	ゆっくり買い物できる商業施設を増やしてほしい	7
	商店街を活性化させてほしい	5
	南海各駅周辺の整備・活性化をしてほしい	2
	JR 駅周辺の道路整備や駅周辺の活用・整備をしてほしい	2
	活気のあるまちにしてほしい	1
	久米田駅周辺の再開発を検討してほしい	1
	駅前にバイクをとめられるパーキングがあり、ありがたい	1
	まちづくり（整備）に地域格差をなくしてほしい	1
	海側のまちの開発を進めてほしい	1
56	拠点とのアクセス性の向上を図る	27
	公共交通機関の充実を図ってほしい	12
	道路を整備して交通渋滞の緩和や市内のアクセスを良くしてほしい	7
	踏切を高架化してほしい	4
	ローズバスの運賃、運行ルートを見直して・充実させてほしい	4
57	適正な土地利用と景観形成を進める	0
	なし	-
58	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	15
	モラルをまもる、安心安全な地域づくりをしてほしい	12
	自治会に全員が入るよう啓発してほしい	2
	町会費を安くしてほしい	1

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
59	当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める	17
	市の活動が見えるような情報発信を行ってほしい	8
	老若男女が住みやすいまちにしてほしい	3
	市民が政策を理解できるように説明してほしい	2
	市民と行政で、政策について共に考える機会を増やしてほしい	1
	一步一步着実に前進していける市政であってほしい	1
	居心地がよく、人が集まるまちにしてほしい	1
	市議会にも引き続き適正に役割をはたしてほしい	1
60	業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める	4
	職員の意識向上を図ってほしい	2
	地域の人々が満足するような仕事をしてほしい	1
	手続きに関して丁寧に案内してもらっている	1
61	適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める	16
	行政サービスの充実を図ってほしい	9
	単身者や夫婦のみなど、働く（納税する）世代が住みやすい環境も整えてほしい	3
	市役所組織体系を精査してほしい	1
	泉州地域が一体となったまちづくりに取り組んでほしい	1
	情報を知らない人にもサービスが行き届く行政になってほしい	1
	独自の政策を提示してほしい	1
62	行政手続きが便利になる環境づくりを進める	12
	市庁舎の建て替えを早急に進めてほしい	7
	市役所庁舎等、公共施設を市全域でバランスがとれた配置にしてほしい	4
	個人情報を守られるようにしてほしい	1
63	安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める	12
	住民税負担を軽減してほしい	6
	高齢者の税負担を軽減してほしい	2
	補助金や助成金の充実を図ってほしい	1
	無駄な経費を洗い出して削減してほしい	1
	市民全員に納得のいく税金の使い方をしてほしい	1
	適正に予算執行してほしい	1
64	市独自の歳入確保を進める	1
	市独自の歳入確保に努めてほしい	1

番号	個別目標の方向性	自由意見 の件数
65	その他	37
	市民意識調査の質問数、質問方法、実施方法など検討してほしい	15
	岸和田の強みを調査し、それを活かして発展につなげてほしい	4
	クーポン配布などの市独自支援を行ってほしい	4
	他市町村の良い政策を見習ってほしい	3
	結婚しやすい環境作りを強化してほしい	1
	他市町村の良い政策を見習ってほしい	1
	まち・人・ものを活かせる道標を創ってほしい	1
	物価は高くなり、公共料金は上がり、出費だけが多くなる現状を何とかしてほしい	1
	特に不自由なく住み続けられることに感謝しています	1
	日々真面目に生活している	1
	非常に満足しており、市が提案する解決策を支持する	1
	キャッシュレスでのポイント還元キャンペーンを続けてほしい	1
	周辺整備が行き届き、生活は便利で周辺景観も素晴らしい	1
	美容師の職業訓練校を作ってほしい	1
	住宅の補修やリフォーム支援の充実を図ってほしい	1

卷末資料

1. その他集計結果

問4 あなたは、スポーツや運動（ウォーキング（散歩）や体操などを含む。）を定期的（週1回以上）にしていますか？

	回答数	構成比
している	543	45.0%
していない	658	54.6%
無回答	5	0.4%
合計	1,206	100.0%

問5 あなたは、この1年間に芸術・文化活動（コンサートや演劇などの鑑賞を含む。）を行ったことがありますか？

	回答数	構成比
ある	404	33.5%
ない	798	66.2%
無回答	4	0.3%
合計	1,206	100.0%

問6 あなたは、この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会がありましたか？

	回答数	構成比
ある	374	31.0%
ない	823	68.2%
無回答	9	0.7%
合計	1,206	100.0%

問7 あなたは、この1年間に自分の経験や特技を何らかのかたちで地域に活かしたことがありますか？

	回答数	構成比
ある	166	13.8%
ない	1,036	85.9%
無回答	4	0.3%
合計	1,206	100.0%

問8 あなたは、この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがありますか？

	回答数	構成比
ある	282	23.4%
ない	920	76.3%
無回答	4	0.3%
合計	1,206	100.0%

問9 あなたは、町会・自治会に加入していますか？

	回答数	構成比
している	799	66.3%
していない	402	33.3%
無回答	5	0.4%
合計	1,206	100.0%

問10 あなたは、この1年間にゴミ拾いや美化活動を行ったことはありますか？

	回答数	構成比
ある	388	32.2%
ない	810	67.2%
無回答	8	0.7%
合計	1,206	100.0%

問11 あなたは、ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいますか？

	回答数	構成比
いる	929	77.0%
いない	271	22.5%
無回答	6	0.5%
合計	1,206	100.0%

問12 あなたは、省エネルギーの取組や再生可能エネルギー（太陽光発電など）の活用を行っていますか？

	回答数	構成比
行っている	289	24.0%
行っていない	911	75.5%
無回答	6	0.5%
合計	1,206	100.0%

問13 あなたは、かかりつけ医をもっていますか？

	回答数	構成比
もっている	812	67.3%
もっていない	390	32.3%
無回答	4	0.3%
合計	1,206	100.0%

問14 あなたは、この1年間に健康診断などを受けましたか？

	回答数	構成比
受けた	910	75.5%
受けていない	289	24.0%
無回答	7	0.6%
合計	1,206	100.0%

問15 あなたは、地元の商店や商店街で頻繁（週に1回）に買い物をするか？

	回答数	構成比
する	546	45.3%
しない	652	54.1%
無回答	8	0.7%
合計	1,206	100.0%

問16 あなたは、地元産の食品を優先して買いますか？

	回答数	構成比
買う	465	38.6%
買わない	730	60.5%
無回答	11	0.9%
合計	1,206	100.0%

問17 あなたは、自由に使える余暇時間を確保できていますか？

	回答数	構成比
できている	921	76.4%
できていない	275	22.8%
無回答	10	0.8%
合計	1,206	100.0%

問18 あなたは、災害の際の非常持出し品や食糧などを準備していますか？

	回答数	構成比
している	493	40.9%
していない	705	58.5%
無回答	8	0.7%
合計	1,206	100.0%

問19 あなたは、災害の際の緊急避難場所がどこか知っていますか？

	回答数	構成比
知っている	946	78.4%
知らない	251	20.8%
無回答	9	0.7%
合計	1,206	100.0%

問20 あなたは、この1年間に何らかの消費者トラブルにあったことがありますか？

	回答数	構成比
ある	43	3.6%
ない	1,154	95.7%
無回答	9	0.7%
合計	1,206	100.0%

問21 あなたは、騒音や大気汚染などの公害に悩まされていますか？

	回答数	構成比
いる	231	19.2%
いない	967	80.2%
無回答	8	0.7%
合計	1,206	100.0%

問22 あなたは、規則正しい食生活を心がけていますか？

	回答数	構成比
いる	994	82.4%
いない	205	17.0%
無回答	7	0.6%
合計	1,206	100.0%

問23 あなたは、地区市民協議会（※）の活動を知っていますか？

	回答数	構成比
知っている	317	26.3%
知らない	881	73.1%
無回答	8	0.7%
合計	1,206	100.0%

問24 あなたは、この1年間にスマートフォンなどデジタル技術を活用して行政手続き（サービス等の利用を含む。）を行ったことがありますか？

	回答数	構成比
ある	558	46.3%
ない	641	53.2%
無回答	7	0.6%
合計	1,206	100.0%

※地区市民協議会とは、小学校区毎に組織されているコミュニティ組織で、自らの地域社会をみんなの力で住みよくしていくことを目的に活動しているもの

問25-1 あなたは、次の各記述をどう思われますか？
項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	ア		イ		ウ		エ		オ	
	生きがいを感じることがある		仕事と生活の調和（ライフ・ワーク・バランス）が取れている		岸和田は、子どもを生み育てやすい		安全な水が安定して供給されている		農業や漁業に魅力がある	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	221	18.3%	143	11.9%	49	4.1%	406	33.7%	160	13.3%
まあそう思う	493	40.9%	498	41.3%	237	19.7%	550	45.6%	358	29.7%
どちらともいえない	304	25.2%	283	23.5%	385	31.9%	139	11.5%	359	29.8%
あまりそう思わない	94	7.8%	133	11.0%	167	13.8%	31	2.6%	140	11.6%
そう思わない	63	5.2%	98	8.1%	153	12.7%	13	1.1%	86	7.1%
分からない	22	1.8%	38	3.2%	199	16.5%	52	4.3%	88	7.3%
無回答	9	0.7%	13	1.1%	16	1.3%	15	1.2%	15	1.2%
合計	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%

	カ		キ		ク		ケ		コ	
	岸和田が多くの観光客でにぎわい、観光の振興が十分である		商工業に活気がある		働く意欲のある人に働ける場所が確保されている		労働環境に満足している		岸和田の歴史や伝統がしっかりと引き継がれている	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	55	4.6%	15	1.2%	24	2.0%	66	5.5%	171	14.2%
まあそう思う	174	14.4%	111	9.2%	121	10.0%	257	21.3%	506	42.0%
どちらともいえない	360	29.9%	401	33.3%	430	35.7%	359	29.8%	280	23.2%
あまりそう思わない	297	24.6%	299	24.8%	249	20.6%	184	15.3%	82	6.8%
そう思わない	237	19.7%	210	17.4%	156	12.9%	165	13.7%	55	4.6%
分からない	69	5.7%	156	12.9%	214	17.7%	160	13.3%	96	8.0%
無回答	14	1.2%	14	1.2%	12	1.0%	15	1.2%	16	1.3%
合計	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%

	サ		シ		ス		セ		ソ	
	海や川の水がきれい		平和は大切だ		人権問題は差別を受けている人の問題であって自分とは関係がない		男女がそれぞれの能力を十分に発揮しあい、あらゆる場面で協力し合っている		市役所から発信された情報（広報きしわだ、ホームページなど）が分かりやすい	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	34	2.8%	1,006	83.4%	13	1.1%	46	3.8%	80	6.6%
まあそう思う	177	14.7%	155	12.9%	34	2.8%	223	18.5%	406	33.7%
どちらともいえない	408	33.8%	17	1.4%	217	18.0%	437	36.2%	361	29.9%
あまりそう思わない	297	24.6%	3	0.2%	216	17.9%	204	16.9%	154	12.8%
そう思わない	193	16.0%	3	0.2%	656	54.4%	109	9.0%	72	6.0%
分からない	85	7.0%	9	0.7%	59	4.9%	176	14.6%	123	10.2%
無回答	12	1.0%	13	1.1%	11	0.9%	11	0.9%	10	0.8%
合計	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%

問25-2 続いて、住んでいる地域（小学校区）について、どう思われますか？
項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	タ		チ		ツ		テ		ト	
	子育てに関する不安を相談できる機会や場がある		働きながら子育てができる環境が整っている		子どもが安全に遊ぶことができる		子どもの個性や能力にあった教育が行われている		安心して歩道を通行することができる	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	49	4.1%	36	3.0%	32	2.7%	20	1.7%	45	3.7%
まあそう思う	200	16.6%	154	12.8%	276	22.9%	141	11.7%	245	20.3%
どちらともいえない	328	27.2%	356	29.5%	324	26.9%	373	30.9%	285	23.6%
あまりそう思わない	131	10.9%	172	14.3%	219	18.2%	157	13.0%	315	26.1%
そう思わない	77	6.4%	100	8.3%	133	11.0%	131	10.9%	264	21.9%
分からない	408	33.8%	375	31.1%	208	17.2%	371	30.8%	43	3.6%
無回答	13	1.1%	13	1.1%	14	1.2%	13	1.1%	9	0.7%
合計	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%

	ナ		ニ		ヌ		ネ		ノ	
	ユニバーサルデザイン化（※1）が進んでいる		鉄道駅周辺の市街地に活気がある		拠点（※2）にぎわいがある		景観がよく保全されている		市内をスムーズに移動できる	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	17	1.4%	33	2.7%	33	2.7%	36	3.0%	73	6.1%
まあそう思う	91	7.5%	156	12.9%	140	11.6%	254	21.1%	374	31.0%
どちらともいえない	341	28.3%	277	23.0%	319	26.5%	422	35.0%	327	27.1%
あまりそう思わない	270	22.4%	346	28.7%	319	26.5%	226	18.7%	216	17.9%
そう思わない	216	17.9%	314	26.0%	225	18.7%	145	12.0%	155	12.9%
分からない	254	21.1%	66	5.5%	158	13.1%	112	9.3%	50	4.1%
無回答	17	1.4%	14	1.2%	12	1.0%	11	0.9%	11	0.9%
合計	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%

	ハ		ヒ		フ		ヘ	
	高齢者が安心して生活できている		困ったときに近くに相談できる人や場所がある		住民が交流する機会が多い		行政の手続きが便利になった	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	43	3.6%	111	9.2%	51	4.2%	37	3.1%
まあそう思う	252	20.9%	335	27.8%	217	18.0%	243	20.1%
どちらともいえない	368	30.5%	317	26.3%	387	32.1%	402	33.3%
あまりそう思わない	189	15.7%	174	14.4%	213	17.7%	189	15.7%
そう思わない	146	12.1%	129	10.7%	164	13.6%	155	12.9%
分からない	198	16.4%	130	10.8%	165	13.7%	171	14.2%
無回答	10	0.8%	10	0.8%	9	0.7%	9	0.7%
合計	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%	1,206	100.0%

※1（ユニバーサルデザインとは、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること

※2（拠点とは、臨海部の工業・流通地域、各鉄道駅周辺（岸和田駅周辺には岸和田城や港緑町を含む）、ゆめみヶ丘岸和田、山直東交通広場周辺）

令和5年度 岸和田市市民意識調査

～あなたの意見をお聞かせください～

ご協力をお願い

岸和田市では、市民の皆様からご意見をお聞きし、今後の市政運営に役立てるため、「岸和田市市民意識調査」を実施しています。

この調査は、市民の皆様の意識や活動の状況、市の取組に対する重要度についてご意見をお聞きするものです。「市民の皆様の現状はどうなっているか?」「今後、力を入れる必要がある施策は何か?」を確認しながら、今後の市政運営を進めていきたいと考えています。

今回の調査は、無作為に抽出した岸和田市にお住まいの15歳以上の約4,000の方に、無記名でのご回答をお願いしています。個人の秘密がもれたり、施策の検討以外に使われたりするなどのご迷惑をおかけすることは一切ありません。お手数をおかけし恐縮ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、集計結果は市のホームページなどで公表する予定です。

※回答方法・回答期限については、裏面をご覧ください。



回答方法・回答期限

①郵送 または ②WEB のいずれかでアンケートにご回答いただきます。
いずれも質問内容は同じです。どちらか1つの方法でお答えください。

【①郵送で回答するときの注意事項】

1. ご回答は、お送りした宛名のご本人がお答えください。（お名前の記入は不要です。）
2. ご回答は、黒のボールペン、鉛筆、サインペンなどで、設問ごとの指示により、番号に○印を付けるか、回答欄に直接文字や数字をご記入ください。設問により回答方法が異なりますので、お間違えのないようにご注意ください。
3. 目が不自由などの理由で筆記が困難な場合や、ご質問がございましたら、お手数をおかけしますが、下記までご連絡ください。
4. ご記入いただいた回答票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに期限までに郵便ポストにご投函ください。住所・氏名は記入不要です。

【②WEBで回答するときの注意事項】

1. 封筒の宛名のご本人がお答えください。
2. 下記の URL を入力するか、右記の QR コードを読み取ってアクセスしてください。
<https://logoform.jp/form/heqL/233832>
3. 以下の WEB アンケート回答用番号をご入力ください。

XXXXXXXXXX（ランダム数字9桁）

※「回答用番号」は、1人の方が複数回答することを避けるためのものです。個人を特定するためのものではありません。

4. 表示にしたがって回答を進めてください。（所要時間は概ね10分です。）
5. 回答の途中でページから離れると、回答が無効になりますのでご注意ください。（一時保存機能はご利用いただけます。）



【回答期限】 令和5年6月2日（金） ※郵送、WEB どちらも同じです。
※回答期限を設けておりますが、ご案内が届き次第、ご回答いただけますと幸いです。

お問い合わせ先

岸和田市 総合政策部 企画課 政策担当
〒596-8510 岸和田市岸城町7番1号
電話 072-423-9492（直通）
メール kikaku@city.kishiwada.osaka.jp

令和5年度岸和田市市民意識調査

回 答 票

※ 回答後、この回答票のみを返信用
封筒に入れて送付してください。





岸和田城



泉州地域特産 水ナス



和泉葛城山 ブナの黄葉



神於山 クスノキ (市の木)



大威徳寺



蜻蛉池公園 スイセン



牛滝の田園

I 岸和田のまちについてお聞きします。

問1 あなたは、岸和田市の住みやすさについてどう思いますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 住みよい	4. どちらかといえば住みにくい
2. どちらかといえば住みよい	5. 住みにくい
3. どちらともいえない	6. 分からない

問2 今後も岸和田市内に住み続けたいと思いますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. いつまでも住み続けたい	3. できれば他市町村へ移転したい
2. 当分住み続けたい	4. すぐにでも他市町村へ移転したい

前問で1、2を選んだ方（問2-1へ）

前問で3、4を選んだ方（問2-2へ）

問2-1 住み続けたいと思う理由は何ですか？
あてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

1. 子育てがしやすい
2. 子どもの教育環境が良い
3. 公民館や運動施設などが充実している
4. 住み慣れていて愛着がある
5. 医療・福祉サービスが充実している
6. 災害に対する不安が小さい
7. 犯罪が少ない
8. 交通の便が良い
9. 買い物や外食が便利
10. 自然・緑が多い
11. まちのイメージが良い
12. 地域での人間関係が良い
13. 学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合
14. その他（ ）

問2-2 住み続けたくないと思う理由は何ですか？
あてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

1. 子育てがしにくい
2. 子どもの教育環境が良くない
3. 公民館や運動施設などが充実していない
4. 住み慣れておらず愛着がない
5. 医療・福祉サービスが充実していない
6. 災害に対する不安が大きい
7. 犯罪が多い
8. 交通の便が良くない
9. 買い物や外食が不便
10. 自然・緑が少ない
11. まちのイメージが良くない
12. 地域での人間関係が良くない
13. 学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合
14. その他（ ）

問2-3 前問で11を選んだ方にさらにお聞きします。あなたがまちのイメージが良い、もしくは、まちのイメージが良くないとする理由は何ですか？具体的にご記入ください。

問3 あなたは、岸和田のまちを誇りに思いますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 思う	4. どちらかといえば思わない
2. どちらかといえば思う	5. 思わない
3. どちらともいえない	6. 分からない

Ⅱ 日常生活などについてお聞きします。

問4 あなたは、スポーツや運動（ウォーキング（散歩）や体操などを含む。）を定期的（週1回以上）にしていますか？

1. している	2. していない
---------	----------

問5 あなたは、この1年間に芸術・文化活動（コンサートや演劇などの鑑賞を含む。）を行ったことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問6 あなたは、この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会はありましたか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問7 あなたは、この1年間に自分の経験や特技を何らかのかたちで地域に活かしたことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問8 あなたは、この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問9 あなたは、町会・自治会に加入していますか？

1. している	2. していない
---------	----------

問10 あなたは、この1年間にごみ拾いや美化活動を行ったことはありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問11 あなたは、ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいますか？

1. いる	2. いない
-------	--------

問12 あなたは、省エネルギーの取組や再生可能エネルギー（太陽光発電など）の活用を行っていますか？

1. 行っている	2. 行っていない
----------	-----------

問13 あなたは、かかりつけ医をもっていますか？

1. もっている	2. もっていない
----------	-----------

問14 あなたは、この1年間に健康診断などを受けましたか？

1. 受けた	2. 受けていない
--------	-----------

問15 あなたは、地元の商店や商店街で頻繁（週に1回）に買い物をしますか？

1. する	2. しない
-------	--------

問16 あなたは、地元産の食品を優先して買いますか？

1. 買う	2. 買わない
-------	---------

問17 あなたは、自由に使える余暇時間を確保できていますか？

1. できている	2. できていない
----------	-----------

問18 あなたは、災害の際の非常持出し品や食糧などを準備していますか？

1. している	2. していない
---------	----------

問19 あなたは、災害の際の緊急避難場所がどこか知っていますか？

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問20 あなたは、この1年間に何らかの消費者トラブルにあったことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問21 あなたは、騒音や大気汚染などの公害に悩まされていますか？

1. いる	2. いない
-------	--------

問22 あなたは、規則正しい食生活を心がけていますか？

1. いる	2. いない
-------	--------

問23 あなたは、地区市民協議会※の活動を知っていますか？

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問24 あなたは、この1年間にスマートフォンなどデジタル技術を活用して行政手続き（サービス等の利用を含む。）を行ったことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

※地区市民協議会とは、小学校区毎に組織されているコミュニティ組織で、自らの地域社会をみんなの力で住みよくしていくことを目的に活動しているもの

Ⅲ あなた自身の感じ方についてお聞きます。

問 25-1 あなたは、次の各記述をどう思いますか？ 項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

項 目	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
ア 生きがいを感じることがある	5	4	3	2	1	0
イ 仕事と生活の調和（ライフ・ワーク・バランス）が取れている	5	4	3	2	1	0
ウ 岸和田は、子どもを生み育てやすい	5	4	3	2	1	0
エ 安全な水が安定して供給されている	5	4	3	2	1	0
オ 農業や漁業に魅力がある	5	4	3	2	1	0
カ 岸和田が多く観光客でにぎわい、観光の振興が十分である	5	4	3	2	1	0
キ 商工業に活気がある	5	4	3	2	1	0
ク 働く意欲のある人に働ける場所が確保されている	5	4	3	2	1	0
ケ 労働環境に満足している	5	4	3	2	1	0
コ 岸和田の歴史や伝統がしっかりと引き継がれている	5	4	3	2	1	0
サ 海や川の水がきれいである	5	4	3	2	1	0
シ 平和は大切である	5	4	3	2	1	0
ス 人権問題は差別を受けている人の問題であって自分とは関係がない	5	4	3	2	1	0
セ 男女がそれぞれの能力を十分に発揮しあい、あらゆる場面で協力し合っている	5	4	3	2	1	0
ソ 市役所から発信された情報（広報さしわた、ホームページなど）が分かりやすい	5	4	3	2	1	0

問 25-2 続いて、住んでいる地域（小学校区）について、どう思いますか？

項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

タ 子育てに関する不安を相談できる機会や場がある	5	4	3	2	1	0
チ 働きながら子育てができる環境が整っている	5	4	3	2	1	0
ツ 子どもが安全に遊ぶことができる	5	4	3	2	1	0
テ 子どもの個性や能力にあった教育が行われている	5	4	3	2	1	0
ト 安心して歩道を通行することができる	5	4	3	2	1	0
ナ ユニバーサルデザイン※化が進んでいる	5	4	3	2	1	0
ニ 鉄道駅周辺の市街地に活気がある	5	4	3	2	1	0
ヌ 拠点のにぎわいがある（拠点とは、臨海部の工業・流通地域、各鉄道駅周辺（岸和田駅周辺には岸和田城や港緑町を含む）、ゆめみヶ丘岸和田、山直東交通広場周辺）	5	4	3	2	1	0
ネ 景観がよく保全されている	5	4	3	2	1	0
ノ 市内をスムーズに移動できる	5	4	3	2	1	0
ハ 高齢者が安心して生活できている	5	4	3	2	1	0
ヒ 困ったときに近くに相談できる人や場所がある	5	4	3	2	1	0
フ 住民が交流する機会が多い	5	4	3	2	1	0
ヘ 行政の手続きが便利になった	5	4	3	2	1	0

※ユニバーサルデザインとは、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること

Ⅳ 市の取組に対する満足度についてお聞きます。

問 26 下記に示した 58 個の岸和田市の取組について、どの程度満足していますか？ 各項目に当てはまる番号を 1 つずつ選んで○をつけてください。

	項目（具体的な取組例）	満 足	ま ま 満 足	い や あ い ま も こ え な い	や や 不 満	不 満	分 か ら な い・ 意 見 な し
例	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援 （学力向上支援、特別支援教育など）		○				
1	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくり （妊産婦健康診査、乳幼児全戸訪問、出産応援金など）						
2	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減 （発達相談、各種医療費助成など）						
3	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり （市立幼稚園及び保育所再編、民間認定こども園誘致、保育士応援金など）						
4	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくり （園児・児童・生徒の健康診断など）						
5	食育や体力づくりなど、子どもの健康な身体づくり （学校給食運営、学校体育振興など）						
6	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり （通学路巡回パトロール、児童遊園整備など）						
7	障害のある子どもの発達支援と家庭生活での負担軽減 （障害児通所支援、総合通園センター運営など）						
8	育てにくさを感じる親への支援、児童虐待に関する相談の充実や早期発見・早期対応 （児童虐待相談など）						
9	適正な就学・就園や経済的な支援による教育機会の確保 （学校適正配置の推進、就学奨励、通学区調整など）						
10	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援 （学力向上支援、特別支援教育など）						
11	学校園の適切な施設整備や魅力ある運営 （学校園の施設管理や整備など）						
12	地域と連携した子どもの社会的な心の醸成 （青少年育成、いじめ問題対策など）						
13	地域の産業を担う人材育成 （市立産業高校の運営など）						
14	様々な学びの活動や知識・経験の活用と、それによるコミュニティのつながりの創出 （学習講座等の開催、図書館運営、生涯学習活動推進など）						

項目（具体的な取組例）		満 足	ま あ 満 足	よ う な も う こ え な い	や や 不 満	不 満	分 か ら な い ・ 意 見 な し
15	スポーツへの親しみや参画の向上と、スポーツができる環境づくり （スポーツ推進、総合体育館の管理など）						
16	芸術や文化への親しみや参画の機会を通した、心の豊かさの醸成 （芸術文化普及、浪切ホールの運営など）						
17	働きたい人の就労機会の確保 （地域就労支援など）						
18	市内事業所における労働環境の向上 （勤労者互助会支援、労働相談など）						
19	障害者の就労支援の充実と生きがいづくり （障害者福祉団体支援など）						
20	高齢者の雇用促進と生きがいづくり （老人クラブ運営助成など）						
21	郷土の歴史や文化に触れる機会の創出 （郷土資料等展示、郷土文化普及、濱田青陵賞など）						
22	岸和田の歴史や文化財の保存・活用 （文化財保護、発掘調査など）						
23	健康意識の向上や重症化予防などの疾病予防 （ウエルエージング推進、介護予防など）						
24	医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり （救急・救命、市民病院など）						
25	平和への意識向上 （平和推進など）						
26	個々の人権や多様な価値観の尊重意識の向上と、多文化に触れる機会の創出による他者理解の促進（人権啓発、障害者差別解消、国際化推進（多文化共生）など）						
27	男女共同参画の取組 （男女共同参画、DV 対策など）						
28	みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境づくり （バリアフリー化、住宅改造助成など）						
29	常日頃から、地域の中でお互いに助け合える地域共生社会の関係づくり （地域支え合い体制づくり、日本赤十字支援、地域包括支援など）						
30	その人らしい自立した生活につながる介護サービスの提供 （介護認定、サービス費給付など）						
31	医療保険制度の適切な運営 （国民健康保険、後期高齢者医療など）						

項目（具体的な取組例）		満 足	ま め 満 足	じ や ん じ や ん じ や ん じ や ん	や や 不 満	不 満	分 か ら な い ・ 意 見 な し
32	高齢者が自分らしく生活できる環境づくり （高齢者支援、認知症ケアなど）						
33	障害者が自分らしく生活できる環境づくり （障害者歯科診療、医療助成など）						
34	住宅困窮者への居住支援 （市営住宅整備など）						
35	生活困窮者などへの必要な支援 （生活保護、生活困窮者支援相談など）						
36	戦争被害者などが安心して生活できる環境づくり （戦没者家族支援など）						
37	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり （交通安全対策、駐車対策など）						
38	空き家の適正な管理や、建築物の安全性の確保 （空家等対策の推進、建築指導など）						
39	防犯意識の向上や、犯罪防止につながる環境づくり （防犯活動、地域防犯活動支援など）						
40	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境 づくり （消費者相談など）						
41	災害被害を最小限にする強靱な基盤の計画的な整備 （地域防災計画の推進、耐震化の推進など）						
42	発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくり （避難行動要支援者支援プランの推進、避難所施設など）						
43	火災予防や火災被害を最小限にする取組 （消防、火災予防など）						
44	環境汚染などによる健康被害の発生の防止 （公害対策など）						
45	安全安心な水の安定的な供給 （上水道の運営など）						
46	まちの美化 （地域美化、不法投棄防止、墓苑の運営、下水道整備な ど）						
47	まちの緑の適正な保全とまちの緑化 （緑化の推進、公園整備など）						
48	貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用 （自然環境の保全、自然資料館など）						
49	ごみの減量と資源の有効活用など 3R+R※の推進 （ごみの減量化、リサイクルなど）						

※3R+Rは、これまでの3R（リデュース、リユース、リサイクル）に、新たなR（リフューズやリニューアブル）を追
加したもので、ごみの減量に向けた取組のこと

項目（具体的な取組例）		満 足	ま あ 満 足	よ う ち な い も ち え な い	や や 不 満	不 満	分 か ら な い ・ 意 見 な し
50	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素の推進と地球温暖化防止 （地球温暖化対策、気候変動への適応策など）						
51	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくり （企業経営支援、岸和田ブランド、商工業振興など）						
52	新たに市内で創業する事業者や個人事業主が活動しやすい環境づくり （企業立地促進など）						
53	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくり （農業振興、水産業振興など）						
54	関西国際空港とのアクセス性の活用や、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくり （観光振興、広域観光、城周辺整備、関西国際空港の活用など）						
55	岸和田の魅力の活用によるまちのイメージの向上 （シティーセールスの推進など）						
56	地域の活性化を導く拠点の形成 （駅周辺整備、中心市街地活性化、拠点整備など）						
57	拠点とのアクセス性の向上 （広域幹線計画、道路整備、バス交通、交通政策など）						
58	適正な土地利用と景観形成 （都市計画、景観形成など）						

V 今後のまちづくりについてお聞きします。

問 27 あなたは、前問に示した 58 個の岸和田市の取組のうち、どの取組が今後のまちづくりにとって特に重要だと思いますか？特に重要だと思うものを 5 つまで選んで、番号を記入してください。

特に重要だと思うもの（5つまで）				

Ⅵ あなたのことについてお聞きます。

問 28 あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性 3. 無回答

問 29 あなたの年齢(令和5年5月1日現在の満年齢)は？

1. 15～19 歳	5. 50～59 歳
2. 20～29 歳	6. 60～64 歳
3. 30～39 歳	7. 65～69 歳
4. 40～49 歳	8. 70 歳以上

問 30 あなたがお住まいの小学校区は？(校区名が分からない場合は、町丁名を記入してください。)

1 中 央	9 修 斉	17 八木南
2 城 内	10 東葛城	18 山直北
3 浜	11 春 木	19 城 東
4 朝 陽	12 大 芝	20 山直南
5 東 光	13 城 北	21 大 宮
6 旭	14 新 条	22 光 明
7 太 田	15 八 木	23 常 盤
8 天神山	16 八木北	24 山 滝

※小学校区が分からない場合

⇒ 町 丁目

問 31 あなたの職業は？

1. 農林漁業	6. 専業主婦(夫)
2. 自営業	7. 無職
3. 会社員・公務員、役員	
4. パート・アルバイト・契約、派遣社員	
5. 学生	8. その他 ()

問 32 前問で1から5及び8とお答えの方にお聞きます。あなたの勤務地・通学地は？

1. 岸和田市
2. 大阪府内(岸和田市を除く。)
3. 大阪府外

問 33 あなたの出生地(お生まれ)は？

1. 岸和田市
2. 大阪府内(岸和田市を除く。)
3. 大阪府外

問 34 岸和田市に住んでいる年数は？

1. 20 年以上	3. 5～9 年
2. 10～19 年	4. 5 年未満

問 35 あなたの(同居している)家族構成は？

1. 単身
2. 夫婦
3. 親子(2世代)
4. 親・子・孫(3世代)
5. その他()

問 35-1 前問で3、4、5とお答えの方にお聞きます。あなたを含む同居の家族は何人ですか？

1. 2人	3. 4人
2. 3人	4. 5人以上

問 36 あなたには、現在、養育中の子どもがいますか？

1. いる
2. いない

問 36-1 前問で1とお答えの方にお聞きます。養育中のお子さんは、次のどれに該当しますか？(該当する欄に、人数を記入してください。)

	人数
1. 就学前(0～5歳)	
2. 小学生	
3. 中学生	
4. それ以外(高校生や大学生)	

問 37 あなたの同居の家族(あなた以外)に、65歳以上の高齢者がいますか？

1. いる	2. いない
-------	--------

問 38 あなたは、現在、長期的な病気や障害を抱えていますか？

1. 抱えている
2. 抱えていない

問 38-1 前問で1とお答えの方にお聞きます。あなたは、長期的な病気や障害が原因で日常生活に支障をきたしていますか？

1. 支障がある
2. やや支障がある
3. あまり支障はない
4. 支障はない

VII 最後に

その他市政に関するご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

ご回答ありがとうございました。

令和5年度 市民意識調査 結果報告書

2023（令和5年）年12月 発行

発 行：岸和田市総合政策部企画課

所 在 地：〒596 - 8510 大阪府岸和田市岸城町7番1号

電 話：072 - 423 - 9492（直通）

F A X：072 - 423 - 6749